

# 第1章 調査概要

## 1. 調査目的

平成20年度で3年目に入った第1期地域福祉保健計画の認知度を把握するとともに、第2期地域福祉保健計画を策定するときの資料とするために根岸地域の福祉と保健に関する地域調査を実施した。

## 2. 調査対象者

磯子区在住の20歳以上の男女3,000人を無作為に抽出した。

## 3. 調査方法

郵送法

## 4. 調査期間

平成20年11月29日～12月5日

## 5. 回収状況

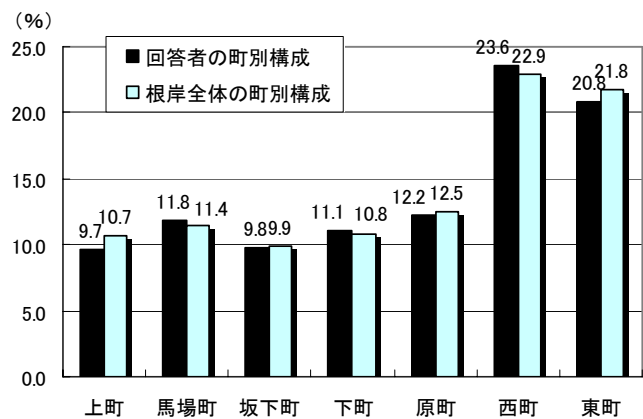
転居など宛先不明で返送された不能票：54票

回収票：1029票

回収率（不能票を除いた回収率）：34.9%（1029票÷2946票）

図表1 町別回答数と根岸全体の町別構成との関係

町名	回答者数 (人)	回答者の 町別構成 (%) a	根岸全体 の人口 (人)	根岸全体 の町別構成 (%) b
上町	100	9.7	1,014	10.7
馬場町	121	11.8	1,106	11.4
坂下町	101	9.8	956	9.9
下町	114	11.1	1,043	10.8
原町	126	12.2	1,211	12.5
西町	243	23.6	2,221	22.9
東町	214	20.8	2,108	21.8
無回答	10	1.0		
合計	1,029	100.0	9,685	100.0



## 6. 調査の要約

- 「これなら地域で協力できる」という質問に、「声かけや安否の確認」という項目を約半数の人があげている。すでに活動をしている人の中では「話し相手、相談相手」、「声かけや安否の確認」が上位にあがっている。地域住民同士の日頃の挨拶や声かけが、身近で参加できる地域活動の具体的内容として高く評価されている。
- 今後、参加してみたい地域活動としては、2割強の人が「自分の趣味や特技を活かした活動」、「地域をきれいにする活動」、「健康づくりのための活動」をあげている。実際に地域活動に参加している人たちの回答は「地域行事のお手伝い」「防犯活動」「防災活動」などである。
- 参加したきっかけとして、約6割の人が「自治会町内会の行事に参加した」ことをあげており、自治会町内会が地域活動を促進するうえで重要な役割を担っていることがわかる。
- 地域活動に参加する条件として、半数以上の人が「自分の生活リズムにあっていること」、「手続きが簡単なこと」をあげており、自分の生活スタイルにあった活動スタイルが求められている。
- 根岸地区で自慢できることとしては、約3割の人が「愛着をもっている」をあげており、根岸地区を皆で大切にしていきたいという意識がうかがえる。
- 地域福祉保健計画に関して、約3割の人が「スイッチ ON 磯子」、「ハッピー根岸」、「しあわせバンク」のうち1つでも知っている」と回答している。
- 「これから根岸地区で取り組んでほしいこと」として、「住民同士が相互に話し合える場をつくる」、「気軽に参加できるイベント等を企画して地域を活性化する」、「情報交流のしくみをつくる」、「安心安全なまちをつくる」、「住民同士のルールをつくる」などの意見が出されている。

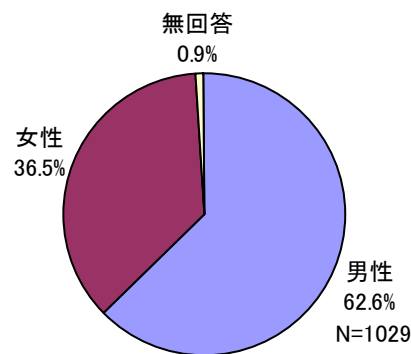
## 第2章 調査結果

### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別

回答のあった1029人の性別は、男性644人で62.6%、女性は376人で36.5%である(図表2)。

図表2 男女構成

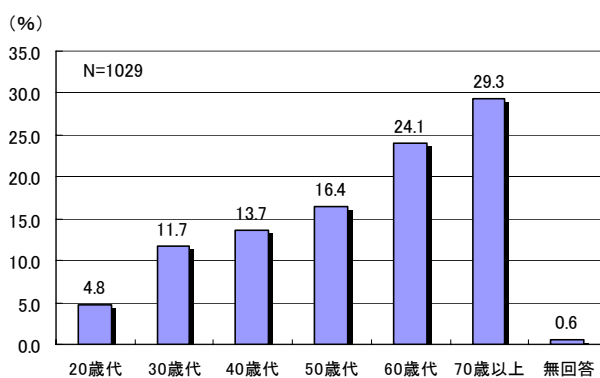


#### (2) 年代構成

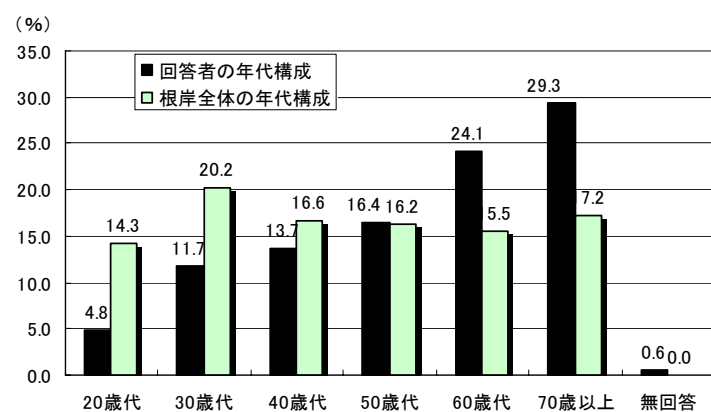
年代別にみると、70歳以上が29.3%と最も多く、以下、60歳代24.1%、50歳代16.4%と続く(図表3)。根岸全体の年代構成と比べてみると、今回の回答者は60歳代、70歳以上が多く、20歳代、30歳代が少ない(図表4)。

さらに性別に年代構成をみると、20歳代、30歳代、40歳代、70歳以上では女性の方が多く、50歳代、60歳代では男性の方が多くなっている(図表5)。

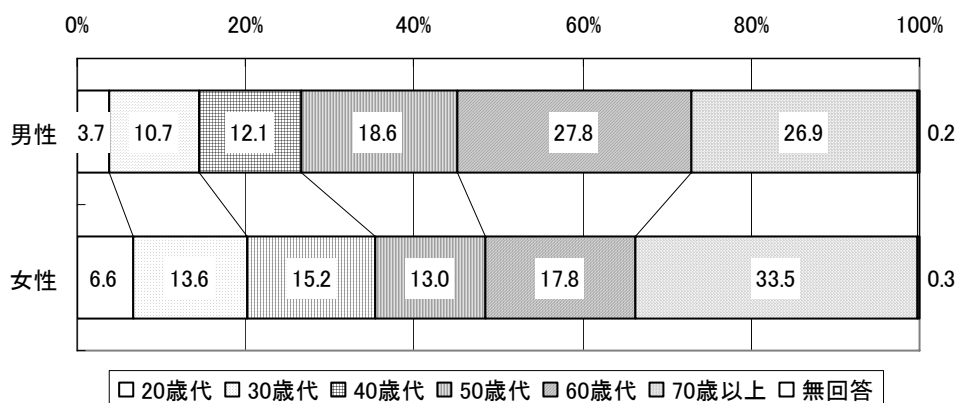
図表3 年代構成



図表4 根岸全体の年代構成との比較



図表5 性別年代構成

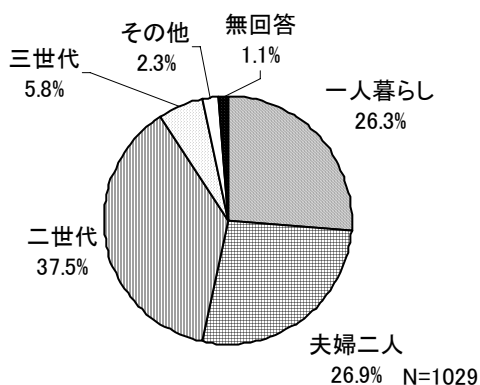


### (3) 家族構成

家族構成は、「二世世代（親と子ども、いわゆる核家族）」が37.5%と最も多く、次に「夫婦二人」が26.9%、「一人暮らし」が26.3%となっている（図表6）。

年代別に家族構成をみると、20歳代では「一人暮らし」が47.0%と約半数を占める。30歳代、40歳代、50歳代、60歳代は、「二世世代」が最も多い。ただし60歳代は「夫婦二人」とほぼ同率になる。70歳以上は「夫婦二人」が35.4%と最も多いが、「一人暮らし」も33.1%と同じくらいの割合を占めており、70歳以上では約7割が高齢者だけの世帯になっているものと予測できる（図表7）。

図表6 家族構成



図表7 年代別家族構成

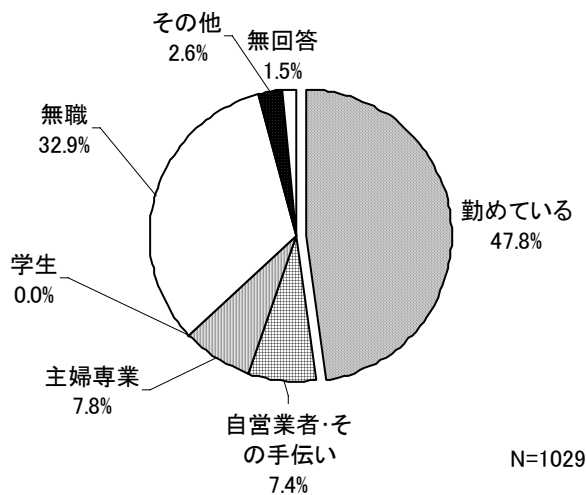
	一人暮らし	夫婦二人	二世世代	三世代	その他	無回答
20歳代	47.0	20.4	28.6	2.0	2.0	0.0
30歳代	16.7	30.0	45.8	5.8	1.7	0.0
40歳代	20.0	12.6	57.8	6.7	2.2	0.7
50歳代	17.2	16.0	52.6	8.9	4.1	1.2
60歳代	27.0	32.3	33.9	5.2	1.6	0.0
70歳以上	33.1	35.4	21.9	5.0	2.0	2.6

#### (4) 就業状況

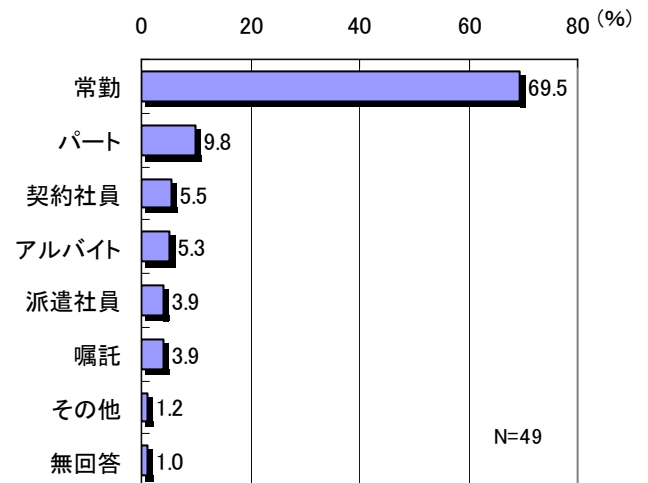
就業状況は、「勤めている」人が492人で、全体の47.8%である(図表7)。その内容は「常勤」69.5%が最も多く、以下「パート」、「契約社員」、「アルバイト」と続く(図表8)。

年代別にみると、20～50歳代までは7割以上が勤めている。70歳以上でも6.0%(18人)が勤めており、うち、常勤は8人である(図表9)。

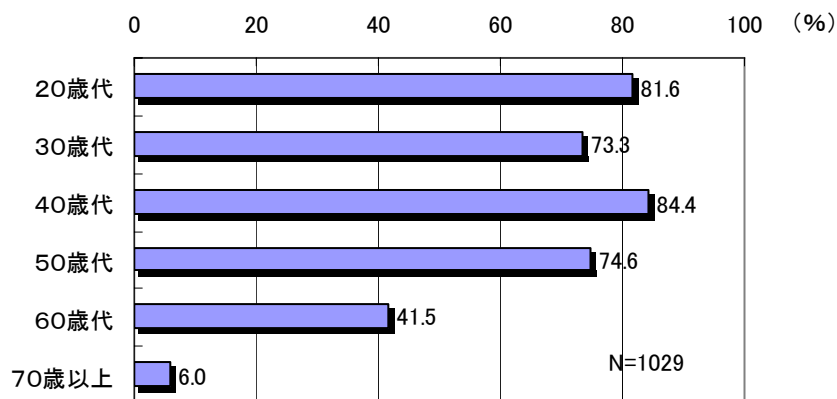
図表7 就業状況



図表8 「勤めている」の内容(複数回答)



図表9 年代別「勤めている」の割合



## 2. 地域生活での心配事や頼りにしている人

### (1) 地域で最近気になること

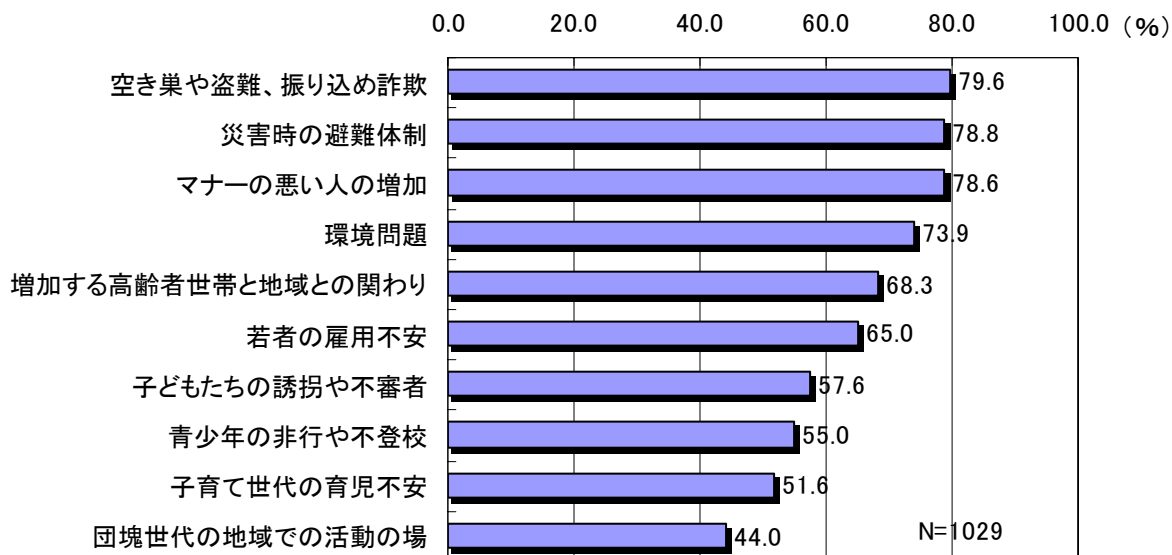
**まちの防犯、防災、マナーなど、根岸地区全体のまちづくりに関する事に約 7 割の人が関心を持っている。**

根岸地区の中で、最近気になることや心配なこと 10 項目について、「大変気になる」、「やや気になる」、「あまり気にならない」、「全く気にならない」のいずれかで回答してもらった。「大変気になる」と「やや気になる」をあわせて、「気になること」としてまとめてみたところ、「空き巣や盗難、振り込め詐欺」が 79.6%と最も多く、次に「災害時の避難体制」、「マナーの悪い人の増加」、「環境問題」と続き、いずれも 7 割を超える回答である（図表 10）。

年代別にみると、20 歳代は「環境問題」が 91.8%と多くなっている。30 歳代、40 歳代、70 歳以上は「空き巣や盗難、振り込め詐欺」が最も多く、また 40 歳代は「災害時の避難体制」も多い。50 歳代、60 歳代は「マナーの悪い人の増加」が最も多い（図表 11）。

地域別にみると、上町、馬場町、坂下町、下町は「空き巣や盗難、振り込め詐欺」が最も多い。下町、原町は「災害時の避難体制」、西町、東町は「マナーの悪い人の増加」が最も多くなっている（図表 12）。

図表 10 地域で最近「気になること」



図表 11 年代別地域で最近「気になること」(①～③は順位)

	空き巣や盗難、振り込め詐欺	災害時の避難体制	マナーの悪い人の増加	環境問題	増加する高齢者世帯と地域との関わり	若者の雇用不安	子ども達の誘拐や不審者	青少年の非行や不登校	子育て世代の育児不安	団塊世代の地域での活動の場
20歳代	79.6	②89.8	③85.7	①91.8	69.4	67.3	57.1	57.1	77.6	36.7
30歳代	①83.3	77.5	②82.5	③80.8	59.2	49.2	62.5	50.0	65.0	33.3
40歳代	①86.7	①86.7	③83.0	82.2	71.1	65.2	73.3	62.2	53.3	45.9
50歳代	③84.6	②86.4	①87.0	③84.6	78.1	75.1	62.7	65.1	54.4	62.1
60歳代	②79.4	③77.8	①83.1	75.0	73.8	74.2	53.6	58.1	50.0	50.4
70歳以上	①72.5	②71.2	③66.2	57.9	61.3	57.6	50.0	46.0	41.7	33.8

図表 12 地域別地域で最近「気になること」(①～③は順位)

	空き巣や盗難、振り込め詐欺	災害時の避難体制	マナーの悪い人の増加	環境問題	増加する高齢者世帯と地域との関わり	若者の雇用不安	子ども達の誘拐や不審者	青少年の非行や不登校	子育て世代の育児不安	団塊世代の地域での活動の場
上町	①81.0	③74.0	73.0	②77.0	65.0	65.0	50.0	52.0	44.0	49.0
馬場町	①81.8	②81.0	③79.3	71.9	71.1	68.6	62.8	53.7	46.3	47.1
坂下町	①87.1	②82.2	③76.2	64.4	67.3	61.4	56.4	58.4	52.5	44.6
下町	①78.1	①78.1	③76.3	68.4	64.9	59.6	52.6	46.5	49.1	36.0
原町	②77.0	①78.6	③76.2	74.6	72.2	61.9	53.2	53.2	54.0	45.2
西町	③77.4	②79.0	①82.7	75.3	67.1	65.8	58.4	54.3	52.7	39.9
東町	②80.4	②80.4	①80.8	79.4	71.0	69.6	64.0	63.1	57.9	48.6

●その他、心配なこととして、以下のような意見があがっている。

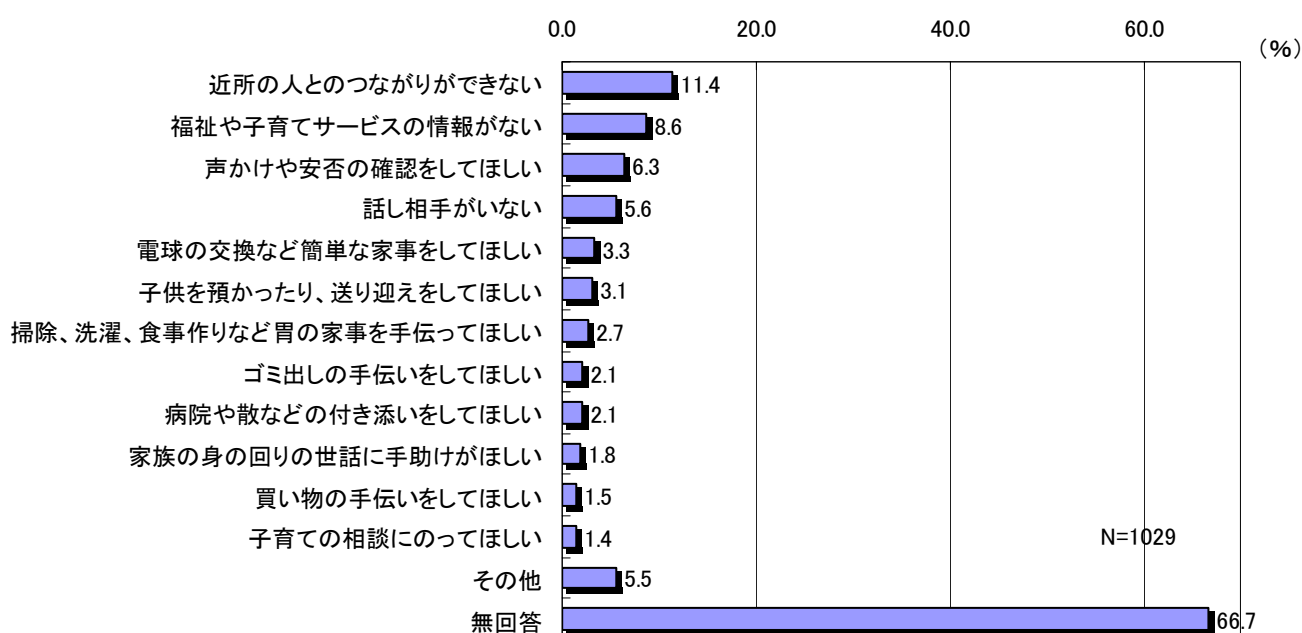
- ・まちの緑化や河川（堀割川）の保全
- ・夜間の治安の悪さ、狭い道、暗い道
- ・マナーの悪さ（ペット、喫煙者、自転車、ゴミ捨て、交通ルール、若者の規範など）
- ・住民間の繋がりの弱さや地域交流の機会拡大
- ・騒音、空気汚染、等の環境破壊（特に日石周辺）
- ・子育てできない親の増加
- ・外国人の増加
- ・医療体制の不足
- ・J R 社宅跡地の有効利用

## (2) 困っていること

約 2 割の人が何らかの困っていることを抱えており、特に近所との繋がりの薄さが多くあがっている。

自分自身のことで、困っていること（手助けがほしいこと）としては、23.3%が何らかの困っていることを抱えている。困っている内容としては「近所の人とのつながりができない」、「福祉や子育てサービスの情報がない」、「声かけや安否の確認をしてほしい」など、住民間の繋がりの弱さがあがっている（図表 13）。

図表 13 あなたご自身のことで、困っていること（複数回答）



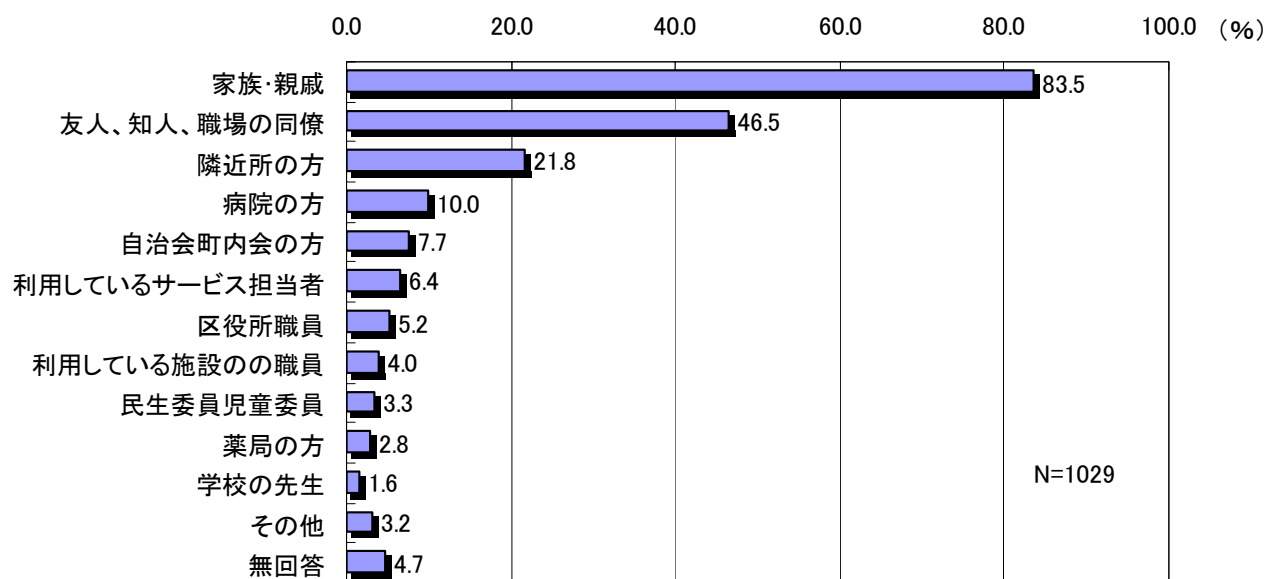


### (3) 頼りにしている人

**困った時、頼りにしているのは家族や身内が8割以上になっている。**

困ったこと(手助けしてほしいこと)があったとき、頼りにしている人(相談できる人)として、「家族・親戚」が83.5%と最も多くあがっている。以下「友人、知人、職場の同僚」、「隣近所の人」と続いている(図表14)。

図表14 困ったことがあったとき、頼りにしている人(複数回答)



### 3. 地域との関わり

#### (1) 地域で協力できること

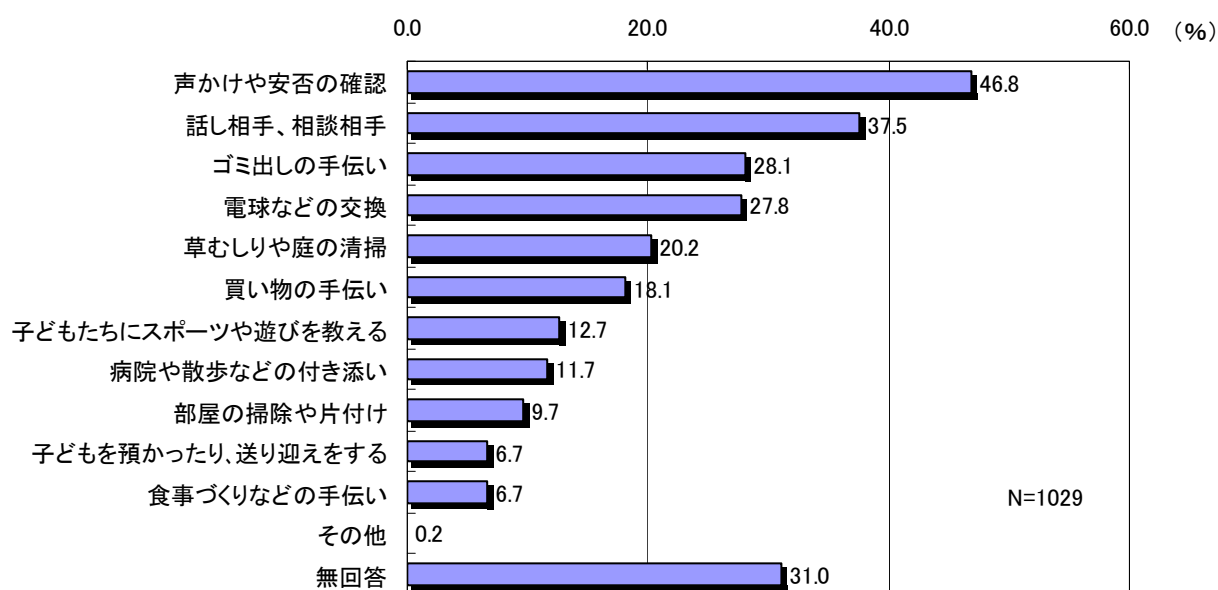
「地域で協力できること」は「声かけや話し相手」などが高い値を示している。

地域に困っている人がいた時には、「これなら協力できる」こととして、「声かけや安否の確認」が46.8%と最も多く、以下「話し相手、相談相手」、「ゴミ出しの手伝い」、「電球などの交換」などが続く。声をかける、話し相手になるといった、言葉をかけあうような事柄から関わりをもとうという意識がうかがえる（図表15）。

年代別にみると、20歳代から60歳代までは「声かけや安否確認」が第1位にあがっており、50%を越える回答である。また、20歳代では「子どもたちにスポーツや遊びを教える」、「病院や散歩などの付き添い」は他に年代と比べて多い。70歳以上は全体的に回答の割合が低い、「話し相手、相談相手」、「声かけや安否確認」は約3割の回答があり、地域活動への参加意欲がみられる（図表16）。

地域別では、どの地域もみな「声かけや安否確認」が第1位にあがっている（図表17）。

図表15 地域で協力できること（複数回答）



図表 16 年代別地域で協力できること（複数回答）（①～③は順位）

	声かけ や安否 の確認	話し相 手、相談 相手	ゴミ出し の手伝 い	電球な どの交 換	草むしり や庭の 清掃	買い物 の手伝 い	子どもた ちにスポ ーツや 遊びを 教える	病院や 散歩な どの付き 添い	部屋の 掃除や 片付け	子どもを 預かった り、送り 迎えをす る	食事づく り等の 手伝い	その他
20歳代	①59.2	②55.1	32.7	③38.8	28.6	24.5	26.5	24.5	12.2	8.2	14.3	0.0
30歳代	①53.3	②43.3	28.3	③34.2	20.8	20.8	20.8	14.2	10.0	9.2	6.7	0.8
40歳代	①57.8	②39.3	③32.6	29.6	20.0	23.7	14.1	10.4	10.4	11.9	11.1	0.7
50歳代	①57.4	②40.2	32.0	③34.9	26.0	20.1	13.0	13.0	10.7	8.3	6.5	0.0
60歳代	①51.2	②37.9	③35.5	33.9	24.6	18.1	14.1	12.1	10.5	4.4	4.4	0.0
70歳以上	②28.1	①29.8	③17.5	13.9	11.9	12.3	5.3	7.9	7.6	4.0	5.3	0.0

図表 17 地域別地域で協力できること（複数回答）（①～③は順位）

	声かけ や安否 の確認	話し相 手、相談 相手	ゴミ出し の手伝 い	電球な どの交 換	草むしり や庭の 清掃	買い物 の手伝 い	子どもた ちにスポ ーツや 遊びを 教える	病院や 散歩な どの付き 添い	部屋の 掃除や 片付け	子どもを 預かった り、送り 迎えをす る	食事づく り等の 手伝い	その他
上町	①49.0	②34.0	③28.0	26.0	25.0	17.0	18.0	11.0	12.0	7.0	7.0	0.0
馬場町	①42.1	③31.4	25.6	②32.2	23.1	19.8	10.7	9.1	11.6	5.8	7.4	0.0
坂下町	①44.6	②39.6	③33.7	26.7	20.8	16.8	14.9	4.0	8.9	6.9	5.9	1.0
下町	①43.0	①43.0	③24.6	18.4	15.8	15.8	11.4	12.3	7.9	5.3	8.8	0.0
原町	①52.4	②42.1	29.4	③31.7	27.0	19.8	11.1	15.9	13.5	10.3	8.7	0.0
西町	①45.3	②34.6	24.7	③25.5	15.2	16.5	10.3	10.7	9.1	4.9	4.1	0.4
東町	①50.9	②40.2	③32.7	32.2	21.0	20.1	15.4	15.9	7.9	7.9	7.5	0.0

●その他、協力できることとして、以下のような意見があがっている。

- ・会社を退職したあと年金生活に入れば可能。
- ・我が家を指定場所にしてくれたら、留守がちな家の宅配物などを預かることができる。
- ・職を活かしたこと（AED、健康維持の講習）。パソコンの設定、初期的なパソコンの指導。
- ・消防団に入っている。救急手当普及員認定証を持っている。
- ・高齢者の生きがい相談、健康増進相談。
- ・高校の時に山岳会に入り今でもやっている。アウトドアなら得意。
- ・活動ホーム、地区センターで食事の手伝いを10～13日くらい。
- ・近所の人の手助けはできる。一人暮らしの高齢者に対してなら協力したい。
- ・老齢のため難しい。身体障害者なのでできない。
- ・フルタイムで勤務し地域以外のボランティア活動も行っているので時間的に余裕が

ない。

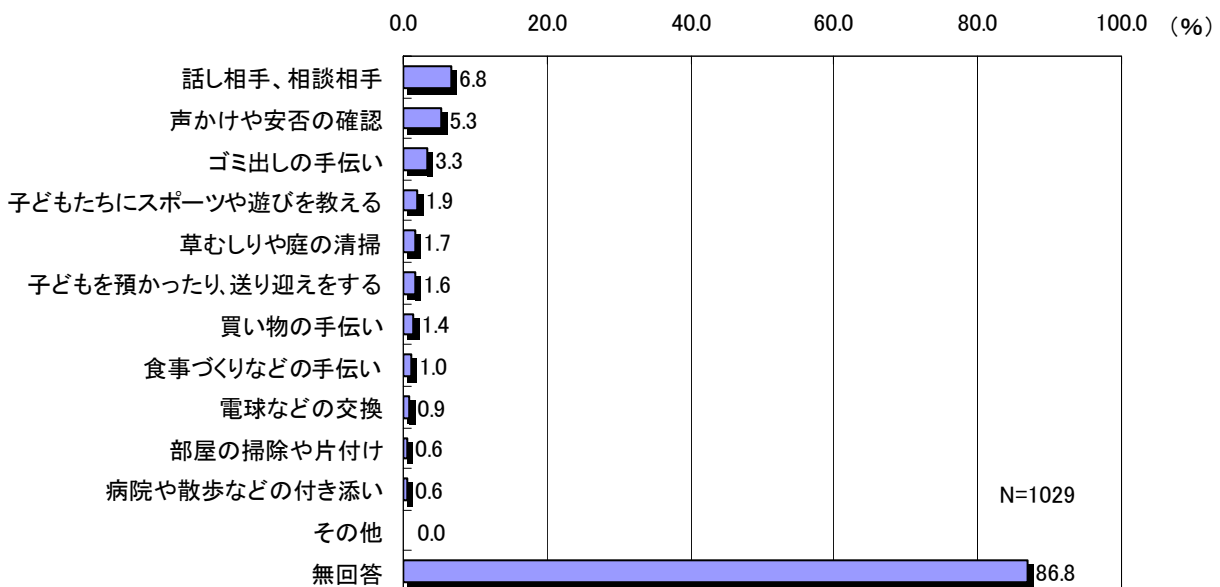
- ・スポットなら協力できるが、コンスタントに継続的な協力は難しい。
- ・自分や家族のことで手一杯。

## (2) すでに行っている活動

### すで実践している活動も「話し相手や声かけ」があがっている。

すでに行っている活動は、13.2%が何らかの活動をすでに行っている。すでに行っている人の活動内容は、「話し相手、相談相手」が6.8%で最も多く、「声かけや安否の確認」、「ゴミ出しの手伝い」と続く。「話し相手、相談相手」、「声かけや安否の確認」、「ゴミ出しの手伝い」は「地域で協力できること」(図表 15) では回答率が高かったが、実践している人は少ないことがうかがえる(図表 18)。

図表 18 すでに行っていること (複数回答)



### (3) 参加してみたい地域活動

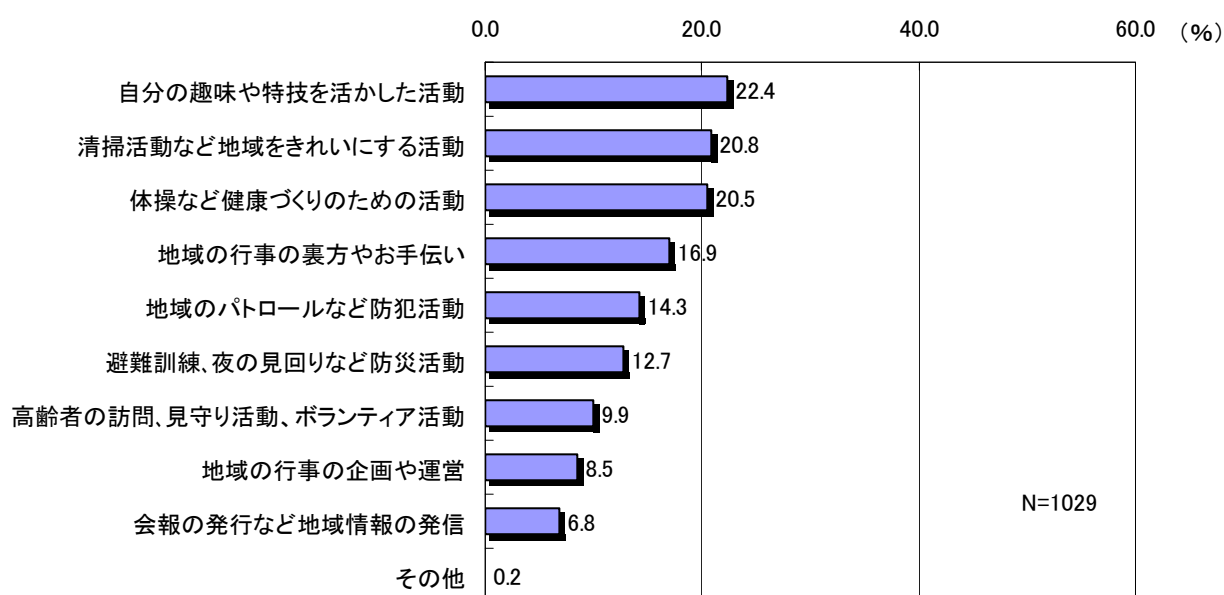
**参加してみたい地域活動には「自分の趣味や特技を活かしたい」と考える人が最も多くなっている。**

参加してみたい地域活動は「自分の趣味や特技を活かした活動」22.4%、「清掃活動等地域をきれいにする活動」20.8%、「体操など健康づくりのための活動」20.5%と、この3つの活動がほぼ同率で上位にあがっている（図表 19）。

年代別にみると、20 歳代及び 70 歳以上は「体操など健康づくりのための活動」が最も多い。30 歳代、40 歳代、50 歳代は「自分の趣味や特技を活かした活動」が最も多いが、30 歳代では「地域のパトロールなど防犯活動」も他の年代と比べて高い。また 40 歳代、50 歳代、60 歳代は「清掃活動等地域をきれいにする活動」が最も多くなっている（図表 20）。

地域別にみると、上町、坂下町、西町、東町は「自分の趣味や特技を活かした活動」が、坂下町、原町は「清掃活動等地域をきれいにする活動」が、さらに馬場町と下町は「体操など健康づくりのための活動」が最も多い（図表 21）。

図表 19 参加してみたい地域活動（複数活動）



図表 20 年代別参加してみたい地域活動（複数活動）（①～③は順位）

	自分の 趣味や 特技を 活かした 活動	清掃活 動など 地域をき れいに する活 動	体操な ど健康 づくりの ための 活動	地域の 行事の 裏方や お手伝 い	地域の パトロー ルなど 防犯活 動	避難訓 練、夜の 見回りな ど防災 活動	高齢者 の訪問、 見守り 活動、ボ ランティア活動	地域の 行事の 企画や 運営	会報の 発行な ど地域 情報の 発信	その他
20歳代	②28.6	③24.5	①32.7	16.3	12.2	14.3	18.4	14.3	4.1	0.0
30歳代	①33.3	②25.8	15.8	21.7	②25.8	17.5	10.0	10.8	9.2	0.0
40歳代	①24.4	16.3	②23.0	17.0	15.6	③20.7	12.6	5.9	4.4	0.0
50歳代	②24.3	①28.4	③23.7	③23.7	16.6	11.8	13.0	11.2	8.9	0.6
60歳代	①25.0	①25.0	③23.8	21.0	18.1	15.3	10.5	9.3	8.5	0.4
70歳以上	②12.6	②12.6	①14.6	7.9	5.0	5.3	5.0	5.3	4.6	0.0

図表 21 地域別参加してみたい地域活動（複数活動）（①～③は順位）

	自分の 趣味や 特技を 活かした 活動	清掃活 動など 地域をき れいに する活 動	体操な ど健康 づくりの ための 活動	地域の 行事の 裏方や お手伝 い	地域の パトロー ルなど 防犯活 動	避難訓 練、夜の 見回りな ど防災 活動	高齢者 の訪問、 見守り 活動、ボ ランティア活動	地域の 行事の 企画や 運営	会報の 発行な ど地域 情報の 発信	その他
上町	①28.0	③22.0	②25.0	18.0	16.0	16.0	9.0	8.0	4.0	0.0
馬場町	10.7	②16.5	①17.4	③14.9	③14.9	8.3	9.9	4.1	5.0	0.0
坂下町	①21.8	①21.8	③19.8	13.9	9.9	12.9	7.9	8.9	5.9	0.0
下町	②13.2	8.8	①17.5	7.9	7.9	③9.6	8.8	4.4	2.6	0.0
原町	20.6	①27.0	②23.8	③21.4	15.9	13.5	11.1	9.5	6.3	0.0
西町	①24.3	②21.4	③20.2	18.9	14.0	11.9	7.0	9.1	9.1	0.0
東町	①30.4	②24.8	③21.5	19.2	17.8	15.9	14.5	11.7	9.3	0.9

●その他、参加してみたい地域活動ととして、以下のような意見があがっている。

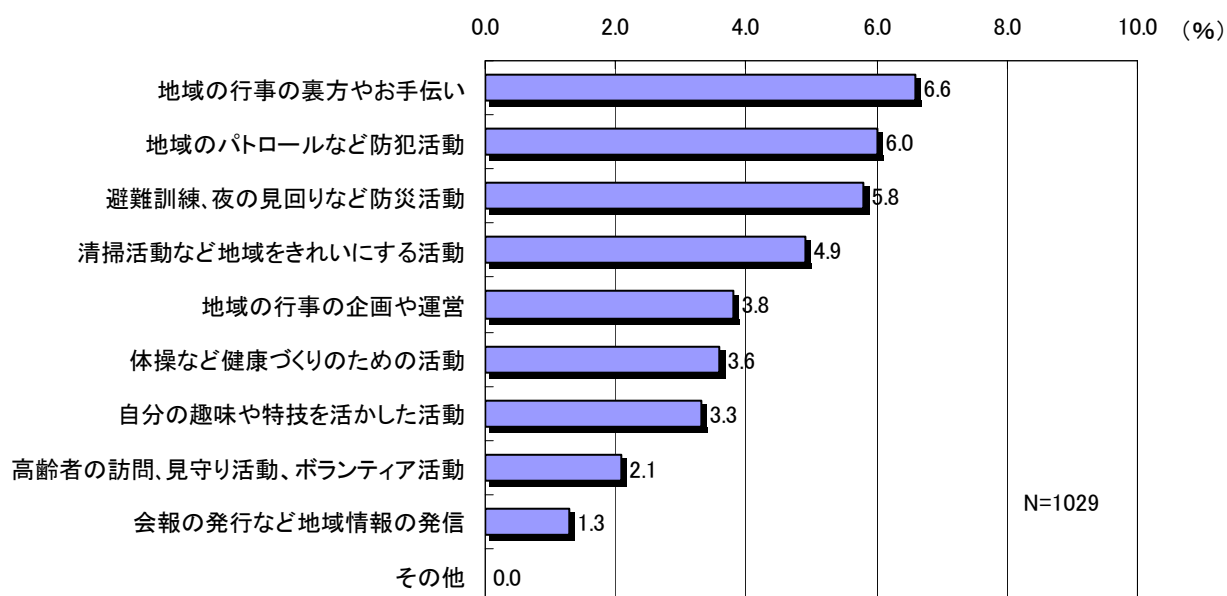
- ・老人給食活動。料理教室。高齢者のメイクアップ教室。
- ・町内会の協力手伝いなど。近所の人の手助けはできる。道路の清掃くらい。
- ・大学で教鞭をとっているので、生涯学習講座の講師ならできるかもしれない。
- ・消防団員としての活動を中心にしたい。
- ・軽い鬱病の人などにカウンセリングや話を聞いてあげる。資格はありませんが。
- ・老齢のため一緒に行うのは難しい。
- ・参加してみたいものはあるが、自分のことで手一杯。余裕がない。
- ・地域のお手伝いをしたいと思っているが、子どもが小さいので無理。
- ・76歳の私は趣味とボランティアで日々忙しい。
- ・介護者がいるため時間がない。

#### (4) すでに参加している地域活動

**すでに参加している活動は少ない。「行事の手伝い」や「防犯活動」は若干多く、「自分の趣味や特技を生かしたい」という思いは実現しにくい状況がうかがえる。**

すでに参加して活動している地域活動は、「参加してみたい地域活動」よりも回答の割合が低い。すなわち参加してみたいが実践が伴わないという状況がうかがえる。内容としては「地域の行事の裏方やお伝い」が6.6%、以下「地域のパトロールなど防犯活動」、「避難訓練、夜の見回りなど防災活動」、「清掃活動など地域をきれいにする活動」と続く。参加してみたい活動で上位にあった「自分の趣味や特技を活かした活動」、「体操など健康づくりのための活動」をすでに行っている人は少ない。やってみたいこととが実際には地域で実現することが難しい様子が見られる（図表22）。

図表22 すでに参加している地域活動（複数活動）

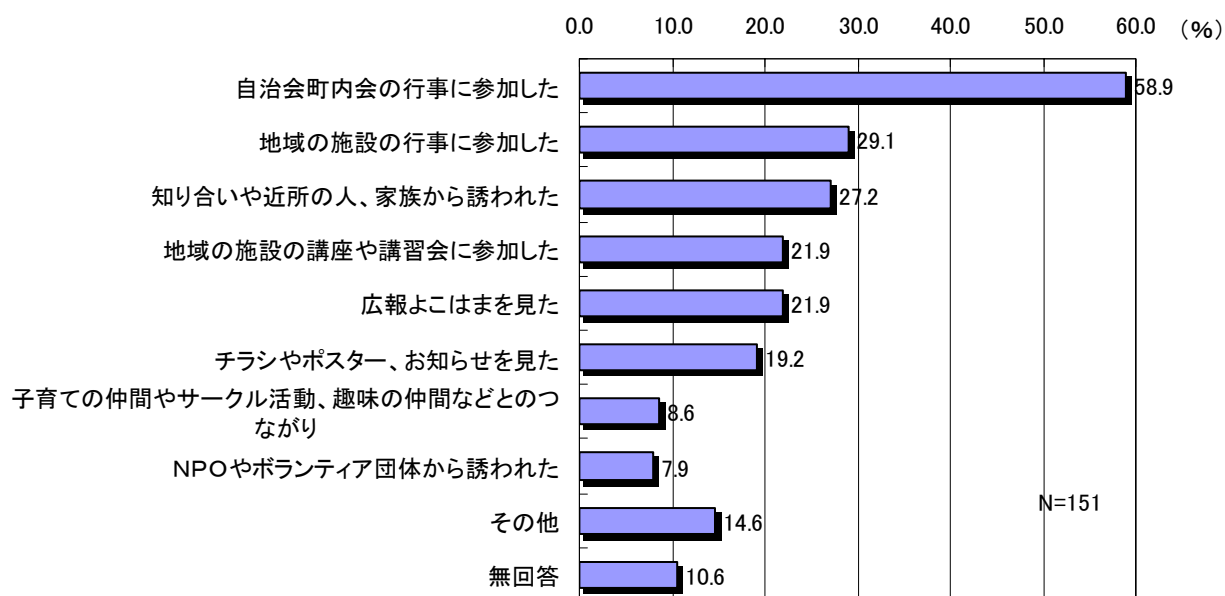


## (5) 参加したきっかけ

**「自治会町内会の行事に参加」したことが地域活動に参加するきっかけになる場合が多い。**

すでに地域活動に参加している 151 人に、参加したきっかけをきいてみると、「自治会町内会の行事に参加した」が 58.9%と最も多く、以下「地域の施設の行事に参加した」、「知り合いや近所の人、家族から誘われた」、「地域の施設の講座や講習会に参加した」と続く。地域活動を始めるとあって、自治会町内会や施設の行事や講習会がきっかけづくりとして役立っていることがうかがえる（図表 23）。

図表 23 地域活動に参加したきっかけ（複数活動）





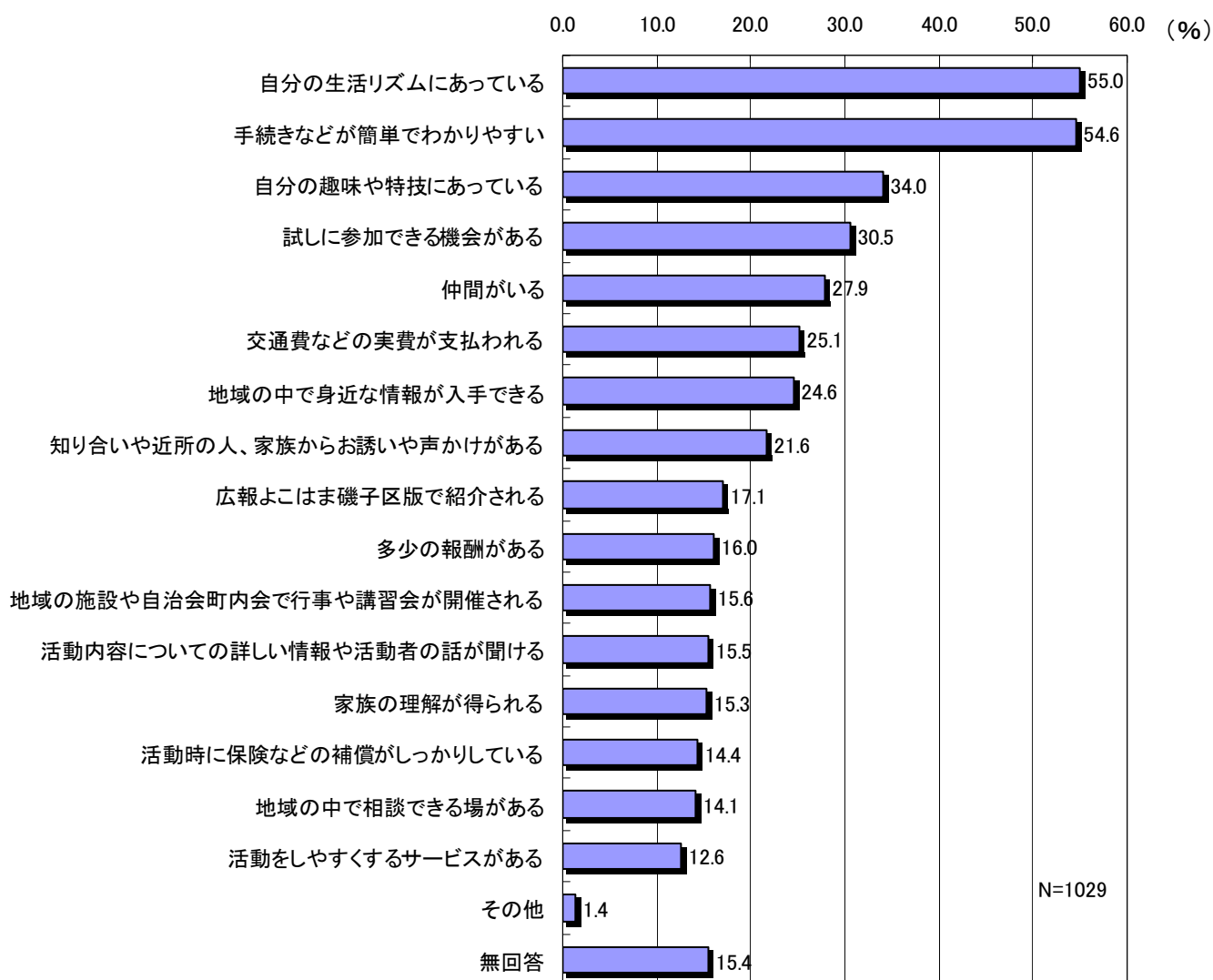
(6) 地域活動への参加をすすめる条件

**「自分の生活リズムにあっていること」、「手続きが簡単」なことが、地域活動に参加するときの重要な条件になる。**

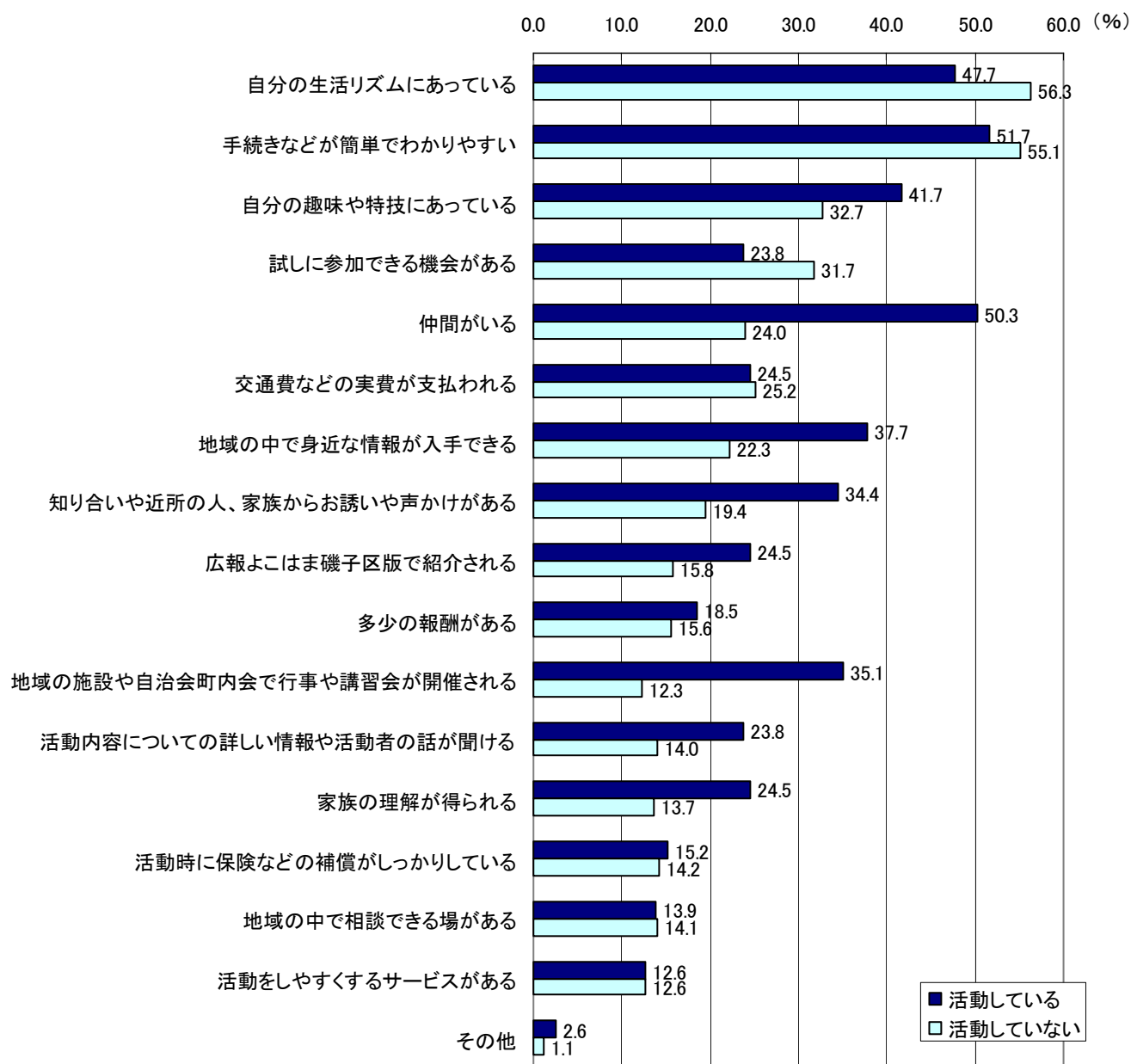
地域活動への参加をすすめる条件として、「自分の生活リズムにあっている」が55.0%、「手続きなどが簡単でわかりやすい」が54.6%と、この2つの意見が多く、以下「自分の趣味や特技にあっている」、「試しに参加できる機会がある」と続く(図表24)。

すでに活動している人と活動していない人と比べてみると、すでに活動している人は、「手続きなどが簡単でわかりやすい」、「仲間がいる」、「自分の生活リズムにあっている」、「自分の趣味や特技にあっている」、「地域の中で身近な情報が入手できる」、「地域の施設や自治会町内会での行事や講習会が開催される」などの意見が上位にあがっている。一方、参加していない人は「自分の生活リズムにあっている」、「手続きなどが簡単でわかりやすい」、「試しに参加できる機会がある」が活動している人よりも高い割合であがっている(図表25)。

図表 24 地域活動の参加を進める条件(複数活動)



図表 25 活動している人と活動していない人の比較



#### 4. 健康への取り組み

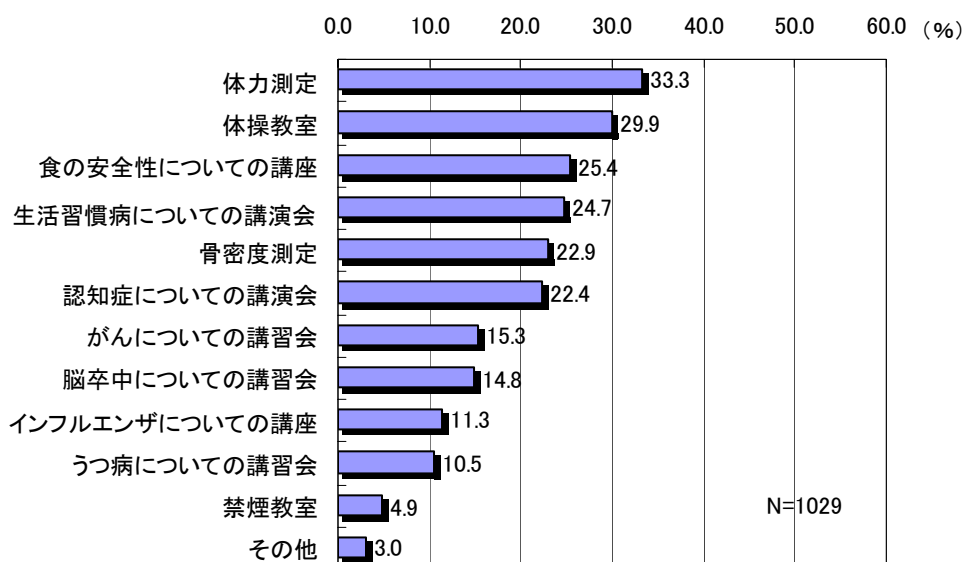
##### (1) 参加してみたい健康づくりの事業

**健康づくりの取り組みとして「体力測定」「体操教室」へのニーズが高くなっている。**

いつまでも健康にいきいき暮らしていくための健康づくりとして、「体力測定」33.3%、「体操教室」29.9%、「食の安全性についての講座」25.4%に参加してみたいというニーズがあがっている（図表26）。

年代別にみると、20歳代に「体力測定」が53.1%と多い。30歳代から60歳代では「生活習慣病についての講演会」が第3位にあがっている。70歳以上では「骨密度測定」も第3位にあがっており、他の年代よりやや多くなっている（図表27）。

図表26 参加してみたい健康づくりの事業（複数回答）



図表27 年代別参加してみたい健康づくりの事業（複数回答）（①～③は順位）

	体力測定	体操教室	食の安全性についての講座	生活習慣病についての講演会	骨密度測定	認知症についての講演会	がんについての講習会	脳卒中についての講習会	インフルエンザについての講座	うつ病についての講習会	禁煙教室	その他	無回答
20歳代	①53.1	③18.4	②30.6	20.4	18.4	16.3	14.3	10.2	10.2	14.3	2.0	4.1	16.3
30歳代	①38.3	20.0	②28.3	③24.2	20.8	11.7	15.8	10.8	12.5	6.7	5.8	1.7	25.0
40歳代	②30.4	①31.9	28.9	③29.6	22.2	26.7	16.3	11.9	17.0	17.0	3.7	1.5	22.2
50歳代	①34.9	②32.5	27.2	③29.0	20.7	23.7	14.8	13.0	5.9	9.5	6.5	3.6	24.9
60歳代	②36.7	①37.1	25.4	③28.6	23.8	24.6	13.7	17.7	8.1	9.3	4.8	4.0	22.6
70歳以上	②26.2	①27.5	21.2	18.2	③25.5	23.2	16.2	16.9	13.9	9.6	4.6	3.0	30.8

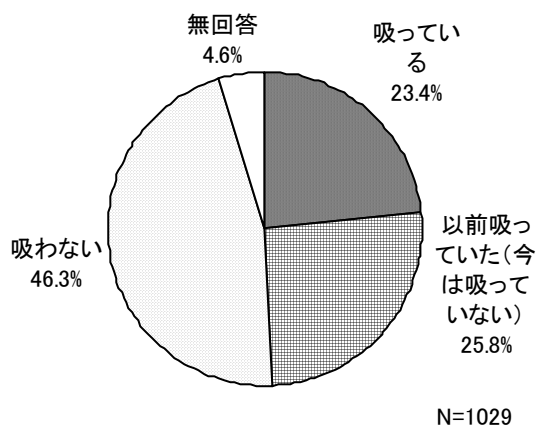
## (2) 喫煙状況

「病院」、「交通機関」、「官公庁」では「すぐに全面禁煙」が求められている。

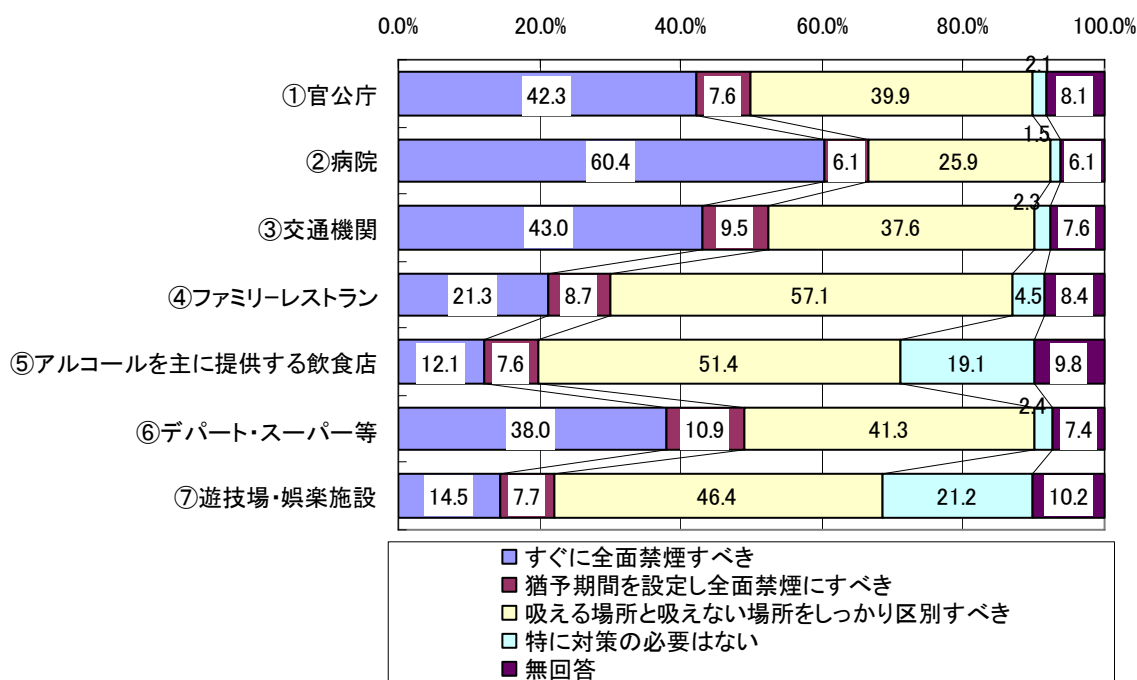
喫煙の状況は「吸っている」は23.4%、「以前吸っていた（今は吸っていない）」は25.8%で、あわせると、喫煙経験者は約半数である（図表28）。

受動喫煙防止対策について、7施設のそれぞれに「すぐに全面禁煙にすべき」、「猶予期間を設定して全面禁煙にすべき」、「吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき」、「特に対策の必要はない」のいずれかで答えてもらった。「病院」は「すぐに全面禁煙にすべき」が特に高く60.4%である。また「交通機関」（43.0%）、「官公庁」（42.3%）も「すぐに全面禁煙にすべき」が多くなっている。一方、「ファミリーレストラン」（57.1%）、「アルコールを主に提供する飲食店」（51.4%）は「遊戯場・娯楽施設」（46.4%）は「吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき」が多く、「デパート・スーパー等」は「吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき」、「猶予期間を設定して全面禁煙にすべき」がほぼ同率になっている（図表29）。

図表 28 喫煙状況



図表 29 受動喫煙防止対策



## 5. 地域の情報やネットワーク

### (1) 根岸地区で自慢できること

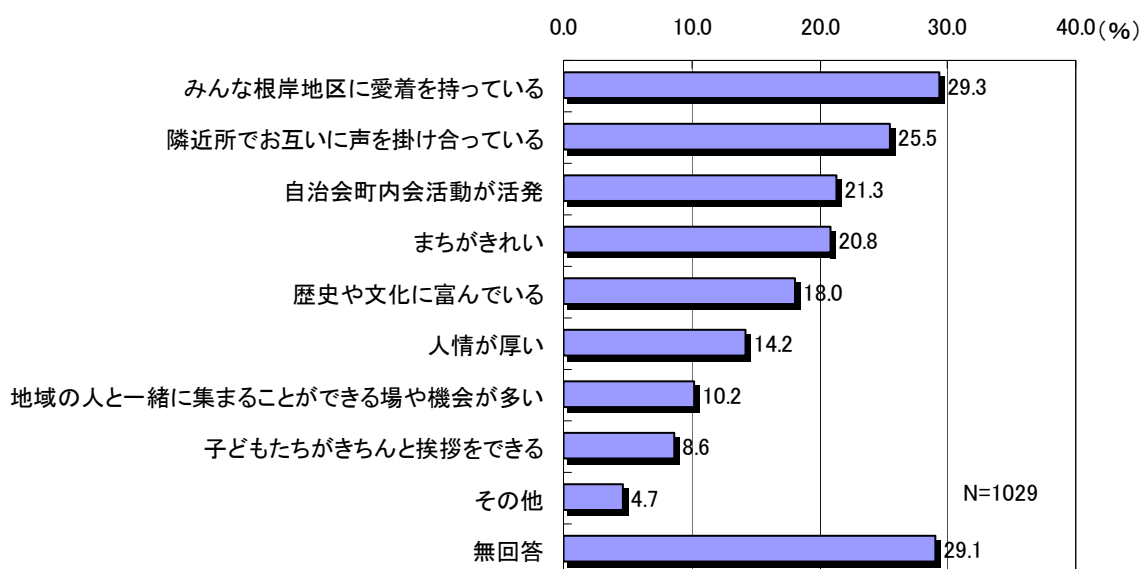
**「根岸地区に愛着を持っていること」が自慢できることのトップになっている。**

根岸地区で自慢できることとして「みんなが根岸地区に愛着を持っている」が29.3%と最も多く、以下「隣近所でお互いに声を掛け合っている」、「自治会町内会活動が活発」と続く（図表30）。

年代別にみると、20歳代は回答の割合が全体的に低い（無回答が40.8%）。逆に70歳以上は回答の割合が全体的に高く、「みんなが根岸地区に愛着を持っている」、「隣近所でお互いに声を掛け合っている」、「自治会町内会活動が活発」いずれも3割を超えている。年齢があがるにつれて、根岸地区への愛着心や関わりも高くなることがうかがえる（図表31）。

地域別にみると、馬場町、坂下町は「みんなが根岸地区に愛着を持っている」、「隣近所でお互いに声を掛け合っている」いずれも3割を超えている。東町は「町がきれい」が1位に入っている（図表32）。

図表30 根岸地区で自慢できること（複数回答）



図表 31 年代別根岸地区で自慢できること（複数回答）（①～③は順位）

	みんな 根岸地 区に愛 着を持っ ている	隣近所 でお互 いに声 を掛け 合ってい る	自治会 町内会 活動が 活発	まちがき れい	歴史や 文化に 富んで いる	人情が 厚い	地域の いろん なとい つしよ に集 まるこ とがで きる 場や機 会が多 い	子ども たちと 挨拶を できる	その他	無回答
20歳代	6.1	③12.2	8.2	①26.5	③12.2	0.0	0.0	②16.3	2.0	40.8
30歳代	①19.2	15.8	12.5	②16.7	②16.7	14.2	7.5	4.2	10.8	27.5
40歳代	①26.7	12.6	③23.0	20.0	②25.2	10.4	5.9	8.1	5.9	28.1
50歳代	①23.1	20.1	15.4	③21.3	②22.5	12.4	8.3	6.5	4.1	36.1
60歳代	①33.1	②27.4	③20.2	③20.6	16.5	12.5	9.7	8.5	3.2	29.0
70歳以上	①39.4	②38.7	③30.8	21.9	14.6	20.9	16.6	10.3	3.6	23.5

図表 32 地域別根岸地区で自慢できること（複数回答）（①～③は順位）

	みんな 根岸地 区に愛 着を持っ ている	隣近所 でお互 いに声 を掛け 合ってい る	自治会 町内会 活動が 活発	まちがき れい	歴史や 文化に 富んで いる	人情が 厚い	地域の いろん なとい つしよ に集 まるこ とがで きる 場や機 会が多 い	子ども たちと 挨拶を できる	その他	無回答
上町	②26.0	①31.0	②26.0	17.0	12.0	19.0	14.0	7.0	6.0	33.0
馬場町	①39.7	①39.7	③23.1	18.2	17.4	16.5	10.7	13.2	2.5	25.6
坂下町	②32.7	①37.6	③26.7	21.8	21.8	17.8	18.8	7.9	2.0	23.8
下町	②29.8	①31.6	③21.9	18.4	16.7	18.4	7.0	3.5	5.3	23.7
原町	①27.0	②25.4	②25.4	22.2	15.1	11.9	11.9	11.1	2.4	28.6
西町	①29.2	15.2	③19.8	②20.2	19.8	9.5	6.6	5.8	5.8	30.5
東町	①24.8	18.2	14.5	①24.8	③20.1	12.6	8.4	10.3	6.1	33.2

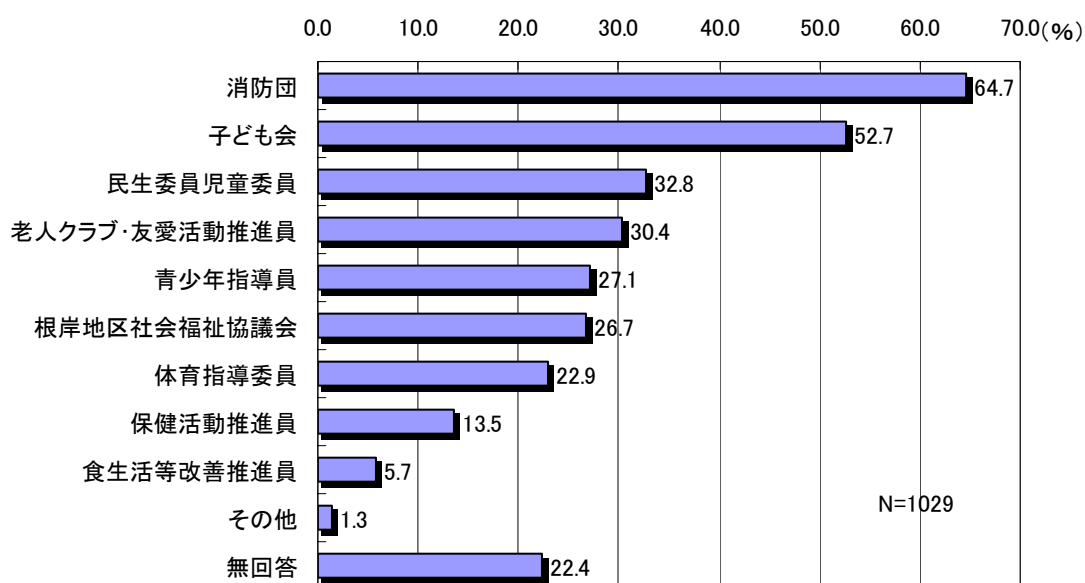
(2) 地域の中で知っている団体や名称

「消防団」「子ども会」を知っている割合は 40～60 歳代で多くなっている。

地域の中で知っている団体や名称は「消防団」が 64.7%と最も多く、「子ども会」、「民生委員児童委員」と続く（図表 33）。

年代別にみると、いずれも「消防団」が最も多いが、特に 60 歳代は 71.8%と多い。40 歳代、50 歳代は「子ども会」が多く 6 割を越えている。また 70 歳以上は「民生委員児童委員」、「老人クラブ・友愛活動員」が他と比べて多くなっている（図表 34）。

図表 33 地域の中で知っている団体や名称（複数回答）



図表 34 年代別地域の中で知っている団体や名称（複数回答）（①～③は順位）

	消防団	子ども会	民生委員児童委員	老人クラブ・友愛活動推進員	青少年指導員	根岸地区社会福祉協議会	体育指導委員	保健活動推進員	食生活等改善推進員	その他	無回答
20歳代	①49.0	②34.7	③10.2	6.1	③10.2	8.2	2.0	4.1	2.0	0.0	38.8
30歳代	①59.2	②45.8	14.2	10.8	③15.8	15.0	7.5	7.5	4.2	0.8	30.0
40歳代	①64.4	②60.7	29.6	18.5	③31.1	25.2	20.0	5.9	4.4	0.0	22.2
50歳代	①67.5	②62.1	③32.0	21.9	③32.0	19.5	24.3	9.5	1.8	1.2	18.3
60歳代	①71.8	②55.2	③36.7	35.9	35.9	28.2	33.9	19.4	8.1	2.8	20.2
70歳以上	①62.3	②47.7	42.7	②47.7	22.8	38.1	24.2	18.2	7.6	1.0	20.9

### (3) 地域情報の入手手段

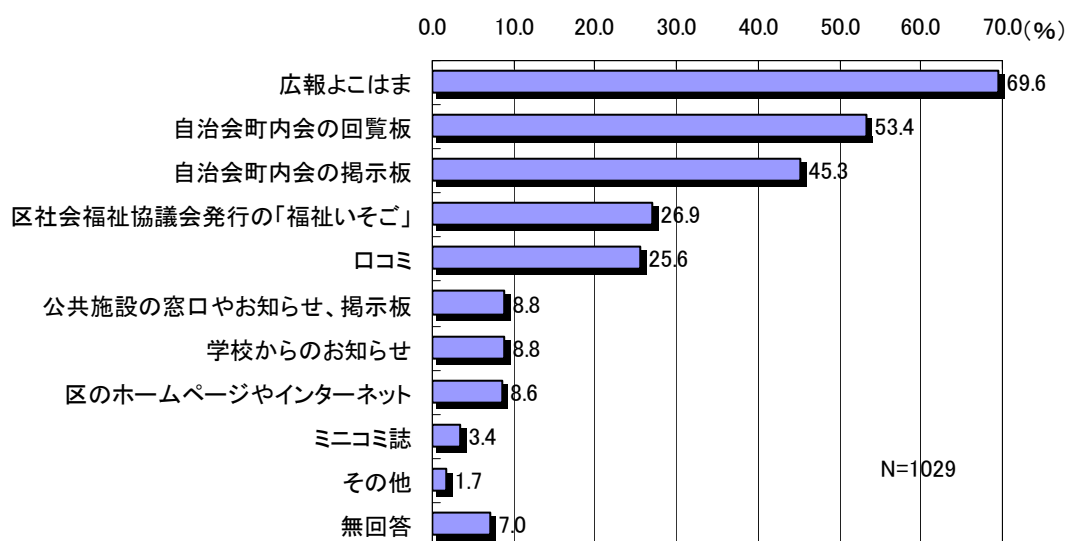
**「広報よこはま」から地域情報入手している人の割合は約7割。**

地域情報の入手手段としては「広報よこはま」が69.6%と最も多く、「自治会町内会の回覧板」、「自治会町内会の掲示板」も次に続いている（図表35）。

年代別にみると、30歳代以上は「広報よこはま」、50歳以上は「広報よこはま」と「自治会町内会の回覧板」の割合が多い。30～40歳代は「区のホームページ、インターネット」、40歳代は「学校からのお知らせ」が他の年代と比べて多い（図表36）。

地域別にみると、いずれも「広報よこはま」、「自治会町内会の回覧板」、「自治会町内会の掲示板」が多い。特に上町、馬場町、坂下町、下町は「自治会町内会の回覧板」も6割以上の回答がある。一方、西町と東町は「自治会町内会の回覧板」、「自治会町内会の掲示板」の割合は他と比べて低いが、数としては少ないが、「区のホームページやインターネット」の割合が他の地域よりやや多くなっている（図表37）。

図表35 地域情報の入手手段（複数回答）





図表 36 年代別地域情報の入手手段（複数回答）（①～③は順位）

	広報よこ はま	自治会 町内会 の回覧 板	自治会 町内会 の掲示 板	区社会 福祉協 議会発 行の「福 祉いそ ご」	ロコミ	公共施 設の窓 口やお 知らせ、 掲示板	学校か らのお 知らせ	区のホ ームペ ージやイ ンターネ ット	ミニコミ 誌	その他	無回答
20歳代	①49.0	16.3	②22.4	14.3	③18.4	4.1	2.0	6.1	4.1	0.0	20.4
30歳代	①65.8	③25.0	②36.7	15.0	③25.0	3.3	8.3	15.0	5.0	2.5	7.5
40歳代	①70.4	③37.8	②40.7	22.2	22.2	5.2	22.2	12.6	3.0	0.0	7.4
50歳代	①66.9	②56.2	③46.2	24.9	22.5	7.1	4.7	8.9	1.8	2.4	6.5
60歳代	①76.2	②63.7	③50.0	31.5	23.0	8.9	6.0	9.7	3.6	2.8	5.2
70歳以上	①70.2	②67.9	③50.3	33.4	32.5	14.6	8.6	4.0	3.6	1.0	5.6

図表 37 地域別地域情報の入手手段（複数回答）（①～③は順位）

	広報よこ はま	自治会 町内会 の回覧 板	自治会 町内会 の掲示 板	区社会 福祉協 議会発 行の「福 祉いそ ご」	ロコミ	公共施 設の窓 口やお 知らせ、 掲示板	学校か らのお 知らせ	区のホ ームペ ージやイ ンターネ ット	ミニコミ 誌	その他	無回答
上町	②71.0	①76.0	③46.0	23.0	22.0	8.0	7.0	7.0	2.0	0.0	1.0
馬場町	①69.4	②67.8	③43.8	29.8	30.6	16.5	9.1	4.1	3.3	1.7	5.8
坂下町	②68.3	①75.2	③51.5	26.7	26.7	12.9	16.8	6.9	4.0	2.0	5.0
下町	①73.7	②63.2	③48.2	25.4	24.6	9.6	14.0	7.9	5.3	2.6	7.9
原町	①62.7	②54.8	③50.0	26.2	24.6	7.9	5.6	6.3	2.4	0.8	8.7
西町	①68.3	③40.7	②43.6	30.9	28.4	4.9	8.6	10.3	4.5	2.5	8.6
東町	①74.3	③34.1	②40.7	24.8	22.9	7.5	5.1	12.1	1.9	0.9	7.0

## 6. 磯子区地域福祉保健計画の認知と期待

### (1) 知っている言葉

**地域福祉保険計画に関する言葉を1つでも知っている人は3割弱で、60歳以上が高い。**

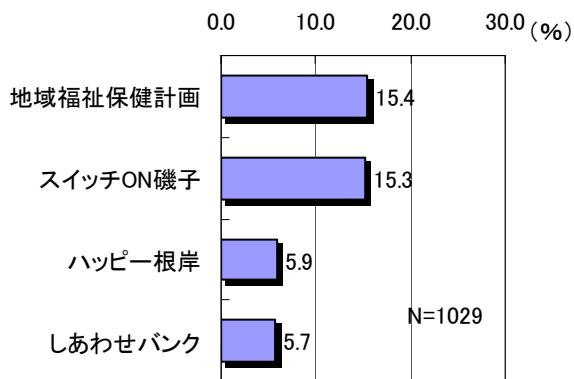
地域福祉保健活動に関して、知っている言葉は「地域福祉保健計画」が15.4%、「スイッチON磯子」15.3%、「ハッピー根岸」5.9%「しあわせバンク」は5.7%となっている（図表38）。

年代別にみると、60歳代、70歳以上に知っている割合がやや多い（図表39）。

この4つの言葉を1つでも「知っている」と回答した割合は27.1%である（図表40）。

年代別にみると、60歳代、70歳以上に多く3割を超えている（図表41）。

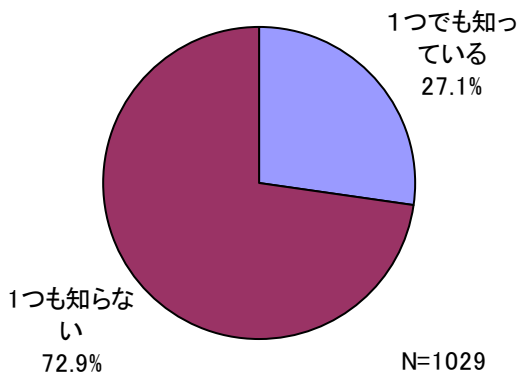
図表38 知っている言葉（複数回答）



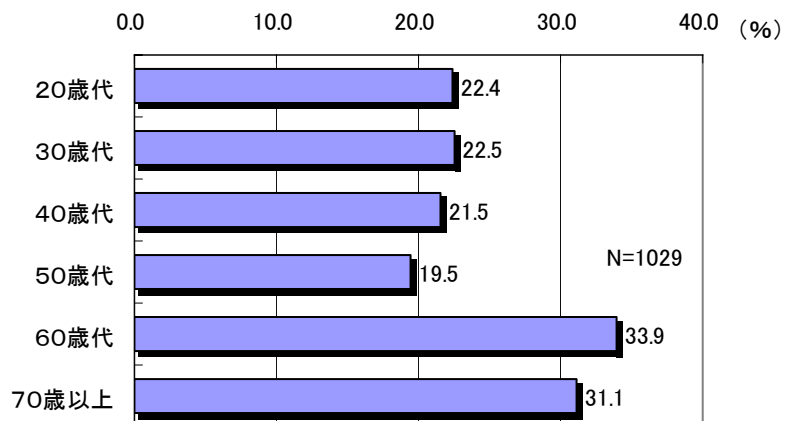
図表39 年代別知っている言葉（複数回答）

	地域福祉保健計画	スイッチON磯子	ハッピー根岸	しあわせバンク
20歳代	10.2	4.1	2.0	8.2
30歳代	5.8	15.0	2.5	0.8
40歳代	11.9	14.8	3.0	5.2
50歳代	8.9	9.5	5.9	3.6
60歳代	16.9	19.8	6.5	7.7
70歳以上	23.8	16.9	8.9	7.3

図表40 1つでも知っていると回答



図表41 年代別1つでも知っていると回答



(2) 根岸地区の地域福祉保健計画の4本柱への意見、提案

1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう
2. いつまでも健康でいきいき暮らそう
3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう
4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくろう

上記に掲げた根岸地区の地域福祉保健計画の4本柱に関して、それぞれ意見や提案などをきいたところ、以下のような回答がよせられた。( )は意見数である。

### 1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう

- 地域住民間での交流機会を充実する(61)
- 安心、安全、防犯対策で子どもを守る(35)
- 暖かい大人目で子どもを見守る(28)
- 子ども会、サークル活動を活性化する(21)
- 親教育を徹底する(20)
- 子育て家族への子育てと仕事の両立支援、学童保育や一時保育を充実する(19)
- 子ども達への遊びの紹介や子ども達の居場所づくり(18)
- 子育て相談の機会、出産支援を行う(16)
- 挨拶、声かけを徹底する(12)
- 学校や警察等との地域連携を進める(7)

### 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

- 散歩やジョギングのコースづくりとマップづくり(91)
- 健康管理の取り組みや講習会や情報提供を充実する(41)
- 健康に配慮した道路整備やまちの美化をはかる(37)
- ラジオ体操の会や体操教室を開催する(32)
- サークルやクラブ活動、交流の場づくりや仲間づくりをすすめる(28)
- 運動しやすい広場やスポーツ関連施設を整備する(14)
- 運動に関するイベントやスポーツ大会を開催する(13)
- 自分の健康管理は自分で行う(9)

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

- 挨拶、声かけ運動を心がける(79)
- 交流の場、気軽なお茶飲み会を開催する(54)
- 地域の活動へ参加しやすいきっかけをつくる(14)
- 参加しやすいイベントや行事などを開催する(12)
- 情報の提供方法の工夫、ネットワークづくり(12)
- 高齢者のサポートや生きがいづくり(11)
- 地域の施設の活用や相談室を設置する(9)
- 新旧住民のコミュニケーションをはかる(7)
- 助け合いの心、感謝の気持ちをもつ(7)

- 自治会町内会活動を活性化する(5)
- サークルや趣味の会の設置する(5)
- 地域全体での防犯活動に取り組む(4)
- 地域のシンボルをつくる(3)

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくろう

- 緑化運動、花いっぱい運動をすすめる(51)
- ごみ捨てのマナーを守り、ポイ捨て不法投棄は禁止する(43)
- 喫煙者がマナーを守り、吸い殻のポイ捨て等は禁止する(35)
- 地域住民による清掃活動、さわやか運動をすすめる(31)
- ペットのマナーを守り、糞などの後始末を徹底する(27)
- 地域の約束事やルールをつくる(24)
- マナーを守る、小さいときからの教育を徹底する(21)
- 交流の場づくりや日頃から声かけを行う(14)
- 自転車の乗車マナーや駐輪場の使い方を守る(12)
- 住民同士の心がけ、感謝の気持ちをもつ(12)
- 安心安全な道路を整備する(7)
- 防犯活動、パトロールを徹底する(5)
- 堀割川を保全する(3)

#### (3) これから根岸地区で、取り組んで欲しいこと

次期地域福祉保健計画等で、根岸地区として取り組んで欲しいこととして、以下のような意見や提案があげられた。( )は意見数である。

- 地域の住民同士の交流や相互に相談しあえる場をつくる(42)
- 気軽に参加できるイベント等を企画し地域を活性化する(30)
- 情報提供の工夫や情報交流のしくみをつくる(26)
- 防犯、防災、医療対策を整備した安心安全なまちをつくる(26)
- 住民間でマナーを守り、地域でのルールをつくる(26)
- 根岸地区の計画を実践し、実現する取り組みを期待する(21)
- 高齢者や障害者にやさしいまちをつくる(18)
- 地域の美化、自然保護など環境面での整備をすすめる(17)
- 根岸駅前の活性化をはかり交流の場として整備する(15)
- 高齢者の生きがいつくりや地域活動へ参加する機会を充実する(12)
- サークル活動や趣味の会を開く(11)
- 安全な道路を整備する(10)
- 子育て支援を充実し、子ども達の教育を強化する(9)
- 地元企業の町づくりへの参加協力をうながす(4)
- 根岸地区特有のシンボル、愛着となるものをつくる(6)
- まちの公園や広場を利用しやすいように整備する(6)

### 第3章 町別調査結果

本章では、町別に集計した結果の中から、主要な項目をとりだし町ごとにとりまとめた。回答者の町別回答数と根岸全体の町別人口は図表 3-1 の通りである。本調査の回答者の町別構成（a）と根岸全体の町別構成（b）はほぼ一致していると考えられる。

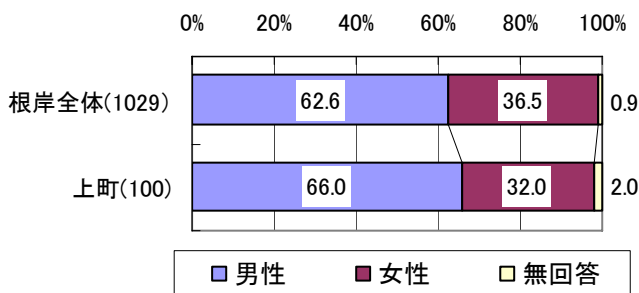
図表 3-1 町別回答数と根岸全体の町別構成との関係（再掲）

町名	回答数(人)	回答数の町別構成 (%) (a)	根岸全体の人口 (人)	根岸全体の町別構成 (%) (b)
上町	100	9.7	1,014	10.7
馬場町	121	11.8	1,106	11.4
坂下町	101	9.8	956	9.9
下町	114	11.1	1,043	10.8
原町	126	12.2	1,211	12.5
西町	243	23.6	2,221	22.9
東町	214	20.8	2,108	21.8
無回答	10	1.0		
合計	1,029	100.0	9,685	100.0

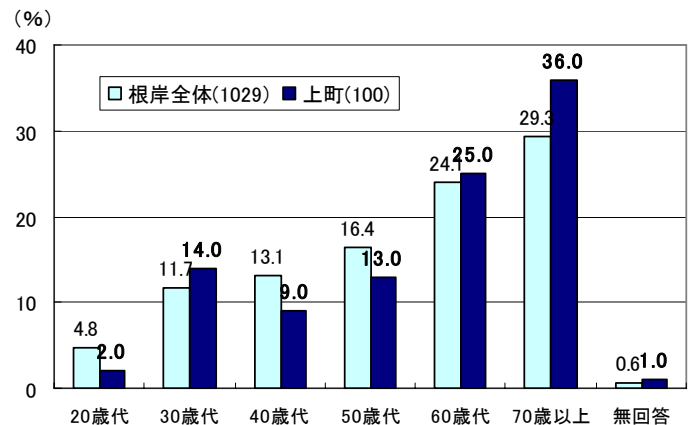
#### 1. 上町

##### (1) 回答者の属性

図表 3-2 男女構成

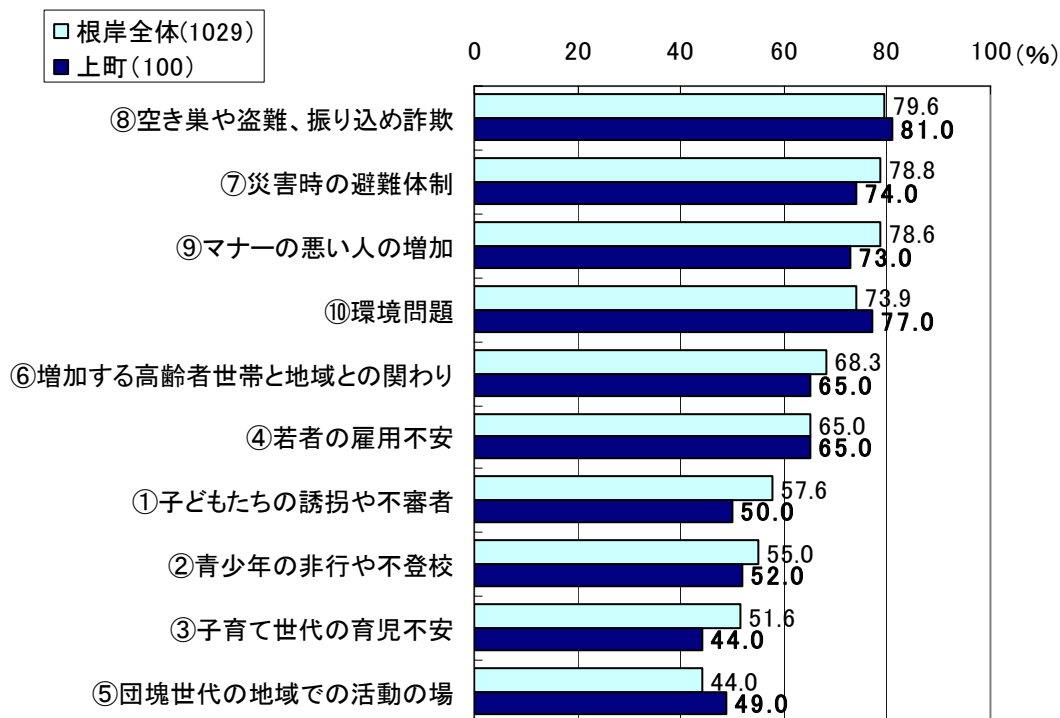


図表 3-3 年代構成



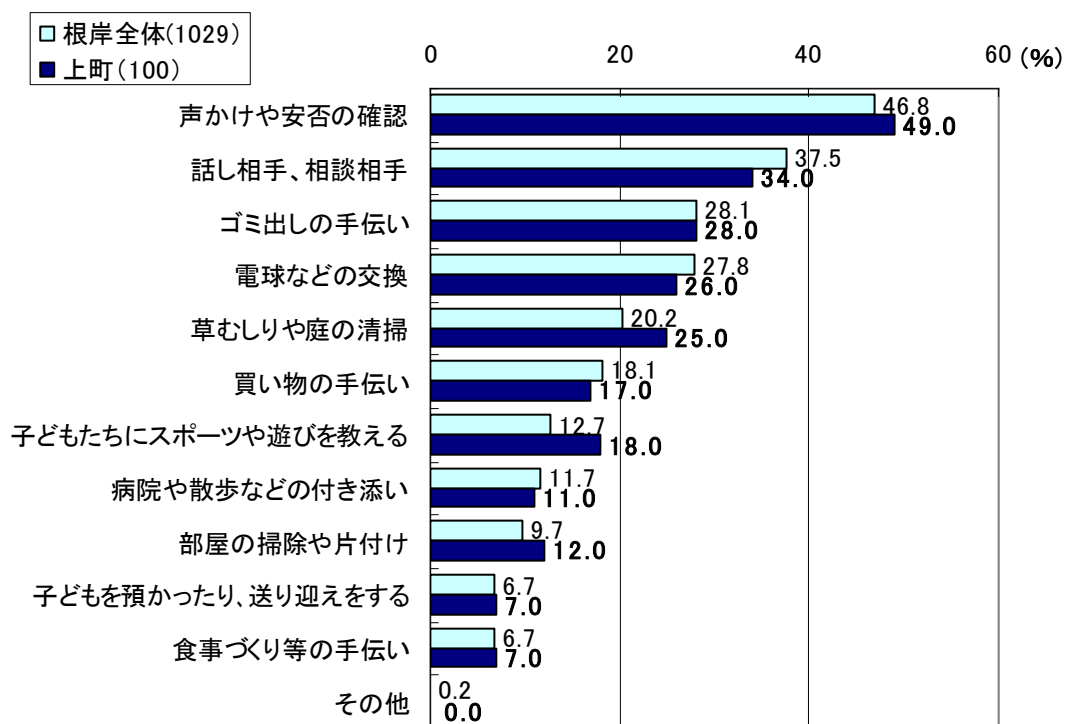
(2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

図表 3-4 地域で最近気になること (複数回答)



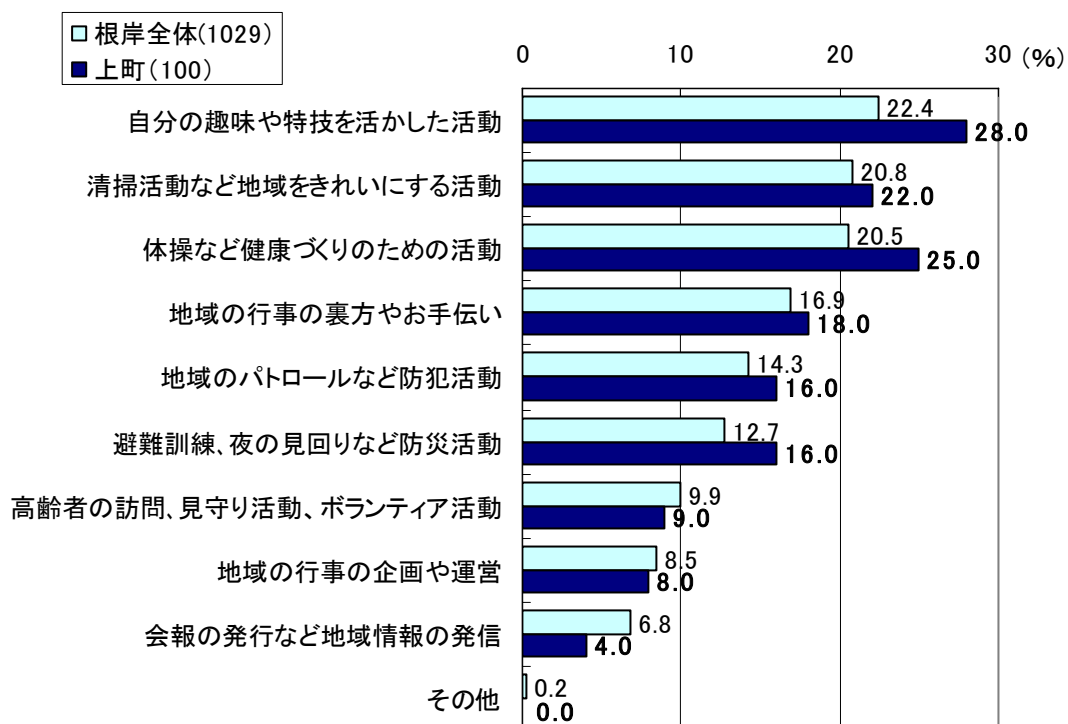
(3) 地域で協力できること

図表 3-5 地域で協力できること (複数回答)

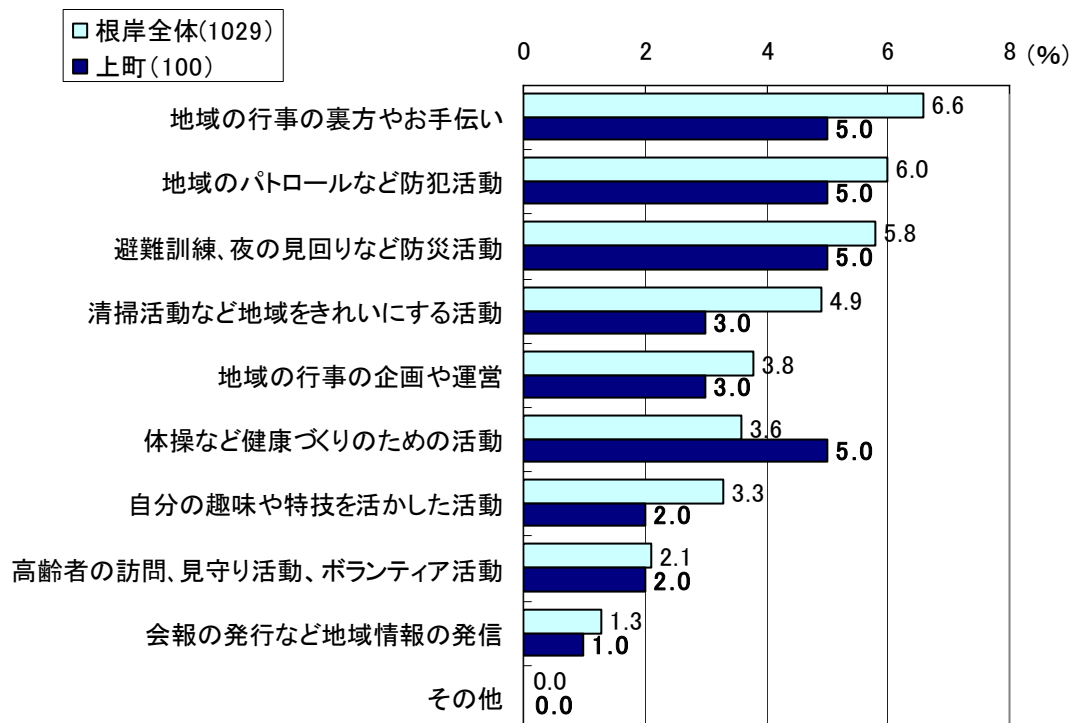


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-6 参加してみたい地域活動（複数回答）

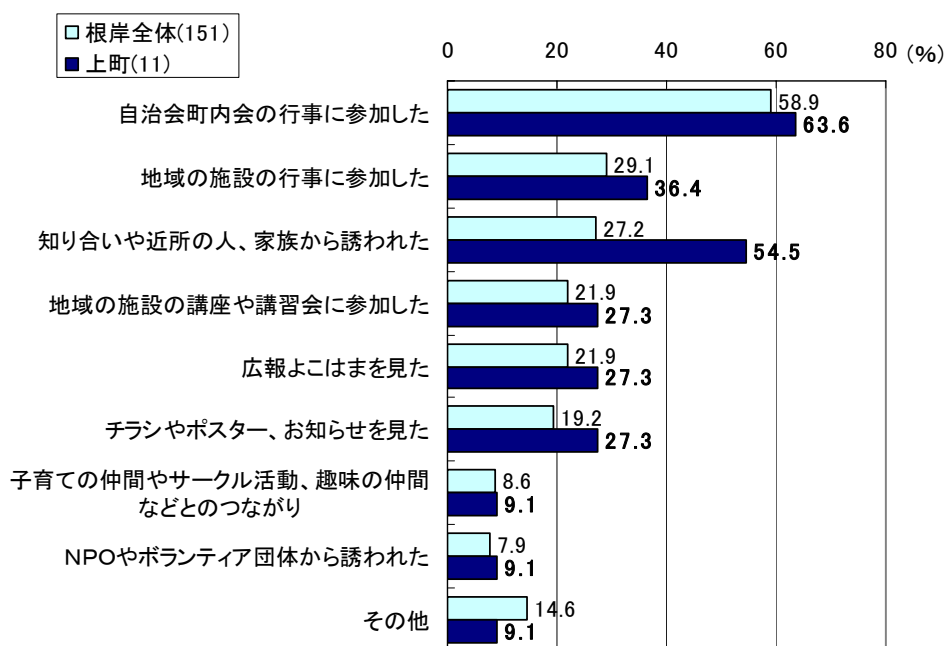


図表 3-7 すでに参加している地域活動（複数回答）

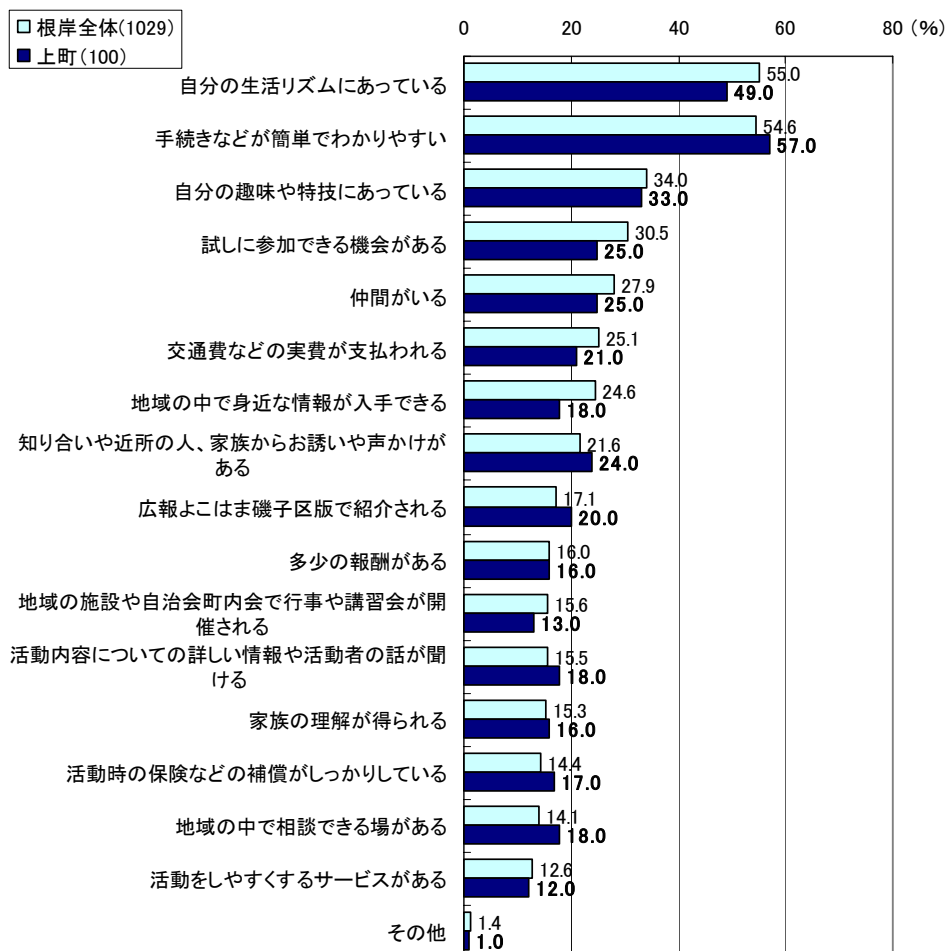


(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-8 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）



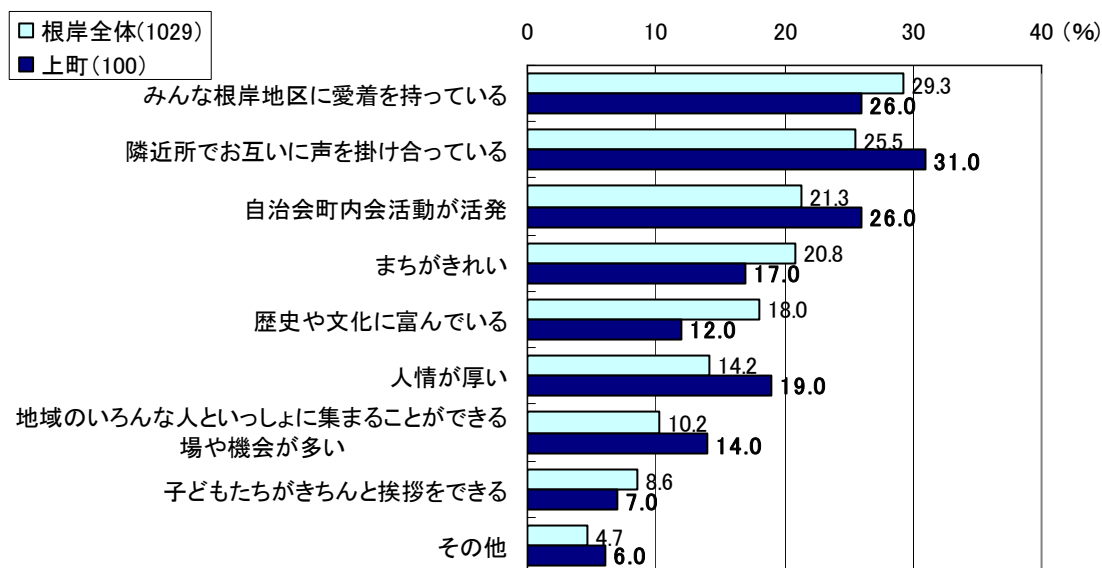
図表 3-9 地域活動の参加を進める条件（複数回答）





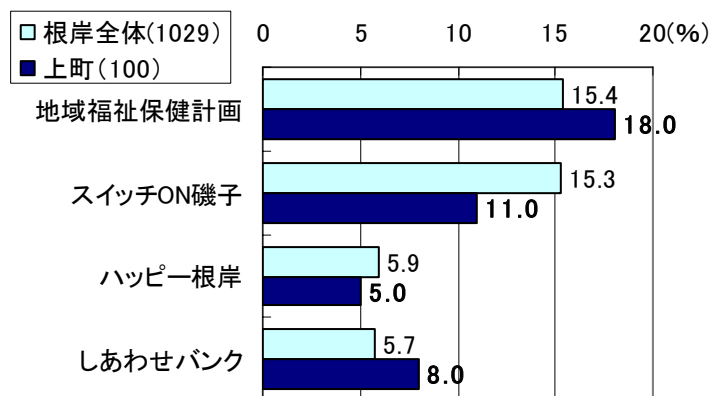
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-10 根岸地区で自慢できること（複数回答）

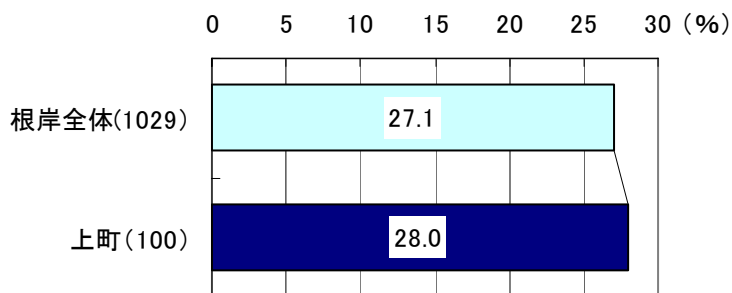


(7) 知っている言葉

図表 3-11 知っている言葉（複数回答）



図表 3-12 1つでも知っていると言った割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	地域での挨拶活動。
30歳代	R16沿いの歩道を広くしよう！
30歳代	挨拶を行う。
30歳代	アメリカのようにスクールバスを導入する。子どもが安全に学校に行けるように。
30歳代	学童保育などをやり、交流の場を増やす。
30歳代	交流の場をたくさんつくる。コミュニケーションが大事。
30歳代	子どもの(小中学生)の相談にのる電話や相談所の設置。
30歳代	サークル活動に参加。
30歳代	参加できるきっかけをつくる。
40歳代	非行等の防止として、町内会でのパトロール実施。
40歳代	母子家庭でフルパートにでているが、以前子供会の役員をした時に子供会に参加しない人がかなりいることに驚いた。町内のお祭りに出ないで、隣の町のお祭りに参加する人もいて、あきれてしまった。おかしくありませんか？
50歳代	元気に挨拶、時には叱る。
50歳代	犯罪防止、アイアイ運動徹底。
50歳代	昔のように他人の子どもにちゃんとマナーの悪さを注意する。
60歳代	学校で地域の大人と子どもがふれあえる機会を増やす。
60歳代	子育て中の親や子ども達の相談を電話でできるよう広める。高齢者の相談も電話でできたら、内容に応じて訪問もする。
60歳代	子どもの交流の場を設けること、地域センターへの子ども事業参加促進など。
60歳代	子ども子ども(孫)に目を配り近い存在でいれば自然と孫の友達にも関心を持つ。
60歳代	新旧住民の交流が必要。特に戸建てとマンション住民。
60歳代	近年マンションが多く建設されている。どれだけ他地区からの流入者が増え、コミュニケーションのとりづらい地域になろうとしている。集合住宅と戸建てとの相互のコミュニティがとれる「集合所」の設置を。
70歳以上	おばあちゃんと遊ぼう等、交流の機会が少ない。
70歳以上	交流がない。
70歳以上	子供会などを町内会でやっているようだ。
70歳以上	子ども達との交流の場づくり。子育て中の親御さんの相談にのる。
70歳以上	自治会活動は活発にして、子どもたちの活動を活発にして安全な街づくりを進めたいと思います。

2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

30歳代	予防についての講習会(一部の人ではなく万人向け)。
30歳代	歩道のがたがたを直す。インフラ整備をまずして欲しい。

30歳代	人間ドッグを受けやすくする。受けない人には補助金を支給したりする。健康診断だけでは発見できない病気も多くあると思うので。
30歳代	スポーツの日をつくる。
30歳代	スポーツなどで子ども達と交流する。
30歳代	散歩コースの整備。歩きやすい歩道の整備。景観の保全。散歩やサイクリングの会の設置。
30歳代	コミュニケーションの場。
30歳代	高齢者のサッカーチームや野球チームをつくり、近隣のチームと試合をする。
30歳代	R16沿いの歩道を広くすれば、散歩コースになる。
40歳代	月に1～2度のウォーキング(コミュニケーションになる)。
40歳代	公共のスポーツセンターをつくる。サークルをつくる(スポーツ別)。
40歳代	安全で健康的な食品の紹介、講演会などを開く。
50歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。
50歳代	わかりやすい病院マップ。大きな病院はわかっているけどすぐ行ける個人病院がなかなかわかりずらいため。
50歳代	バリアフリーコースを広げよう。
50歳代	散歩コースマップが欲しい。
60歳代	スポーツジムがあったら良い。
60歳代	散歩コースの整備。歩道のガードレールの整備。いつでも安全に安心して歩ける道路を。
60歳代	散歩及びサイクリングができる公園が多くあると良い(野球などのスポーツができるスペースを共存したもの)。
60歳代	車社会重視の道路。道路整備と共に歩行者にも「やさしい」歩道づくり。「散歩道」をつくる。
60歳代	磯子の行政でもいろいろ考えている。参加する勇気をだせば良い。
60歳代	家でもできるストレッチ体操の紹介、楽しんでできるスポーツへの参加呼びかけ運動促進。
60歳代	体力づくりのできる場所の提供。ウォーキングが手軽にできる「会」。
70歳以上	ラジオの体操の会などつくったら良い。
70歳以上	ラジオ体操をやってみたい(時間帯が問題、利用は公園で)。
70歳以上	散歩コース、区役所掲示板で知らせて欲しい。
70歳以上	現在のままでよいと思います。
70歳以上	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。ラジオ体操の会をつくる。(他に同意見1名)

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

30歳代	声かけや挨拶を心がける。気楽に集まれるお茶飲み会ができればよい。
30歳代	ハイキング。皆で一つの目的を持ったら助け合いの精神が生まれそう。
30歳代	町内会の行事に積極的に参加。
30歳代	地道に声かけ(地域活動への参加を実際に声をかける)。

30歳代	コミュニケーションの場。
30歳代	R16沿いの歩道を広くすれば、挨拶もしやすくなる。
40歳代	何でも相談室などの場を設ける。
40歳代	サークルをつくる(茶会など)。
40歳代	思いやりの気持ち。
50歳代	老人会以外で夕食会、昼食会を町内会館で開く。有料で弁当500円か600円くらいで。
50歳代	日本の四季ごとにある行事(もちつき等)の実行。
50歳代	地域の特徴をつくろう。人と人とのつながりは難しい。まずは個人で行動し、家の周りからきれいにする。家の周りも進んで美しくして、庭には花を植えて町の特徴をだし、まち全体を美しくする。
50歳代	いつも挨拶できる。
60歳代	連絡網の充実。
60歳代	知り合いになれるきっかけとなる行事があれば良い。
60歳代	事業参加、この中での交流促進、地域事業を積極的に。
60歳代	声かけと挨拶はもっともっと重要。
60歳代	おはようございます、こんにちは、の挨拶から。
70歳以上	声かけ、挨拶は私も実行しております。
70歳以上	月3回、お茶飲み会を開いているが、高齢者には大変楽しみ。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。気軽に集まれるお茶飲み会を開く。
70歳以上	顔見知りでないかぎり挨拶はしない人が多い。田舎の子ども達は知らない人でもキチッと挨拶できている。
70歳以上	おはよう、こんにちは、こんばんはと挨拶をしましょう。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくろう

30歳代	友達の「輪」を広げる。
30歳代	だれでも守れるようなルールを決める、守れない人への罰を。
30歳代	縦割り行政のパンフレットではなく、マナーについての総合的なパンフレットの作成。
30歳代	大規模のゴミ拾い。
30歳代	シンガポールのようにゴミを捨てたら罰金をたくさんとる。たばこのポイ捨て1万円とか粗大ゴミなら100万円。
30歳代	ゴミを捨てない、汚さない。
30歳代	カラスや鳩にえさをやらないで欲しい。
30歳代	R16沿いの歩道を広くすれば、気持ちのよい街になる。
40歳代	ポスター、掲示板などで町の美化運動をアピールする。
40歳代	歩行たばこをなくす。電車、バスでゴミ等捨てない。
50歳代	ルール、マナーをしっかり守ろう。
50歳代	猫の放し飼いと犬の散歩での糞尿をさせない。
50歳代	道路をきれいにする定期的な会の実施。
50歳代	ゴミ、たばこのポイ捨てを注意する。

50歳代	喫煙所をつくって欲しい。トイレをつくって欲しい。自転車などの交通安全。
60歳代	町の清掃をグループに分けて実施案
60歳代	特に堀割川沿岸に散歩道をつくる。雑草取り、街路樹の整理、廃船の整備等、河川と住民の接近策を実施して欲しい。
60歳代	地域のさわやか清掃。バス停の清掃。
60歳代	知り合いが多くなれば、地域をきれいに保とうとする意識も高まる。
60歳代	自転車はもっとルールを守る活動をする。
60歳代	自転車の放置が目につく。監視員を配置しているが、いっこうに整理整頓がなされない。自転車使用者のマナーを徹底的に行う。
60歳代	自転車の乗り方。
60歳代	ゴミ出しのマナーの徹底(時間、掃除など)。犬の散歩のマナー(公共道路、よその家の迷惑になることはしない)。
60歳代	ゴミ、清掃などの活動を通して。
60歳代	犬の糞のマナーが大変悪い。
70歳以上	地域での約束事をつくる。花いっぱい運動。
70歳以上	地域、町内の約束事は皆で守っていきましょう。
70歳以上	少し裏道を通ると花を植えている家が多くてあまり気になりません。
70歳以上	上町にはおしゃべり会が月3回ありますので私たち高齢者は本当に助かります。やってくださいる人はたいへんと思います。感謝しております。
70歳以上	犬の散歩や猫の放し飼いによる糞尿の不始末に罰則がないのなら罰則を定めてほしい。猫にも首輪をつけることを義務づけて欲しい。
70歳以上	家の前でたばこのすいながら毎日4、5本あって気分が悪い。市全体でポイ捨て運動を徹底して欲しい。

### 根岸地区にあったらいいなと思う取組

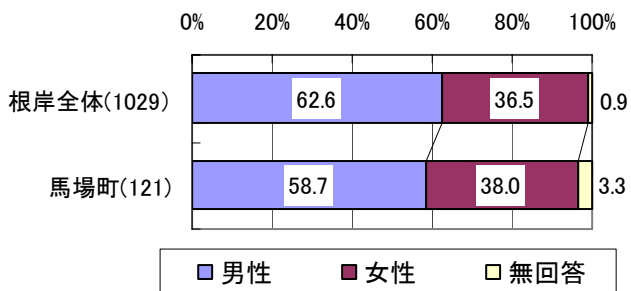
30歳代	小さな子どものいる母親が通えるスポーツジム(ヨガ、エアロなど)が欲しい。施設内には託児所があり、クラスの時間だけでもみてもらえないか。母親同士の情報交換の場になり、短時間でも子育てから開放されリフレッシュができると思う。
30歳代	自己中心的な方が多い世の中で、自分さえよければ良いという人が多い。もっと昭和時代のように隣近所との交流がとれるような環境があると良い。磯子区役所の職員は態度が悪い。もっと企業を見習え！だから税金ドロボーと言われ。もっと努力しろ！
30歳代	今後の方向性(開発や福祉等)の説明会。HPのアップ。パンフレットの作成。
30歳代	高齢者、子ども、女性、弱者が安心して暮らせる町こそ理想だと思う。高齢者には福祉を、子どもと女性には安全を、一通りの少ない道にはもっと街灯を。高齢者や障害者のために無料マイクロバスがあったら、便利だと思う。
30歳代	カッ飛ばすためのR16は必要ない！R16沿いの歩道を広くして欲しい！！
30歳代	駅の再開発(商業施設、駐輪場の整備)。
30歳代	歩け歩けみたいなハイクとパトロール。
30歳代	歩きたばこをやめさせる。きちんと場所をつくる。

40歳代	コミュニケーションの場を多く設ける。
50歳代	根岸地区の歴史散策(散歩)。住人のみ交流のため。
50歳代	寒い時期、暖をとれる地域センターや町内会館になってもらいたい。昔の青少年会館のような。
50歳代	健康づくりのためには環境問題が大切。根岸地区にはまだまだ事業者に緩急整備において不備な点があり、もっと改善に取り組む必要がある。
50歳代	カラス退治。暴走族対策。私道への路上駐車。
60歳代	老人と児童との交わりの場があったら、もっと老人が元気になると思います。
60歳代	堀割川は日本一短い川なのだから、行政にやる気があれば、すぐできるのではないかと。きれいにすると、車もゆっくり安全に運転する。
60歳代	地域であたたかい交流の場をいっぱいつくって欲しい。高齢者が増えてくるので福祉がちゃんとしていけば安心できる。例えば80歳を過ぎた人たちを把握して時々気にしてあげる。
60歳代	地域住民の交流が必要なのではないかと。少子化はさけられず高齢化社会、日常の交流を通し互いに助け合う地域社会を育てていかなければならないと思われる。
60歳代	地域活動で声かけやきっかけづくり。地域活動で透明性と情報開示。
60歳代	粗大ゴミがもう少し手軽に処分できないか。
60歳代	人口増で活気のある町になりつつあるが、その分、人の心はさばさばしてきている。身の回りの人とつきあい方が、どうあるべきか自分たちで考えなければならないはずなのに、「人まかせ」になっている部分が多く見られる。
60歳代	趣味別のサークルの発足(現在ないものを主体)、釣り、ウォーキング、ペット、料理、ゴルフ、等々。
60歳代	高層住宅を規制せよ。すでに根岸地区は歩いていても空が見えない。駅前のライオンズマンションは圧迫感を感じる。
60歳代	健康祭りのような根岸地区全町内が一堂に会して、子どもから高齢者まで参加できる催し。例、根岸地区の日、バザーなど。商売人に頼らず、各町内ごとにアイデア商品、食べ物などを出品する。
60歳代	車いすで道路に出ると、道の段差や電柱、路上駐車で道が狭かったりして大変困りません。歩道より車の方が動きやすい。
70歳以上	バス停に屋根や椅子がない所が多いので、年老いているので長時間待っているのがつらいです。
70歳以上	日本人であることを理解させる。地区センターがあるのだから料理、教室、体育場、の利用を促進させる。外国人の介護士看護師の受け入れ、移住を増やし人口減少を防ぐ。
70歳以上	たばこを吸いながら歩き、川に捨てる人がいる。ゴミを草のしげみに捨てる等々。個人の意識が足りない。人は人、という感じが見られる。
70歳以上	4項目について、高齢者や子どもたちが安心して住める町づくりには、各団体が横の連絡を密にして、地域が必要としている事項は何かを考え、小さなことから始めたらいいか。私たち高齢者は何もお手伝いできないが、この団体の中に子どもたちのために学校、PTA各代表が加わっていくことが良いと思う。

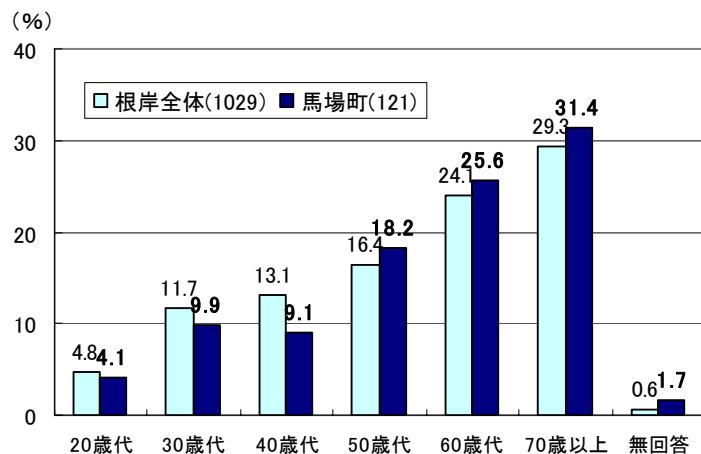
## 2. 馬場町

### (1) 回答者の属性

図表 3-13 男女構成

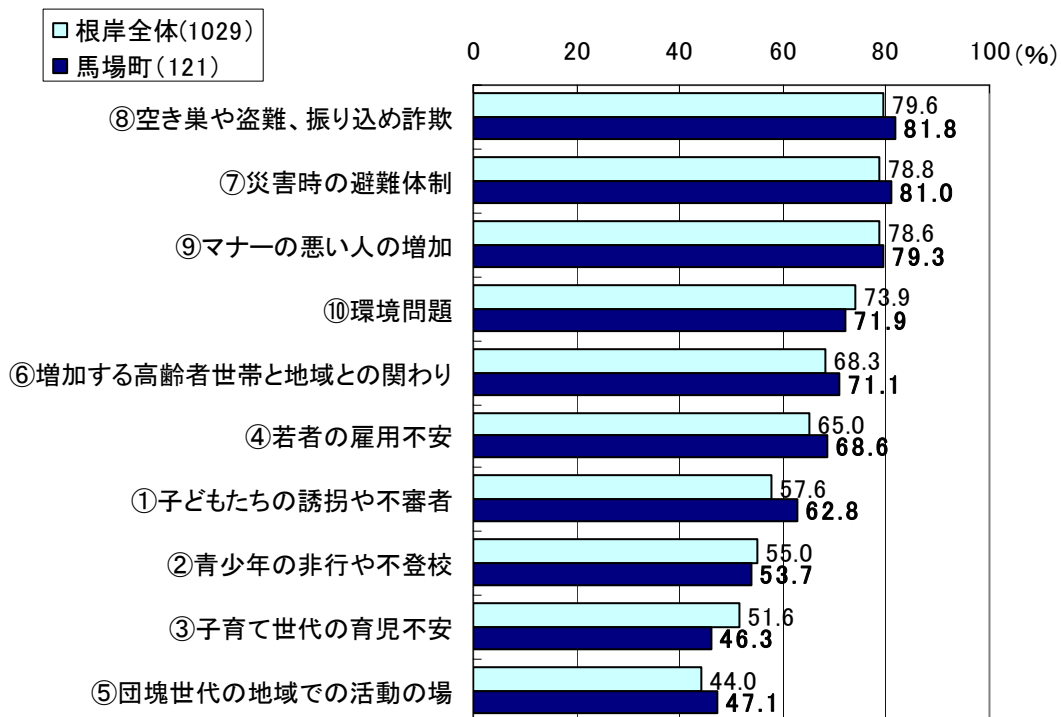


図表 3-14 年代構成



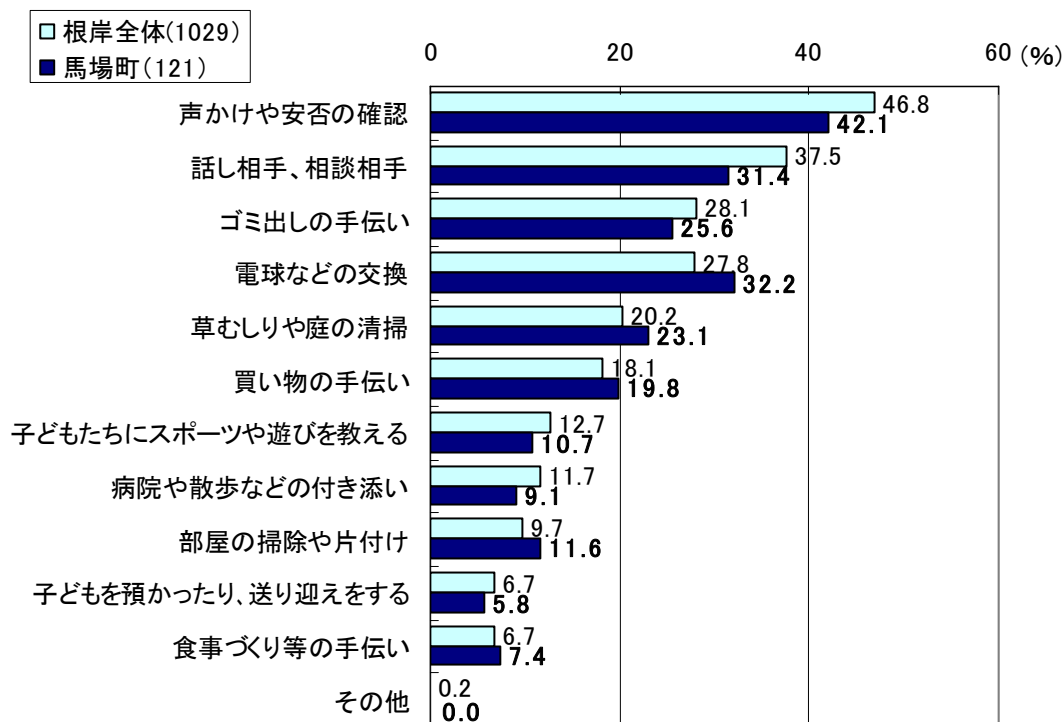
### (2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

図表 3-15 地域で最近気になること (複数回答)



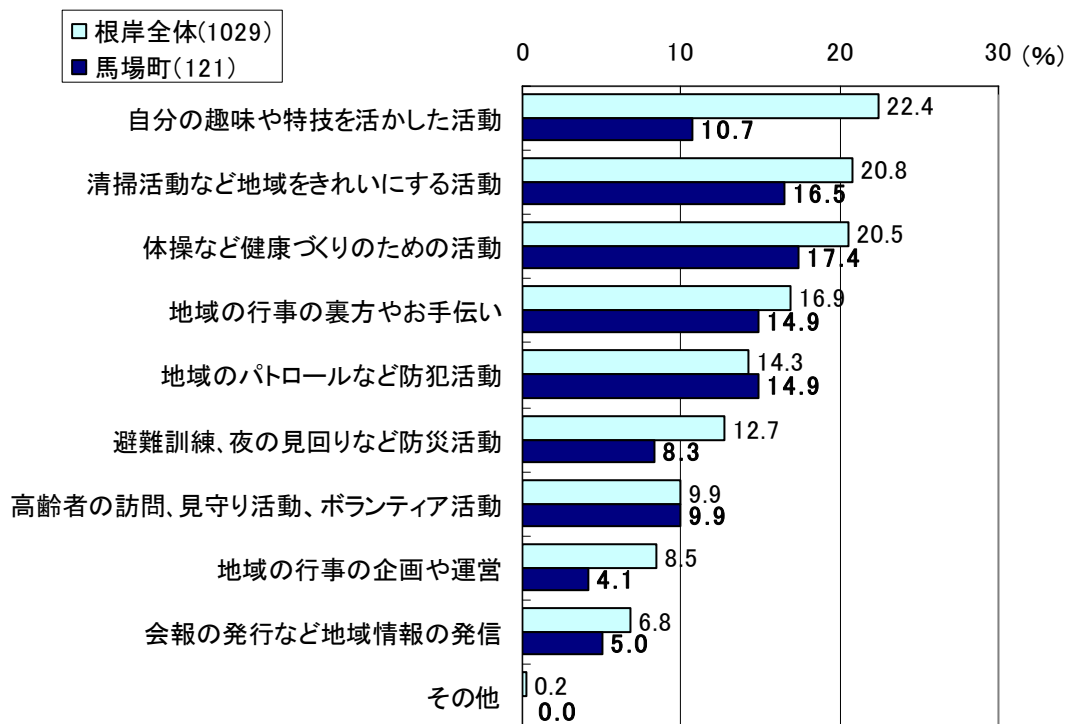
(3) 地域で協力できること

図表 3-16 地域で協力できること（複数回答）



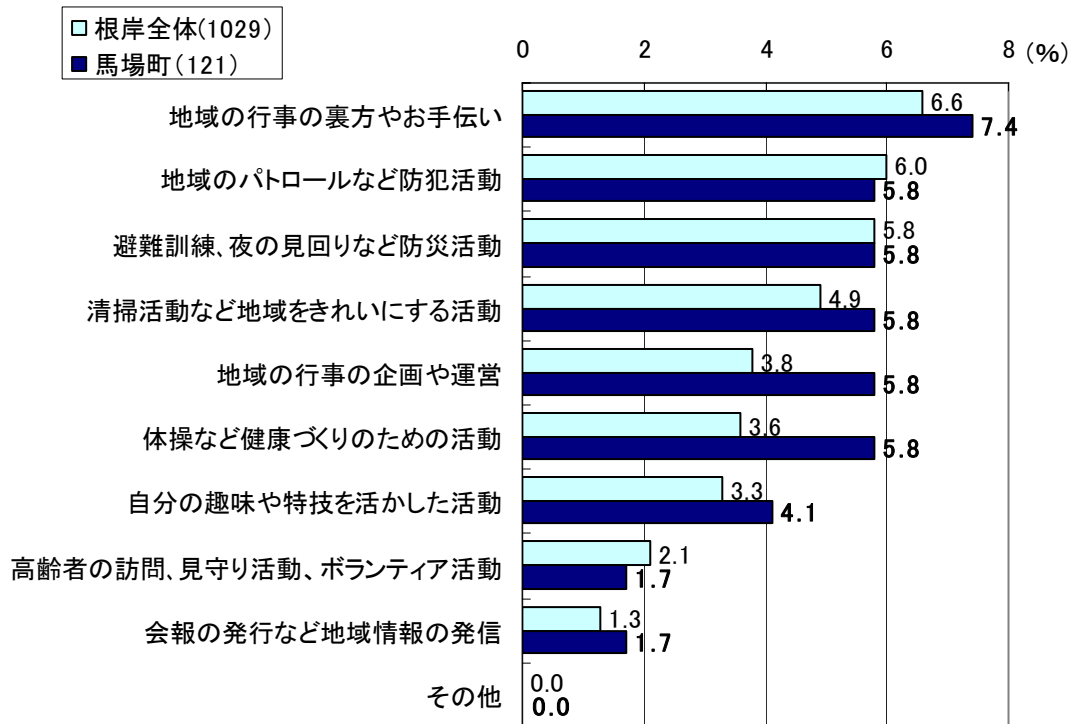
(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-17 参加してみたい地域活動（複数回答）



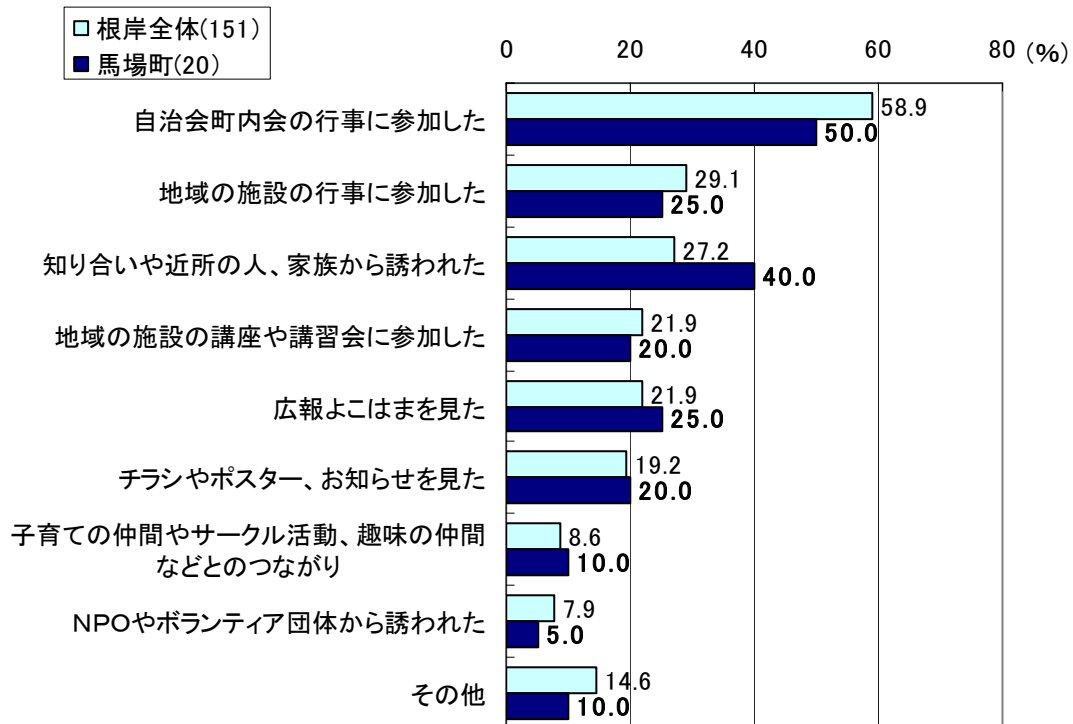


図表 3-18 すでに参加している地域活動（複数回答）



(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-19 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）

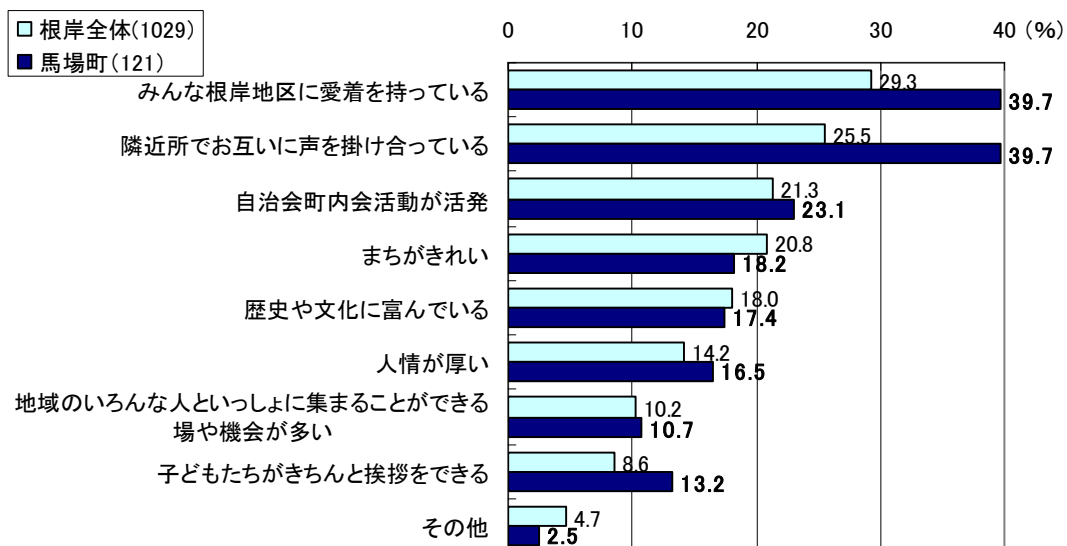


図表 3-20 地域活動の参加を進める条件（複数回答）



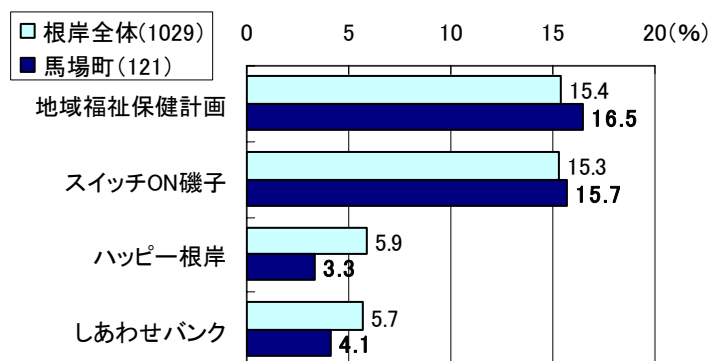
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-21 根岸地区で自慢できること（複数回答）

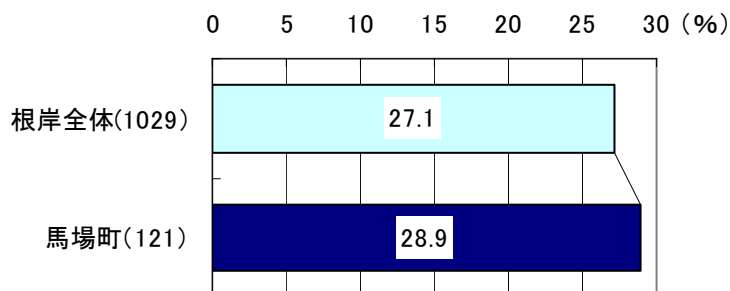


(7) 知っている言葉

図表 3-22 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-23 1つでも知っている」と回答した割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

30歳代	リタイヤした方々が子ども達と交流できる場を考える。登校時のパトロールの更なる強化、声かけ、etc。保育園等での子守の補助、ベビーシッター的な発想で。
30歳代	子ども達の安全を考えたい。
30歳代	子どもたちがのびのびと安心して遊べる場所をつくる。
30歳代	街灯をもっと明るくそして増やす。
30歳代	親子サークル開催、携帯電話などによるGPSを気軽に利用できる基盤の整備。
30歳代	安全な街にするためパトロールなどの強化。
30歳代	挨拶をきちんとする。
40歳代	普段歩いている時でも防犯パトロールの腕章をつけて歩く。
40歳代	交流も大切ですが、地域の方が口、手を出すことじゃなく、見守ってくれることを子ども達も気がついていると思います。登下校に外で見るだけで安心感はあると思います。
40歳代	学校の登校ルートを知り、通勤時などなるべくそのルートを使うようにする。
50歳代	まずは保育園を増やす。
50歳代	根岸小学校など、学校が中心になって、行政と協働で地域の人々との交流を持つ場を

	設ければいいと考えます。
50歳代	小さい子供が今いないので実感がない。
50歳代	子供の教育も重要だが、若い夫婦のマナーの向上のための運動も必要。
50歳代	子供のいる親との交流の場づくり。
50歳代	子供たちとの交流の場を設ける。
50歳代	交流の場をもっと多くつくってお互いが顔なじみになれるような企画を考える。
60歳代	夕方から夜にかけて公園等にいる子ども達(学生も含む)に声かけをしているし、これからもしていきたいと思う。
60歳代	スポーツリレーションを通じ子供と接する機会づくり。
60歳代	子供の登下校の見守りくらいはできる。
60歳代	基本的な常識は家庭で。
70歳以上	2年前より体調不良のため活動できません。
70歳以上	地域との交際、助け合いも途切れて行くばかり、ゴミの処理が最後のてがかりではないか。
70歳以上	近所の人との情報が少ない。
70歳以上	今、孫が4人います。上は高校1年、下は5歳が2人、1歳が1人です。子ども達に昔の事や、病気になる時の相談等に気を使っています。まだ地域の子ども達まで手が届かないのが現状です。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

30歳代	歩道の幅を広げる。
30歳代	歩行者、自転車、バイクが安全に通行できるような工夫。ルール徹底。
30歳代	気軽に参加できるスポーツ教室を作る、機会を作る、場所を作る。
40歳代	歩道のちょっとした傾斜も気になることがあります。ベビーカーを押すときも片側が下がっているとつらいものです。経験者しかわからないことです。
40歳代	生活習慣病予防の講演。
40歳代	散歩しやすい道路、そして少しでも途中休憩をとれるような場所(清潔な)を確保されると良い。
40歳代	車の通らない歩きやすい道に街灯を多くし、仕事を持った人が夜でもウォーキングができる環境をつくる。
50歳代	ラジオ体操時間が決められていれば参加しやすい。
50歳代	堀割川に遊歩道を。
50歳代	太極拳/気功の場を設ける。
50歳代	心も身体も健康なるゲーム大会の実施。テレビゲームではありません。身体を使ったゲーム大会です。
50歳代	健康を守るのは個人の責任で行うべきだと考えます。もし、そこに行政が関わるなら、誰もが簡単に受けられるよう、健康診断に今以上の助成をすべきです。
60歳代	散歩コースのマップ、ラジオ体操の会をつくる、は是非やって欲しいです。
60歳代	ラジオ体操の会をつくることに賛成。

60歳代	散歩コースをつくってもらいたい。
60歳代	散歩コースのマップは欲しいです。
60歳代	個々の趣味や楽しみを大切に、自分の生活を大切にする。
60歳代	気軽に外出して散歩したい。遠くまで足をのばせる、草花、植木の鑑賞もしたいと思う気持ちを持ちたい。
60歳代	歩きやすい地域の整備(堀割川遊歩道をつくる)。
70歳以上	歩道を歩いていると自転車が後から来ても、今の自転車は性能がよいので音がしません。ぶつかりそうになることが多々あります。散歩を今でもしたいと思いますが、すごくこわい事があります。
70歳以上	病院の得意分野等を相談できる機関が欲しい(病院を選ぶための)。
70歳以上	根岸駅から坂下、下町にかけての歩道の整備。道に高低があり歩きにくい。歩道に乗り入れて危険。
70歳以上	天気の良い早朝の根岸馬場公園グランドの軽いランニング。
70歳以上	散歩コースで森林公園への道で坂下より上る、通称106段の階段が老朽化して歩きにくいので整備して欲しい。
70歳以上	高齢者が元気で病院通いしないために、気軽に行くことができる体操クラブが多く欲しい。
70歳以上	良い点に気がついて頂いた。近頃歩道の荒れ方はひどく車のための歩道になっている。私は、馬場町について言えば駅からの道は一方通行の車道にすれば良い。
70歳以上	歩きやすい散歩コースがあると良い。(他に同意見1名)

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

20歳代	学校など地域で集まれる場での催し物(お茶飲み、豚汁などの食べ物)。
30歳代	他人に関心を持つようにする。高齢者だけでなく子どもへの取り組みを増やす。
30歳代	気持ちの良い挨拶をお互いできるようなまちづくり。
30歳代	挨拶。所々に休憩用ベンチを設ける。
40歳代	隣近所の挨拶から始まる。
40歳代	初老期の年代が閉じこもりになりがちなので(ディサービスなど行くほどではないと思ひこむ人)そういう方が地域社会とつながりを持てる居場所をつくれれば良いと思う。またボランティアなどの参加募集があまりみられず、広報や町内会の掲示板など、誰でも見やすい所に募集をかけても良いのではないかと？知人でも参加したいか「どうして良いかわからない」と言っているのを聞いたことがある。
40歳代	アパート、マンションが多くなるに比例し、つながりがなくなると思います。私の周りにはお醤油の貸し借りができる位、雨がふってきて洗濯物が出ていると声をかけるくらいにつながりがあって、助かっています。
50歳代	個人情報の問題もあるので、無理なこともあるのかもしれませんが、一人暮らしの人が近所にいれば近所の人達が注意(気に掛ける)しあっていけるシステムがあればいいのかなと思います。
50歳代	声かけ挨拶は心がけている。

50歳代	イベント(交流の場)を設ける。
50歳代	家から出られない独居老人を地域、行政でどう支えていくのか真剣に考え、システムを構築していくべきだと考えます。
50歳代	挨拶運動。一言二言の「声かけ」運動。
60歳代	一人で町をぶらついていると、異様なまなざしで見られることがある人も少なくないはず。例えば地区あるいは区などのリボンのようなもの、バッチのようなものでもあればお互い安心して暮らせる町になるはず。
60歳代	お茶のみ会。
60歳代	安心して集まれる場所は欲しい。
70歳以上	他人でも声を掛け合って挨拶をする。バス停なども。
70歳以上	声かけ挨拶は大事。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくろう

30歳代	まち全体が清潔でステキなまち並みを保っていければ、それをあえて汚す事はなかなかできないものです。人それぞれのマナーはすぐには変えられないけれど、社会環境さえ整っていれば、マナーを守らない人の数は徐々に減っていくと思います。
30歳代	他人に関心を持つようにする。
30歳代	自宅周辺の掃除。
30歳代	ゴミの収集場所をもっと集約してカメラ等をつけ不法投棄をなくす。
30歳代	幼い子どもがおり、親族は遠方に住んでおり、いざという時(自分が病院にかかりたい時など)子どもを預けられる場所がありません。以前住んでいた街では保育所で一時預かりをしてくれていました。そのような場所があると非常に助かります。是非ご検討してください。
40歳代	ポイ捨てをさせない、町づくり。
40歳代	ペットを飼う場合、ペットショップや公民館で飼い主マナーの勉強会を開催し参加してもらおう。
40歳代	不法投棄で困っています。ゴミも車も自転車に乗っている途中で、自宅外の捨て場においていくのは考えて欲しい。場所の確保もありますが、カラスにも邪魔されないBOX型や昔ながらのバケツのようなものが復活しても悪くないのでは。
50歳代	町全体が殺風景なので花いっぱい運動に力を入れて欲しい。
50歳代	ポイ捨て、ゴミ出しルールといった環境美化を推進するため、ホームページを作成し挨拶状況を知らせる。または回覧板で。
50歳代	バス停周辺、メイン道路等に吸い殻とか、ゴミが目立ったり、ゴミの出し方が守れていない所などは周辺の人達、早めに対応していく。
50歳代	たばこのポイ捨てを防止、ゴミのポイ捨て防止。
50歳代	たとえ公道であろうと何でもかんでも行政に押しつけないで、自分の家の前は自分で掃除をするような風潮になるよう行政が声を大きくして住民に伝えるべきと考えます。
50歳代	ゴミ捨て日など気がつけばそうじをする。
50歳代	各家庭で緑を育てる。

60歳代	先ずゴミ出しのルールの徹底化。
60歳代	自分の住んでいる町の環境は良くする意識を持たせる運動推進。
60歳代	ゴミ出しのマナーが凄く悪く、一部の人だと思いますが。
60歳代	犬を飼っている人のマナーの徹底、町を汚す第一原因。
60歳代	犬のフンが落ちていることがある。散歩させる際、必ずビニール袋などフンを処理するものを持ってでかける約束習慣をつけさせるアピールが必要。
60歳代	愛犬家の皆様へ歩道を汚さない糞の持ち帰り、及び糞が落ちる前に新聞紙等でカバーすることの徹底運動。
70歳以上	ポイ捨てはやめる。
70歳以上	ゴミを捨てない。犬や猫フン等が特に多いと思いますので飼い主はその点気をつけていただきたいと思います。
70歳以上	犬を散歩させる人のマナーと喫煙する人のマナーが悪い。糞をとらず放置したり、たばこのポイ捨てをする人が非常に多い。

### 根岸地区にあったらいいなと思う取組

20歳代	気軽に入れる飲食店がもっとあったらいいなと思う。
30歳代	緑化への取り組み。堀割川、道路沿いを中心に。
30歳代	幼稚園の充実を図る。住宅地を増やし、住みよい町づくりをする。
30歳代	根岸地区には古くから住んでいるいるお年寄りが多いという印象をもったので、声かけは必要だと思いますが、実際、なかなかできることではない。
30歳代	ゴミ捨てマナーの悪さにガッカリする(特に老人と一人暮らしの若者)。ゴミ捨てマナー向上取り組み。
40歳代	ペットボトルのフタを集めてワクチン等の購入をしている。NPOの支援として公共施設の場にフタの回収場を設置するのはどうか？
40歳代	障害者の地域活動。
40歳代	子どもへの教育。
40歳代	一戸建てばかりの地域に居住していますが、外灯の電球がきれて暗闇の場所が数ヶ所あります。どなたに依頼したらよろしいのでしょうか。東都観光の旧車庫地が広く暗いので、犯罪に使用されないかと危惧しております。
50歳代	堀割川に桜並木の復活。
50歳代	中年齢の活動の場、高齢者は地域に密着だが40～50歳の方の活動が少ないように思う。
50歳代	誰でも心配なく子育てのできる環境、保育園を増やす。高齢者が生活の心配なく生活できる福祉の実現。横浜市との連携強化、スローガンでなく形で示す。
50歳代	災害が起きたとき地域の老人をどう非難させるのが、最小限に被害をとどめるために必要なのか、行政と地域の団体が検討すべきと考えます。区役所内の若手でプロジェクトチームを立ち上げてみたらいかがでしょうか。
50歳代	行事を行った場合、その中心となる方は大変かと思いますが、地域で行う行事が多くあるとお互いの顔も覚えていられ、地域の人達と触れ合いやすくなると思います。参

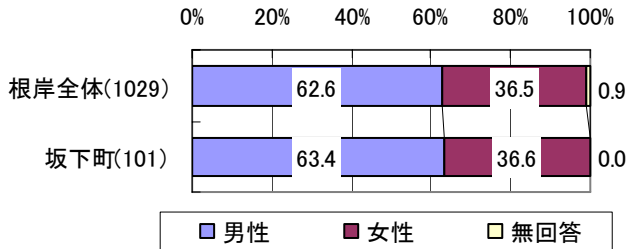
	加したくなるような地域行事があるといいなと思います。
50歳代	音楽祭や合唱祭。
50歳代	〈市に対する要望〉道路が暗い場所が多い。街灯をもっと増やして欲しい。
60歳代	住んでいるだけで地区になんの繋がりもないとつくづく感じました。すこしばかりかなしいことですね。
60歳代	スイッチON磯子。例)で答えは出来ている。その組織をつくり続けることはなかなか困難ではないか?協力参加してみたい気はある。
60歳代	先の事を考えると気が変になるから今日、今、を大切に、と考えています。16年の介護生活、今は老々介護先は見えません。介護が終わる時、自分たちも終わるような感じですよ。
60歳代	気軽に人が集まれる場所があるようでないので、利用しにくい。たとえば根岸集会所などは利用しにくいので考えて欲しいです。
60歳代	各老人会と子ども達との交流の場をつくる。
60歳代	回覧板が回るグループで年に1回バーベキュー大会をしています。普段会えない方や子どもさん達にも会え、皆さん楽しみにしています。いろいろ行事を計画していただければ時間の許す限り参加したいしお手伝いもさせていただきます。
70歳以上	犬を散歩させる人と喫煙する人の教育をする取り組みをしたら街は清潔になる。
70歳以上	老人ホーム。
70歳以上	文学講座(誰でもわかるような)。
70歳以上	早く米軍施設が解除されて、同山地帯に散歩コースができればいいな。また、それに伴い、森林公園コースも、天神橋、根岸橋等からの登山口ができる事を願う。
70歳以上	認知症になった人をどのように手助けすることができるか。それに対する話しやつきあい方。



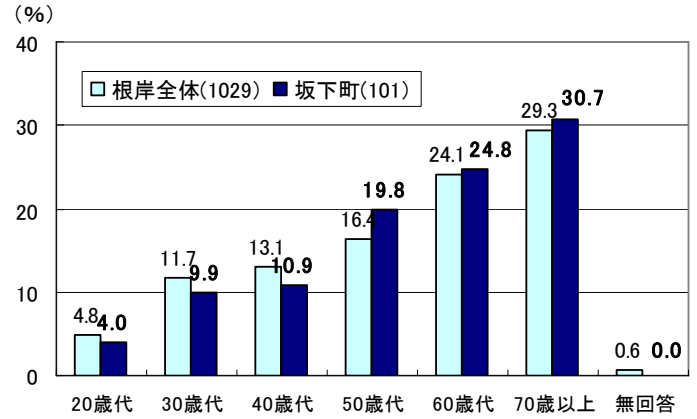
### 3. 坂下町

#### (1) 回答者の属性

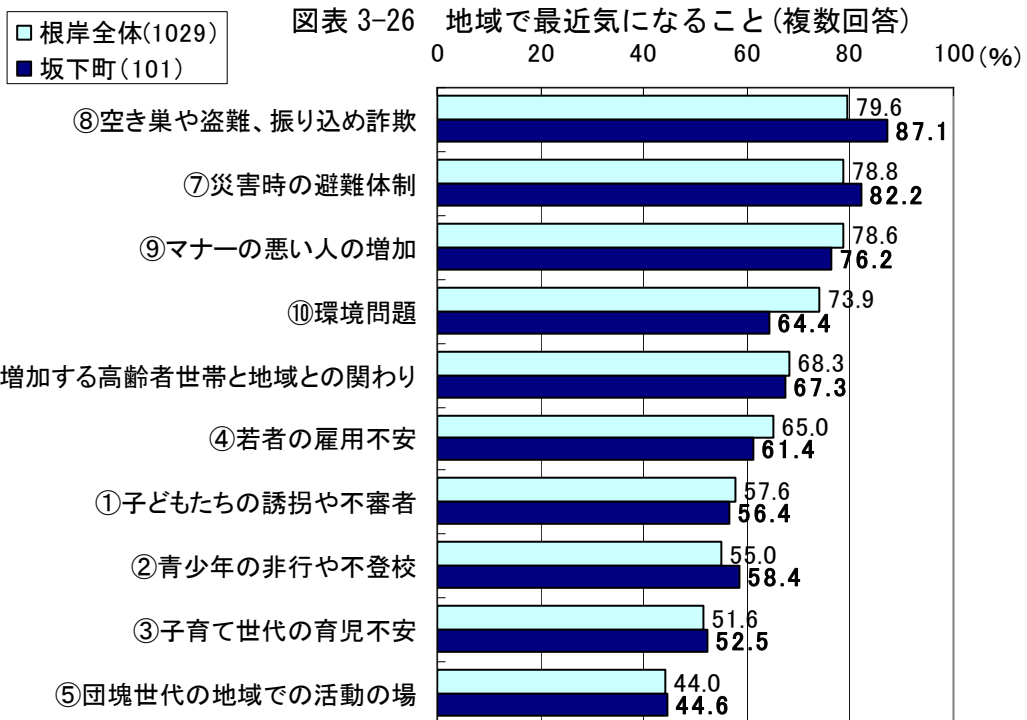
図表 3-24 男女構成



図表 3-25 年代構成

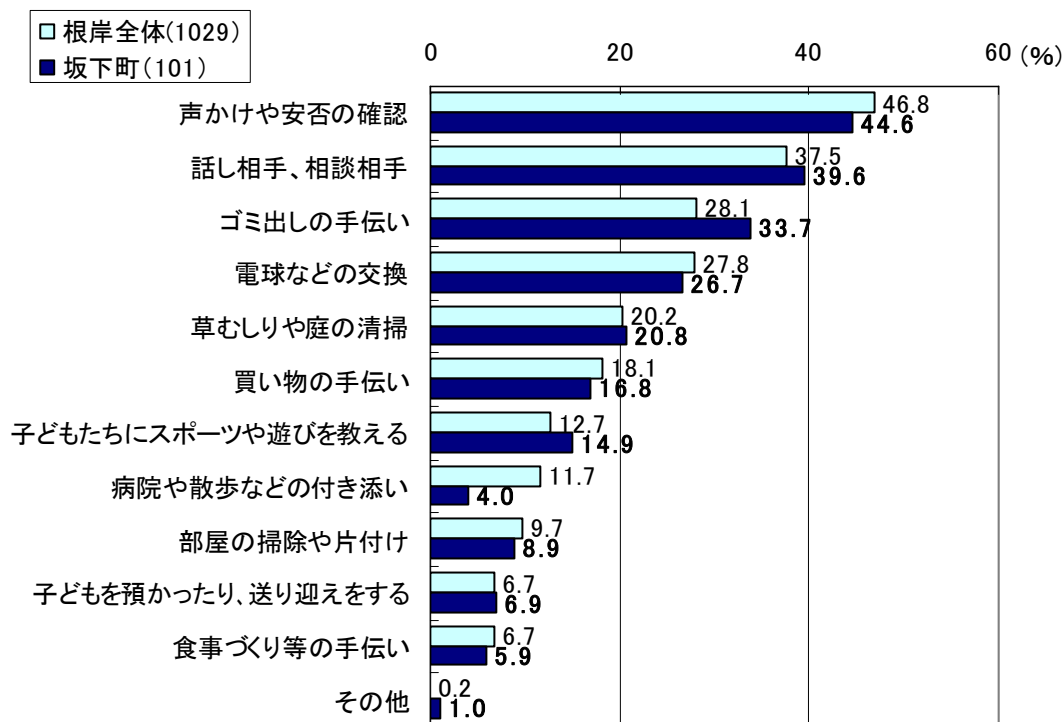


#### (2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)



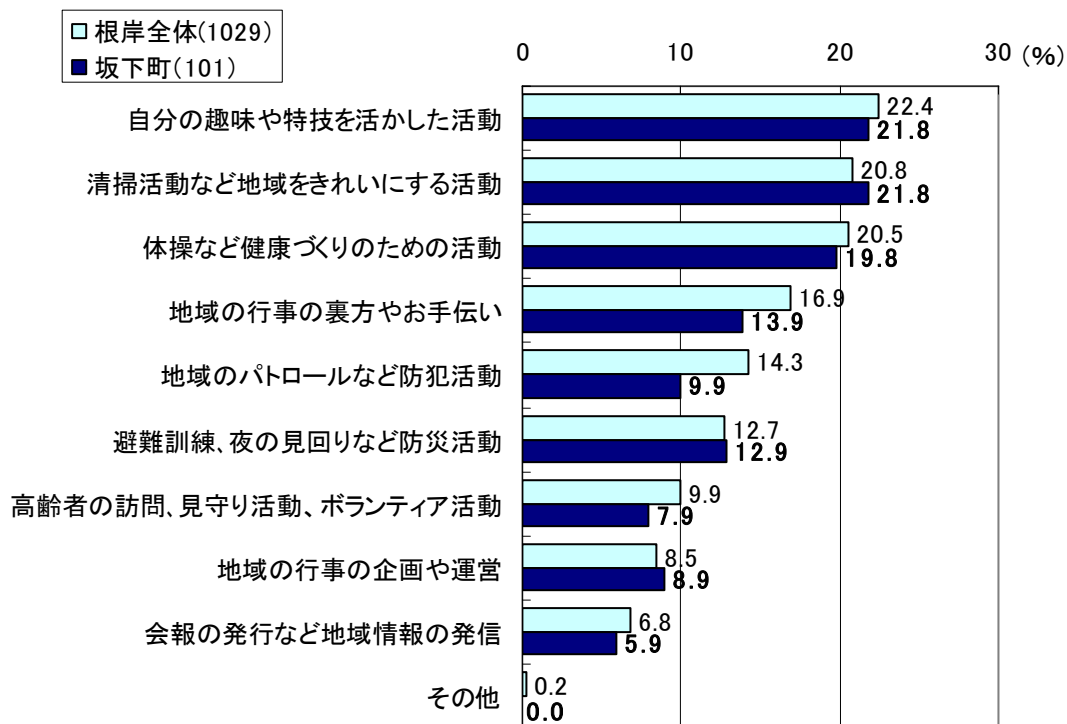
(3) 地域で協力できること

図表 3-27 地域で協力できること（複数回答）

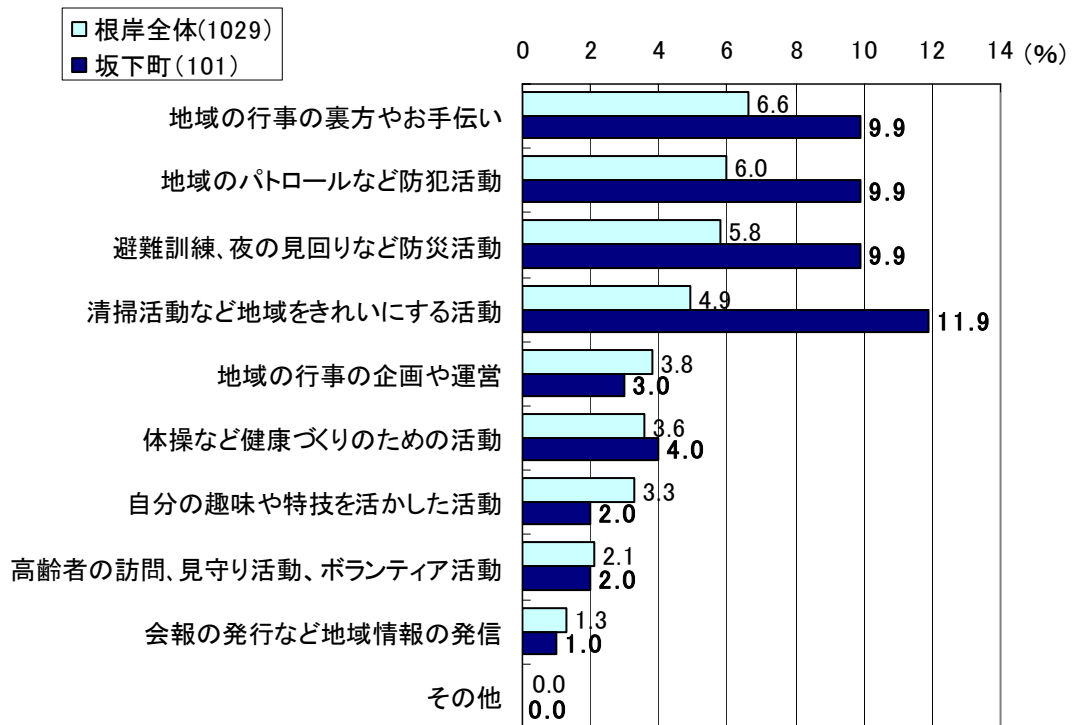


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-28 参加してみたい地域活動（複数回答）

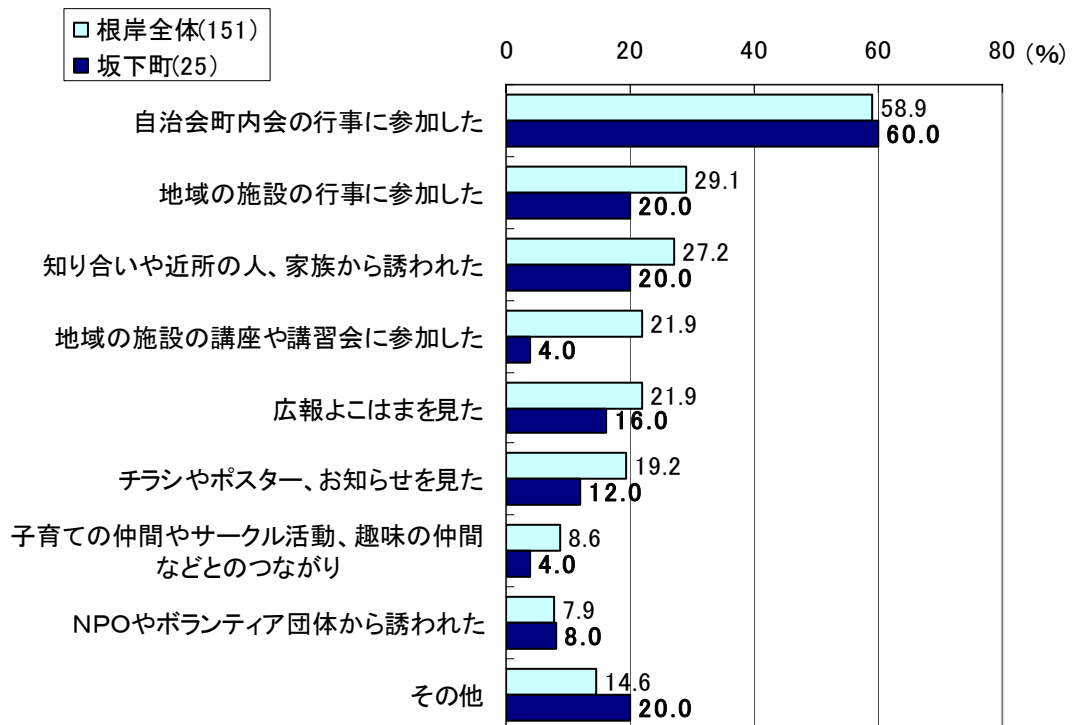


図表 3-29 すでに参加している地域活動（複数回答）



(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-30 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）

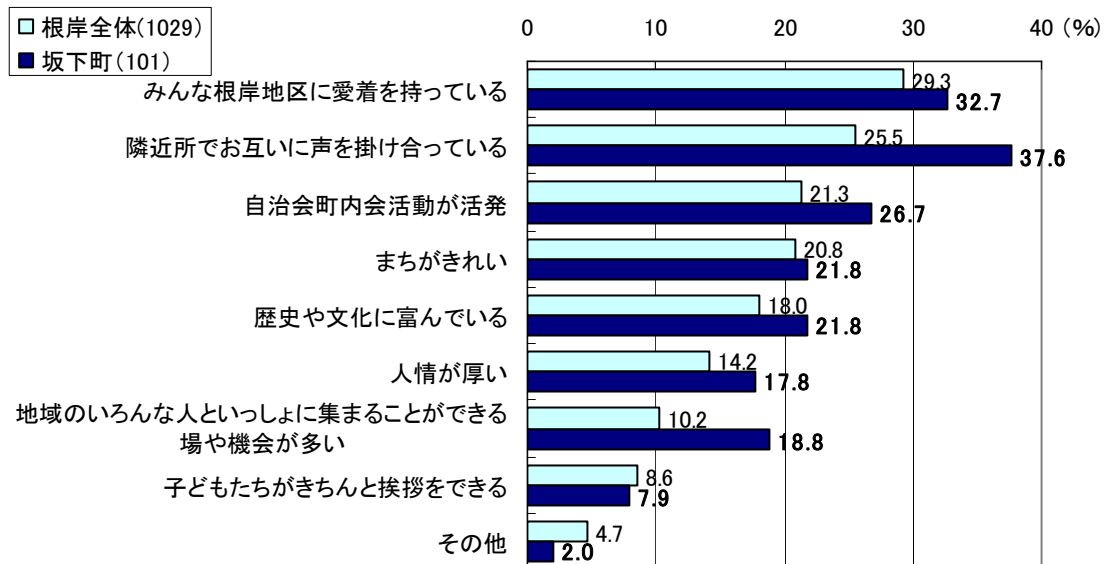


図表 3-31 地域活動の参加を進める条件（複数回答）



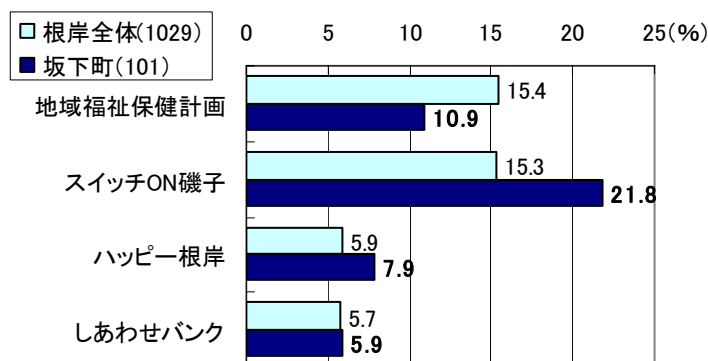
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-32 根岸地区で自慢できること（複数回答）

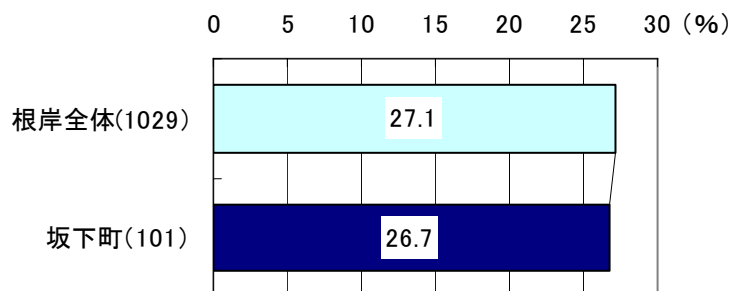


(7) 知っている言葉

図表 3-33 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-34 1つでも知っていると言った割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	ピアノを教える。バスケットボールを教える。歌を歌う。土日休みでない親御にかわって面倒をみる。同伴して遠出。
30歳代	子ども達との交流の場や機会を増やす。親御さんの相談にのる。
30歳代	仕事と育児の両立ができるようなバックアップ体制の確立。
30歳代	子供会をつくり、小学生や未就学児のイベントをする。クリスマス会などで、歌を歌ったり、プレゼント300円くらいで持ちより交換する。地区センターも活用し、子供会に無料で場所を提供する。
30歳代	学校を中心として地域の交流を行う。
30歳代	親の過保護をなくす
30歳代	育児中親子が地域で集まれる場があると良い。
40歳代	子どもの安全を守る。交通ルールの規制。
40歳代	安全な遊び場をつくる(屋内、屋外ともに)。
40歳代	安心な公園づくり。

50歳代	働く親御さんが多いので子ども達の通園・登校に協力してあげる。
50歳代	他人の子どもでも声をかけ注意、合同で作業ができる場などを設ける。
50歳代	子供を持つ親をしっかりと指導し、しつけ等のモラルを守る。
50歳代	子ども達をしっかりと見守る必要はあるが交流の場づくり等のしかけづくりは必要ないと思う。子ども達が自分で考え行動していくことが重要。
60歳代	両親が働いている子どもは昼間どこで行動しているのか、親はわかっていない。非常にあまい。たばこを吸っている子どもが多い。不良の集団がある。
60歳代	夜に遊んでいる子ども達に声をかける
60歳代	登下校時の防犯の努める。夜間の外出をさせない。公園等で母親が喫煙しながら子どもを遊ばせているが、言語道断。
60歳代	集団登校時、二列縦隊登校のマナーを付き添いの父母が教える。他の人の通行を妨害しないように。
60歳代	子どもは基本的に変わっていない。変わった大人が育てるから子どもが変わってしまう。
60歳代	子ども達との交流の場、親御さんの相談にのる。
70歳以上	防犯上の問題もあるが、子どもと大人の交流が少なくなっている。気軽に子どもに声をかけることにためらいを感じる社会になっている。私は月1回の下校時の防犯見守り隊に参加しているが、機会を通じて接触したい。子ども達の安全を見守りながら交流を深めるにはまずは挨拶から。
70歳以上	学校と地域の連携(学校職員が担当)。青少年指導員がいないならこの人達の活動(指導などで)を行う。
70歳以上	いつでも、どこでも子どもと出会った時には、その子どものその場の状況を暖かく見守ってあげる心を持っている。
70歳以上	甘やかすばかりが子育てとは思わない。交流の場は必要だが、そこでは社会や大人のルールを身につけさせることが重要だと考える。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

20歳代	デューク更家の様な有名人をよんで、講演してもらおう。各自の散歩コースを投稿できるページを役所のHPにつくる。
30歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。
30歳代	ちょっとしたマラソン大会など。
30歳代	体操の会を行うのは良い。夏だけでなく春夏秋冬、短期間でも行ったほうが良い。
30歳代	季節ごとに流行する病気や予防方法等、回覧板で教えるようにする。
30歳代	安全に散歩できる道をつくる。
40歳代	地区センター等での体操を自由参加型で増やす。毎日10分でも開催している。
40歳代	軽い体操教室。
40歳代	歩きやすい道の整備。安全な公園。
50歳代	ラジオ体操など夏だけでなく1年中通して開く。
50歳代	自己管理の問題なので、個人の意思を大事にする。

50歳代	散歩マップ。
50歳代	ゲートボール等のグループはあるが、引きこもりがちな人が参加しやすいグループづくりを検討してみたい。
50歳代	活動できる場所を公開し、身体を動かすこと、ウォーキングまたは太極拳を行えるようにする。
60歳代	ラジオ体操は夏期だけでなく、子どもから高齢者まで月1回くらいは集合しても良いのでは。
60歳代	毎日歩く時間をつくり、車に乗らない生活を心がけている。
60歳代	参加できる動機付けの機会。
60歳代	坂下公園では老人クラブが中心にゲートボールを等をしている。
60歳代	健康のためにウォーキング等があったら参加してみたい。
60歳代	歩いた距離がわかる遊歩道の設置。
70歳以上	告知方法を検討して欲しい。皆が皆町会に入っている訳ではないため。
70歳以上	区で地域・地区モデルを広報してその効果活動状況を知らせる。
70歳以上	歩きやすい道路、気軽に散歩できるように。
70歳以上	5月に主人を亡くし今は一人で寂しい毎日です。でも茶道があり仲間に励まされ救われています。まもなく、78歳になるので先が心配。散歩コースのマップが欲しいです。

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくらう

20歳代	みんなが愛着をもつものを一つつくる。建物、店、犬、猫など。
30歳代	声かけや挨拶を心がける。
30歳代	平日働いている人たちが集まれる機会をつくる。夜の時間や土日。
30歳代	地元の高齢者に近く公園で昔の遊びを教えもらう(子どもも高齢者も元気に明るい地域へ)。交流の場をもつことで助け合いが生まれる。公園でフリーマーケットをする。
30歳代	高齢者－学校－幼児－乳児、どこかで繋がりがもてるように、孤立グループにならないように。
40歳代	まず大人が挨拶しないとイケない。
40歳代	隣近所に興味を持つためにも、班単位での防犯の役割をもつ。
40歳代	子どもが成長して子供会から離れると、それ以外にどのような団体があるのかわからない。仕事を持っている私のような者にも具体的な情報を広める。
40歳代	挨拶で親しみを増す。
50歳代	区の職員を中心に、町会の役員他が参加し集まれる機会をつくる。
50歳代	回覧板で情報をまめに共有する。
50歳代	挨拶はコミュニケーションをとる第一歩。家庭や学校でしっかり教える。
60歳代	年寄りの方への声かけ。
60歳代	町内会を定期的に関き、地域情報の提供、情報交換、親睦の3つを図る。3～6ヶ月に1回。
60歳代	知人であれば、挨拶や声かけは基本中の基本。
60歳代	子育て世代、高齢者の集まりだけでなく、子育て世代、熟年世代のお茶飲み会もいい

	かな。
60歳代	声かけや挨拶を心掛けているが一步勇気が出ない。反省しています。今後は努力してやってみたい。
60歳代	近所同士の見知らぬ不審者への声かけ防犯。
70歳以上	私が進んで茶会を町内でしたことがあるので、気軽にできれば良いと思う。
70歳以上	みんなが助け合い気楽にお茶飲み会ができれば良い。
70歳以上	マンション住まいなどが多くなって近所との交流が希薄になっているのが実情である。まずはできることから。声をかけあうことから親しくおつきあいができるようになった経験もしている。
70歳以上	人との距離を置きたい人もいる。
70歳以上	声かけ挨拶。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくろう

20歳代	掃除ボランティアに参加した人は、区内で使用できるお金のようなものをもらえるシステムをつくる。
30歳代	約束事は良いと思う。歩きたばこは絶対に嫌だ。
30歳代	月に1度でも時間を決めて皆で外の清掃を行う。
30歳代	地域での約束事をつくる。花いっぱい運動をする。
30歳代	たばこやゴミのポイ捨て、ペットの糞、道に落ちていると他の人も同じ事をするので、地域で積極的に清掃活動をする。常にきれいにしておく。
30歳代	自由参加の清掃大会など。
30歳代	自宅の前、近所のゴミを皆で拾う日、曜日を決めて、できる人がらやろう。きれいな所にはゴミを捨て人はいない。
40歳代	前日にゴミをださない。
40歳代	自分を振り返り、各々が進んで「汚さない」ができるように工夫をする。標語などの掲示など。
40歳代	子どもの時からマナーを指導する。外国人が増えてきたので、特にそういう人には日本のマナー、地域のマナーを知ってもらう。
50歳代	区の職員を中心に、町会の役員他が参加し集まれる機会をつくる。
50歳代	歩行中の禁煙を進める。自転車に乗って携帯を使う事を禁止する。
50歳代	不法投棄の品物を置かせないために、家の周りをチェックする。またできる限り掃き掃除をしてゴミのない環境にする。
50歳代	小さな子どもの時代から当たり前のことが当たり前にできるように教える。
50歳代	地域でできる方での定期的な清掃奉仕活動
60歳代	町で会ったら知らない人でも声をかけて挨拶をする。明るい町をつくろうという意欲を皆に植え付ける。
60歳代	花いっぱいの街を実現できたらすばらしいですね。
60歳代	猫の放し飼いが困る。市や区へ相談しても対策をしていない。条例をつくる。
60歳代	坂下公園は春には桜が咲ききれいだが、その他の季節はほとんど花が咲かない。植



	えられていない。公園をいつでも花いっぱい綺麗な場所にしたい。
60歳代	公園等で花を育ててくれる方に感謝します。街灯が切れなく明るいこと。定期的に公園・橋の清掃などしているとほっとする。自分の家の周りを清掃してくれる人が多いと思いました。
60歳代	海岸に近い車道などの植林事業。
70歳以上	マナー向上は急務。花などを植えてその時だけで枯らしてしまうのを見るのは辛い。やるなら継続的に。
70歳以上	道路やその付近に捨てられている自転車や大きなゴミなどをどこへ通報するか、取り決めが欲しい。
70歳以上	町内会同士が道路の清掃日を定めて実施したい。
70歳以上	地区内の自動車交通、自転車交通のマナーが向上するような約束ができるだろうか。狭い道での歩行は歩行者優先の原則を。
70歳以上	坂下町内公園ではいつも婦人部の方がきれいに掃き清めてくれて感謝している。
70歳以上	お買い物に出かけるとき各家々の庭先にきれいなお花が咲いていてほっとする。
70歳以上	犬の散歩の時の糞の始末。

根岸地区にあったらいいなと思う取組

20歳代	ゲーム感覚で子どもも参加できるボランティア活動づくり。何か1つ、区民が大好きで誇りに思えて大切にしたいものを確立する。
30歳代	根岸に引っ越して3年がたった。「浜マーケット」等の小さな商店街が根岸付近にもあつたら良いなと思う。育児や高齢者等の福祉ボランティアについて、あまりよく知らない。ポスト等にわかりやすい情報紙が投函されると良い。
30歳代	地域の良い点、悪い点をしっかりと住民に知らせる。一人一人に意識してもらえるように取り組む。いろいろな町内での活動を互いに知り、参考にできるように他の町内との交流の場を多くする。
30歳代	他の地域で活動している成功事例を会報などで紹介して欲しい。
30歳代	今でもいろんな皆さんが、がんばってやってくださるので、特にない。
30歳代	歩きたばこが目立つ。少しでも減らせるように地域で取り組んで欲しい。
40歳代	街が夜など暗いところが多いので、明るいところをつくって欲しい。
40歳代	特に気に入って住んでいるわけではない。また、住んでみて良いと思えるわけではない。まあ普通の地域です。魅力が何もありません。
40歳代	子ども達の登校時、狭い道を急いだ自転車がスピードをあげて通り過ぎる。車は通行禁止。歩行者もなるべく端によるという思いやり。自転車側も通らせてもらうというお互いの思いやりをもちたい。思いやり・お互い様運動。
40歳代	いろいろと参加して意見を述べたいが、うちの集合住宅は回覧板のまわりが悪く、参加したくても開催日が過ぎてからその行事を知ることが多いので、根本的な部分から改善した方が良い。
50歳代	限定した日ばかりお祭りをせずに、毎日をいかに参加できるかを考えてはどうか。
50歳代	地域保健福祉計画の柱が4つあるとあるが、1つに集中しそれを徹底した目標にした

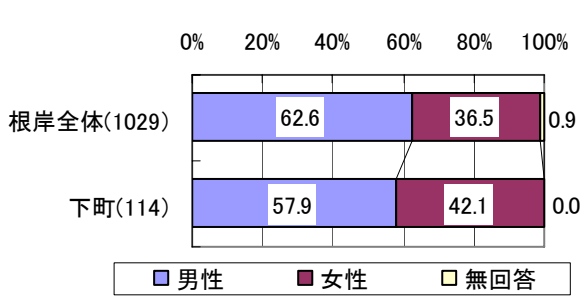
	方が良いのではないか。
50歳代	自動車ではなく自転車や歩行優先の道づくりや駐輪場整備。これは根岸地区だけで取り組むのは難しいので磯子区全体でモデル地区づくりをし、横浜市全体に広めていく。
50歳代	根岸地区に海岸をとりもどす。動物検疫所を移転し、親水公園を整備する。堀割川の石積遺稿を保存整備し水に触れる環境を整備する。
60歳代	高齢者の一人暮らし世帯を月一度に訪問をして欲しい。世話をすることよりも、様子うかがう程度でもよい。介護施設等の人の訪問は家族のいる家ばかりで、単身者はほったらかしではないですか？
60歳代	夜、よく散歩に行きますが、その時、ただ散歩だけでなく、防犯パトロールも兼用できたらどうでしょうか。腕章等の目印とか、一定の資格を与えられたら、いろいろなことに注意できると思う。現在は、漫然と歩いている61歳の男性なので何かお役にたてればと思う。
60歳代	刃物の使い方とかロープワークに関して今の子どもはあまりに無知。それは大人の責任。あれをやっては危ないでは本当の危険予知ができない。子どもは体験して初めて、危ないこと、大丈夫なことがわかるのである。
60歳代	ドロボー、不審者への気配り。110番の勇気ある通報と全家庭が徹底する。
60歳代	誰もが繋がり合う町をつくるためにマルチ目的に町内会会館を定着させる。
60歳代	子どもが幼稚園、小学校、中学校時代は地域と良く関わっていましたが、子どもが独立し家に入ってしまうと、町内はゴミを出す場所と買い物に行く道、電車やバスに向かう道路といった感じで、地域に店も少ないし、利用もしないので、挨拶をできる人が大変少なくなりました。声かけ挨拶運動があると良い。
60歳代	いくらスローガンを掲げたところで、何も浸透していないので無意味。きっちり伝達をできる様にし、全ての人に関心をもてもらうのが先！地方ではパンフレット横浜と呼ばれていますが磯子区もまさにその通りです！！
70歳以上	老人ホームで茶会ができればと思う。
70歳以上	老人医療病院等をつくっていただきたい。
70歳以上	もともと代々根岸に住んでいる住人とマンション等で他町村から引っ越して来た人との間には、地元意識に隔たりがある。山と海に囲まれた狭い地域なのだから、他町村からの移入者とも同じ接し方をして欲しい。「おらが村」の意識が強すぎる。
70歳以上	街をきれいにすること。川べりに木を植えてもらいたい。運河に放置されている船が増えている。見た目もきれいにしよう、役所に協力してもらい撤去して欲しい。
70歳以上	ますます高齢者が多くなり、特に一人暮らしが多くなるので、交代で何日おきかに声かけてくれる制度が欲しい。孤独感解消にもなる。
70歳以上	堀割川をもっと利用して活気をつける。
70歳以上	根岸駅前の商店街と住宅地区町内の人々の密なる連絡があると良い。
70歳以上	散歩したくても自転車がすごいスピードで走っている。もう少し子どもにマナーを教えて欲しい。
70歳以上	子ども達と一緒にあって昔なつかしい唱歌など歌えたら楽しいと日頃から思っている。小学生唱歌などにも今でも伝えたいような歌がたくさんある。地域でも、あるいは小学校でできたらなお良いことと思う。

70歳以上	学校、警察が本気で地域、地区重視の活動ができるかどうか。地域・地区は待っているのではないかと。町内会は組織であって組織ではないことがあり、町会と公的組織との連携が必要。
70歳以上	今もいろいろとやっているようだが、これからもお願いします。
70歳以上	いざという時に往診していただける町の医者がいない。現在、根岸地区のほぼ中心に建設中の老人ホームに緊急時の対応をお願いしたい。上町：平原医院(閉院)、馬場町：長塚医院(閉院)、坂下町：河野医院(閉院)、原町：小池医院(閉院)、原町：関谷医院(唯一開院だが今年限り)

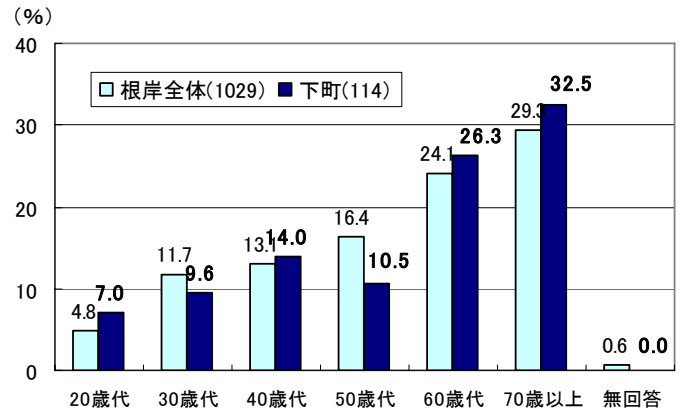
#### 4. 下町

##### (1) 回答者の属性

図表 3-35 男女構成

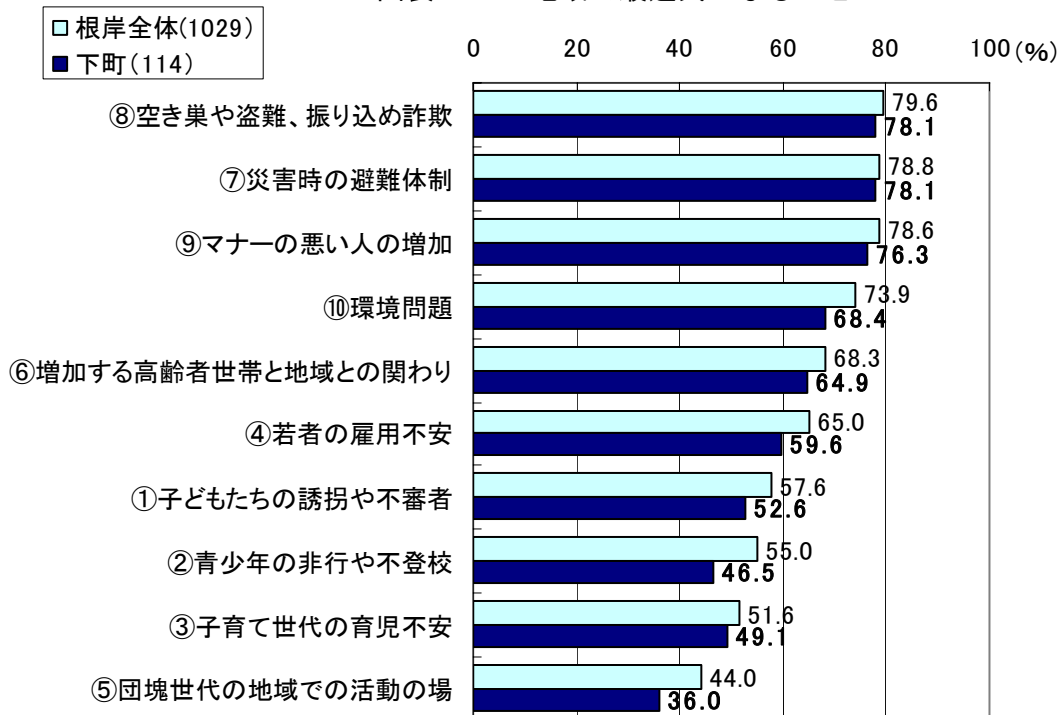


図表 3-36 年代構成



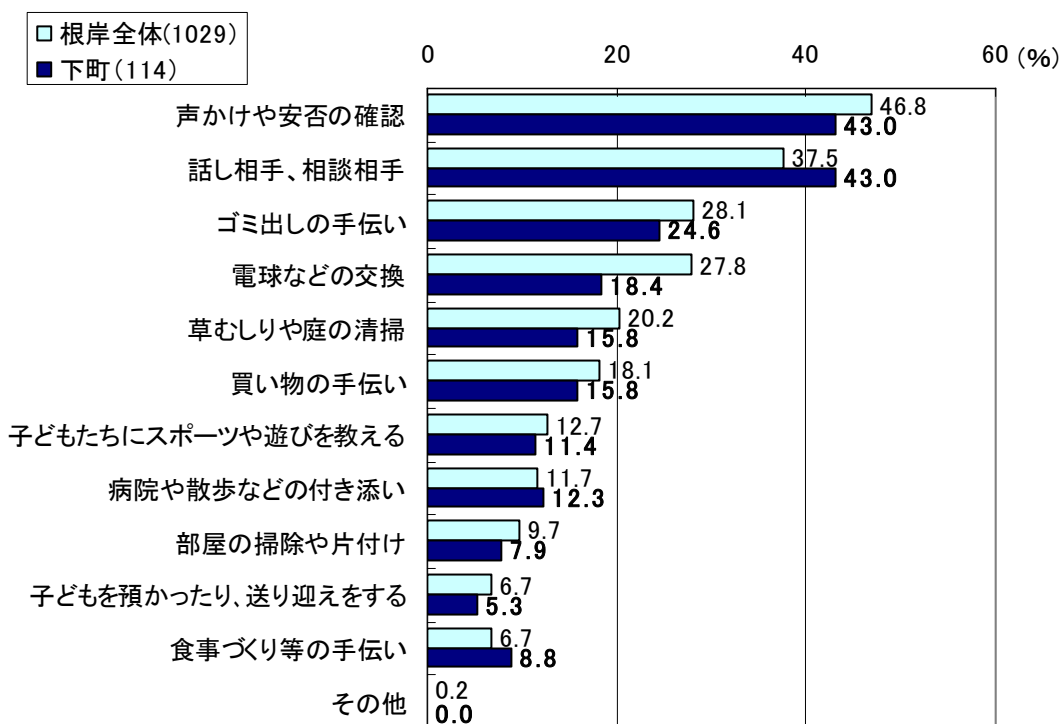
##### (2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

図表 3-37 地域で最近気になること



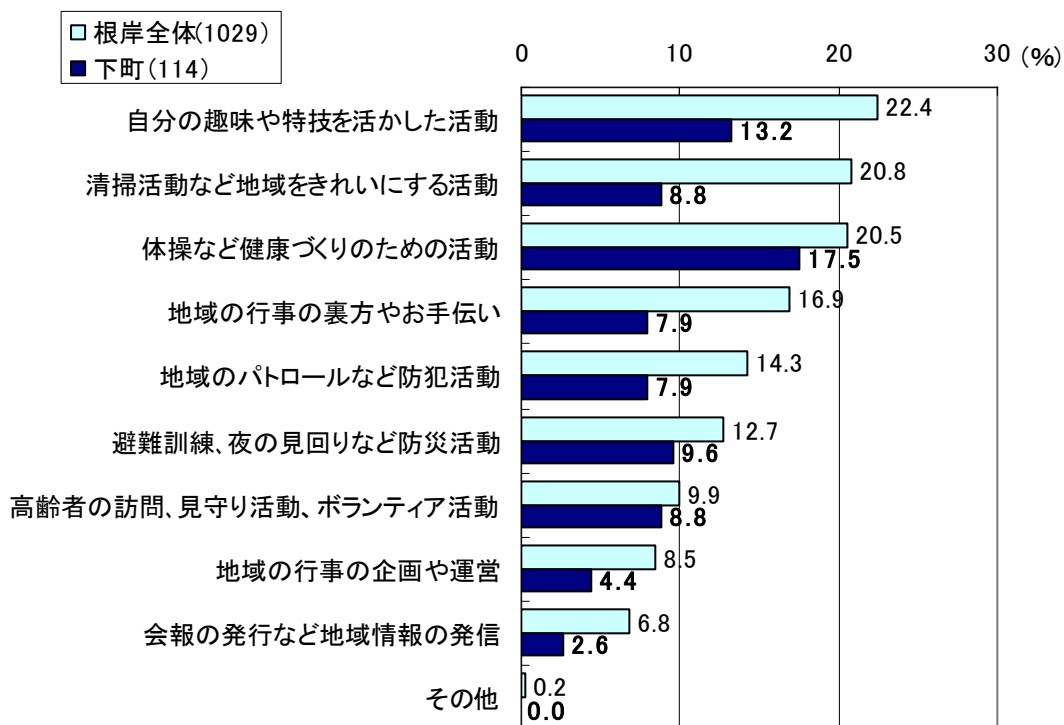
(3) 地域で協力できること

図表 3-38 地域で協力できること（複数回答）

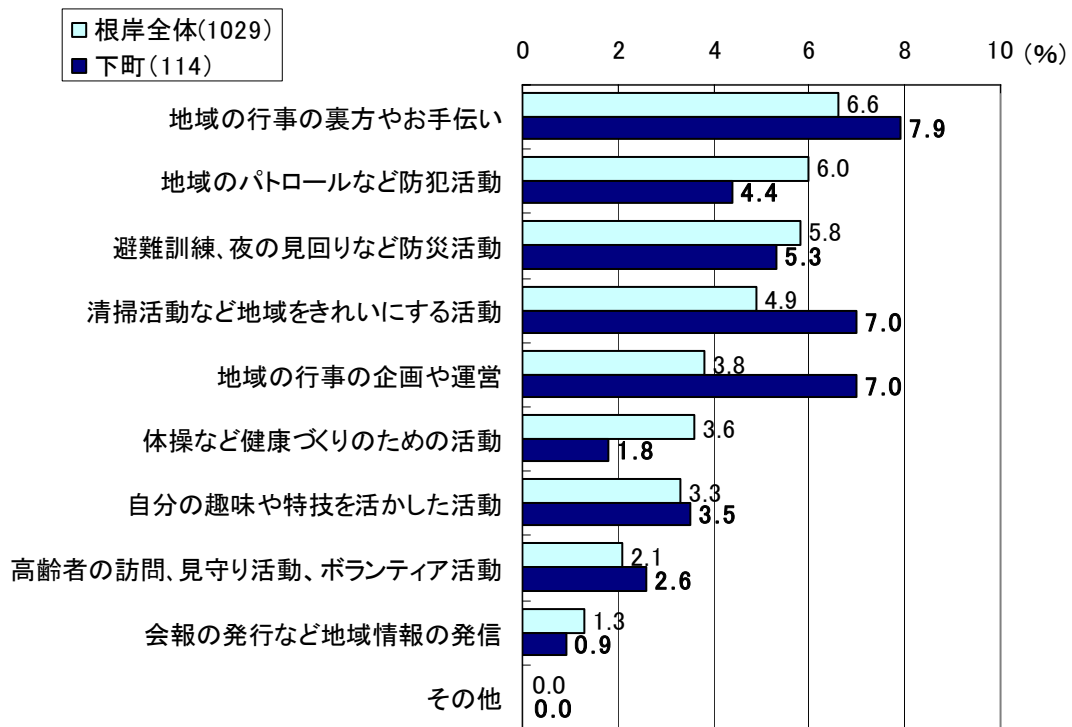


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-39 参加してみたい地域活動（複数回答）

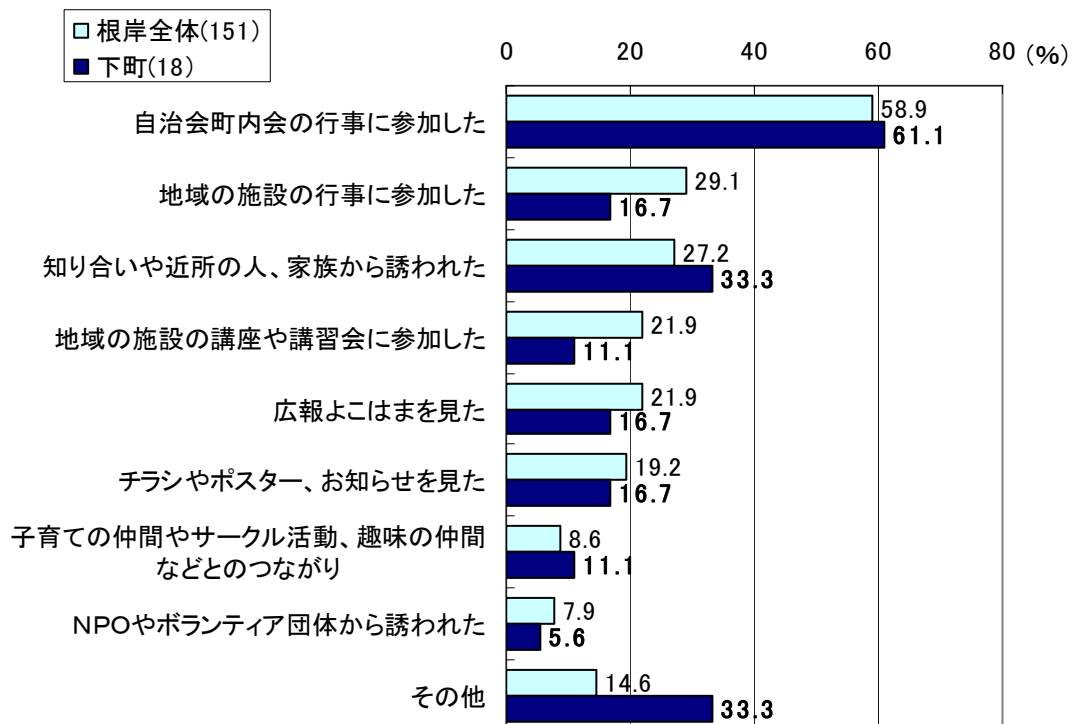


図表 3-40 すでに参加している地域活動（複数回答）

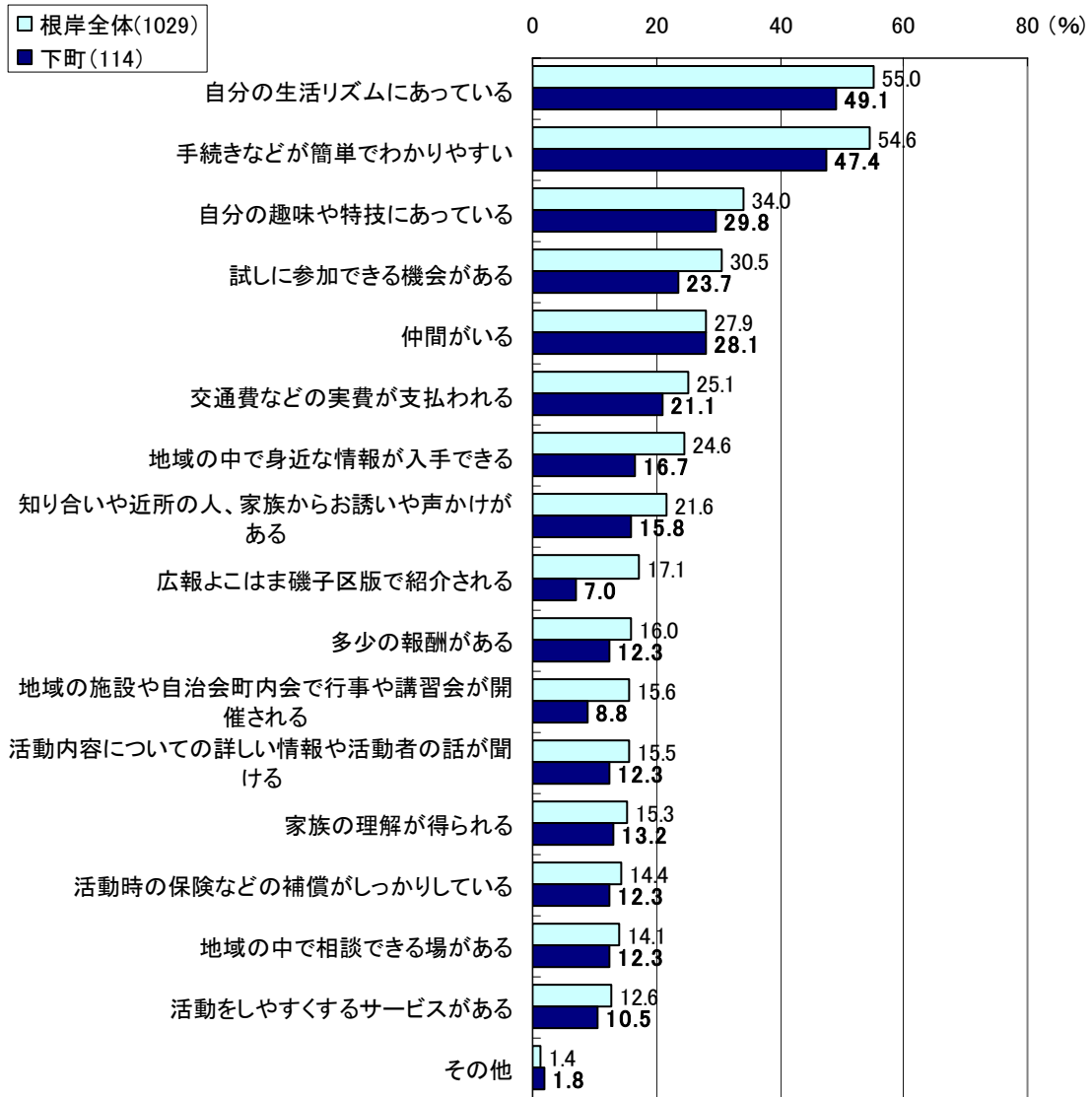


(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-41 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）

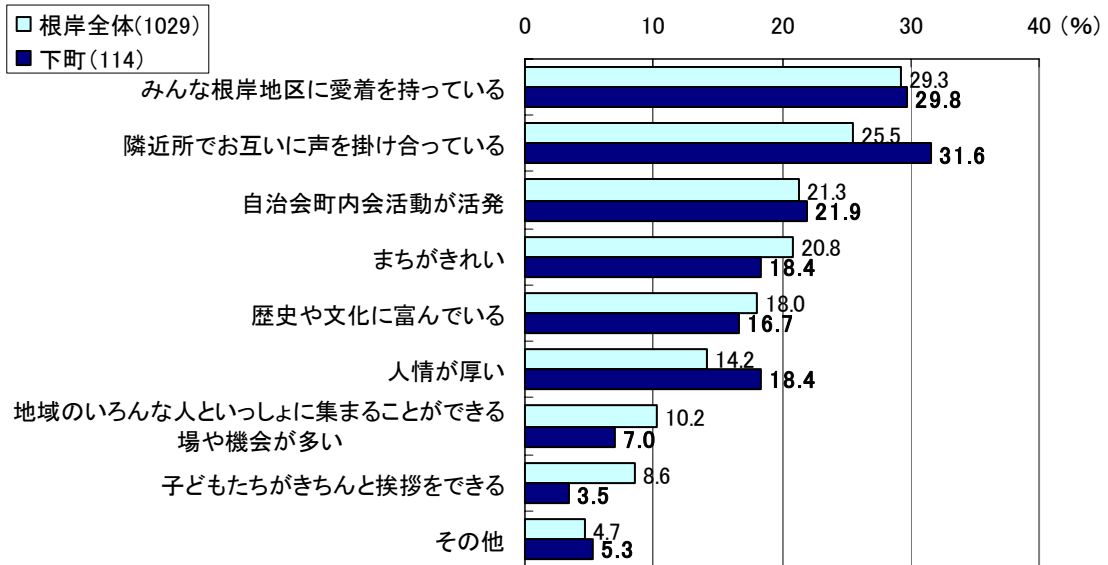


図表 3-42 地域活動の参加を進める条件（複数回答）



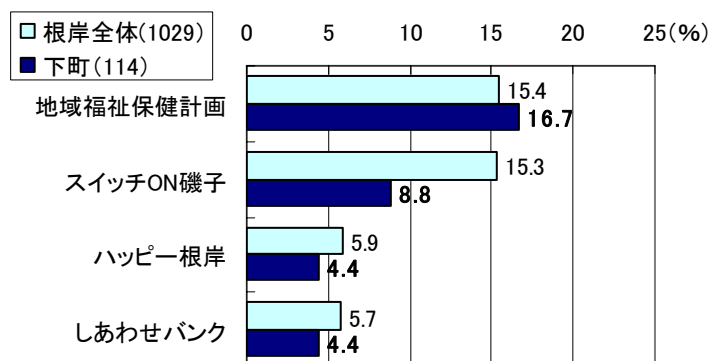
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-43 根岸地区で自慢できること（複数回答）

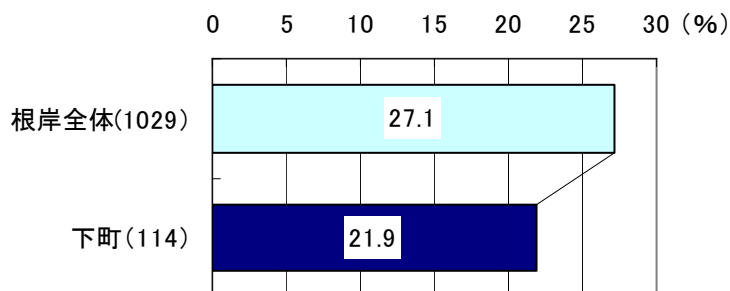


(7) 知っている言葉

図表 3-44 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-45 1つでも知っている と回答した割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	挨拶をする。
20歳代	育児相談や地域人々との交流ができるようにする。
20歳代	日中、放課後の子ども達の一時保育、レスパイト。
30歳代	親同士のコミュニケーションの場をつくる。直接会う、またはインターネットなど。
30歳代	子どもに安全な町づくり。
30歳代	地区住民のたまり場をつくる。空き家などを地区センターの小型のものとする。
30歳代	病児(特に小児ガン、自閉症)の子を育てる保護者の話し相手はできる。
30歳代	不審者がしやすい場所などをリストアップし、定期的に地図などで提示する。
40歳代	犬の散歩時、会社の帰りなど、バッジやたすき掛けをつくった。色が目立つ防犯のため、目印をつけ、犯罪防止のアピールしながら、子どもの安全に役立てたらどうか。
40歳代	子ども会と学校の交流、話し合いの場づくり。問題のなすりあいをなくす。
40歳代	自治会での保育室の運営。中学生会(子供会の中学生版)の運営。子育て会(乳幼児をもつ母子で参加できるイベント)。不要なおもちゃのリサイクル。



40歳代	食育を考えるべき。子ども一人での食事を続けていては良い結果はでない。
40歳代	母親の再教育。
40歳代	不動坂の歩道の整備。
50歳代	子ども達と気軽に会話ができるように(悪い大人や悪さする人間をつくらない)。
60歳代	課外授業を企画し子どもとの交流の場を設ける。
60歳代	子どもの声のするときは、それとなく見守る。
60歳代	少年野球クラブ、卓球クラブ等、スポーツ面で。
60歳代	誰もが交流できる公園づくり。
60歳代	地域のパトロール。小学生が安心して外で遊べるように。
60歳代	犯罪にあわないよう、普段からの教育、しつけ、周囲の気配り。
70歳以上	小学校のお子さんと話をしたい。例えば戦争中の事など。
70歳以上	本を読み聞かせたり、幼児に紙芝居などを見せる。
70歳以上	まず子育て中の親がマナーの手本を示すこと。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

20歳代	体操教室など健康に関することは場所を決めて多くつくる。
20歳代	大きな公園(または広場)があって、ランニングができ、親子で遊べる広場があると良いと思う。
30歳代	ラジオ体操。
30歳代	地区の歴史散歩コースをつくる。
30歳代	近所の地理を殆ど知らないの、良いジョギングコースがあれば是非知りたい。夜でも明るい道とか、車通りの安全な道など。
30歳代	体の不自由な方やお年寄り、外に出るのをためらいがちな人が、外に出やすいよう交通機関などを使いやすくする。
40歳代	ラジオ体操の会をつくる。
40歳代	ラジオ体操の会はよいアイデア。
40歳代	ウォーキングしやすい環境づくり。
40歳代	BMI一覧表の配付。
60歳代	歩きやすい散歩コース。
60歳代	散歩コースのマップをつくることに賛成。
60歳代	見所のかいてあるマップ(花咲く時期など)をつくる。
60歳代	歩行帯、自転車通行帯の確保。
60歳代	地区センターのようなところで体操教室のようなものがあると良い。
60歳代	自分に合ったスポーツや散歩。
60歳代	散歩のポイント、ポイントで気軽に立ち寄れて休憩できる場所があったら良い。夏の日よけ、ベンチ等。
60歳代	散歩コースをつくる。
60歳代	健康器具を揃えて欲しい。下町のそば。
60歳代	区内の公園を整備し安全で自然環境に富んだウォーキングコースを整備する。

70歳以上	身近なところのマップが欲しい。
70歳以上	土曜日曜には朝散歩。
70歳以上	登山、太極拳などの会をつくる。
70歳以上	体操教室へ行く。毎日1時間ぐらいは散歩する。
70歳以上	散歩コースのマップ。
70歳以上	簡単な体操教室があったら、と思う。
70歳以上	買い物等でなるべく1日1回は歩くことにする。

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

20歳代	誰でも集まれる場所を提供する。
30歳代	挨拶。
30歳代	町内会単位に集まれる場所をつくる。
30歳代	一人暮らしは地域とのコミュニケーションが少なく、情報を得るにどうしたら良いかわからない。地域と繋がる機会が欲しい。
30歳代	若い人が年上の人に席をゆずったり、助けたりするよう、子どものうちから学校や家庭で教育する。
40歳代	核家族を法律で認めない。大家族制度をつくる。
40歳代	公園、地区センター等の充実を図る。
40歳代	地元柳下邸をつかって気軽に集まれる時間をつくと良い。
40歳代	食品の無料配付イベントの実施により面識づくりを行う。配付用の食品は企業の試供品等を活用。
60歳代	挨拶、声かけ運動。
60歳代	会ったときに挨拶が一番大切だと思う。
60歳代	思いやりのある生活。人のために、全ての生き物に、やさしい人間づくりを考えて欲しい。
60歳代	近所の人に声をかけ、近況を聞く。
60歳代	借家人達を軽視せず、声かけ挨拶を気軽にできるよう雰囲気づくり。
60歳代	町内でイベントを実施し、地域住民との交流の場をつくる。
70歳以上	誰とでも気軽に挨拶をするようにする。
70歳以上	地域ごとに胸にバッジをつけて声かけやすい雰囲気づくりをする。挨拶しやすくする。
70歳以上	ちゃんと挨拶する子どもが少ない、大人も。
70歳以上	道で会った人たちに必ず声をかけている。
70歳以上	みんなで集まる場所は欲しいが、そのときにうわさ話をしたりせず、少し頭をつかった重みのあるお話をして下さる方を中心にして欲しい。会へ行って良かったと思えることが大切である。
70歳以上	良い方法があったら参加したい。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。気軽に集まれるお茶飲みを開く。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくろう

20歳代	ゴミをしっかりと分別。出す時を守る。
20歳代	ゴミ捨てのマナーを徹底するかめ、捨てる日や曜日の明確表示が必要だと思う。
20歳代	個人が当たり前のことを当たり前にする。子どもの場合は家庭で支えていく。
20歳代	歩きたばこをしないなど、環境問題を皆で考える。
30歳代	お掃除。
30歳代	犬の糞などを放置しない。
30歳代	歩きたばこを禁止して欲しい。東京都千代田区のように。
30歳代	歩きたばこの全面禁止。
30歳代	ecc活動。
40歳代	ゴミ出しのルールをきちんと全員が守る。
40歳代	歩行者、自転車専用道路、居住者専用道理の設定。
40歳代	地域の清掃は子ども時から義務化させる。
40歳代	大人の信号無視をなくす。
50歳代	川を大切に、海を大切に、山を大切に。
60歳代	花いっぱい運動。
60歳代	ルールづくり等の徹底。事業所と地域のルールのすり合わせ。
60歳代	夜間道路の照明を少し明るくする。
60歳代	人の家の前・後にゴミを捨てない。人間がお互いにきれいな町づくりをすること。生かされている存在を知りましょう。迷惑をかけない。
60歳代	定期的に公園や道路を清掃してほしい。
60歳代	町内の美化運動を行う。
60歳代	犬にはオムツをさせて散歩して欲しい。糞の放置や小便のシミは不衛生で美観を損ねる。即実施して欲しい。
60歳代	空き缶を空き地に捨てさせないようにするにはどうしたら良いか考える。
70歳以上	防犯パトロールはいかが？
70歳以上	地域での約束事をつくる。花いっぱい運動。
70歳以上	自分がマナーをきちんと守る。
70歳以上	公の規則は学校で教えて欲しい。人間としての礼儀マナー、心は家庭で。母親に対する教育も必要。
70歳以上	草むしりや清掃のグループをつくる。
70歳以上	お花は少ないのでもっとみんなで花いっぱい運動をしたい。
70歳以上	お掃除好きのおばあさんが通路をはいてくだり、会うとお礼を言っている。

#### 根岸地区にあったらいいなと思う取組

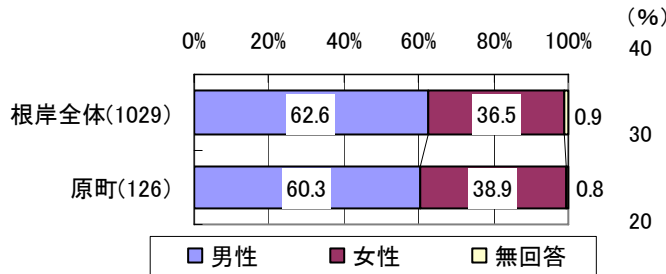
30歳代	子供の楽しめるイベントをたくさんして欲しい。また、情報がもっと届くよう工夫して欲しい。
30歳代	犬のお散歩パトロール。

40歳代	法の絶対制。市民にこびない。
40歳代	ゴミ置き場は箱形にして欲しい。地面にネットをかけではネットに触るのに抵抗がある。
40歳代	この地域の高齢化が進んでいるように思える。便も良く、環境も悪くないので、PRをもっとして欲しい。
40歳代	区設市場の設置。市及び区内で生産された安全な米、野菜を販売する市場の設置。
40歳代	介護している方、子育てをしている方々が集まって話し合ったり、経験者のアドバイスやお手伝いをさせてもらいながら支え合う。気軽に参加できるスポットがあると良い。
40歳代	いろいろな取り組みがあり、十分すぎると思う。福祉というのはやりだせば際限なくなり、線引きが難しいが、あまりにもいろいろなところに役所が当然のように入るのもどうかと思う。
50歳代	マナーを守らない大人にならないように心がける。そう努力することが大切だと思います。ゴミ、たばこ、猫にえさをやる、犬の散歩等々。各自が自分の生活圏内でほんの少しの努力をすれば。他人にかまうことも含めて(他人にかまうな)。
50歳代	せっかく「根岸線」という名称があるのだから、JR等とタイアップをして「根岸駅」中心に根岸線イベントを考える。
50歳代	下町交差点は自動車等の信号無視が目立つ。駅至近と対角に歩行者が移動すると(スクランブルの考えで)長距離となり、現状の信号のサイクルでは高齢者の場合、2サイクル待たされる仕組みである。是非現場を見て下さい。歩行者に優しい信号のサイクルをへのシステム変更を希望する。
60歳代	祭りでの出店を増やして欲しい。
60歳代	花いっぱい運動が良いと思う。散歩の方の心が和み、また花の話題でコミュニケーションが良くなると思う。
60歳代	根岸神社を中心とした地元密着型の夏祭りのあり方を検討し、根岸地区の文化の掘り起こしを活性化する。
60歳代	従来から住んで居る人は間違えないが、缶と生ゴミを一緒に袋に入れて捨てている者がいる。他の地区と思われるので監視して欲しい。
60歳代	歩きたばこ禁止(公共の場での完全禁煙)及び罰則設定。
70歳以上	緩い年代別のグループをつくる。
70歳以上	町単位を超えてゆとりある、住みやすい根岸にしていきたい。
70歳以上	それぞれの年齢でできることをしたい。
70歳以上	最近一人になって歩くのが嫌になって歩かなくなったので、皆で週に何回か長い時間ではなく、散歩ぐらいで歩きたい。
70歳以上	高齢者が誰でも遊べるような施設が良いのではないかな。
70歳以上	高齢者が増えてきているが、みなさんのためにできることがあれば、どんどんしていけるように前向きに成長して欲しい。根岸小学校の児童の挨拶が少ない。根岸小学校の校門前に自転車(会合があった時の父母のもの)が置いてあるが歩行者に危ない。学校で取り締まって欲しい。
70歳以上	おはよう、を言う活動。一時で終わるのではなく、ずっと。
70歳以上	各々が自分の行動に責任を持ってお互い気持ちよく暮らせる地域が大事だ。

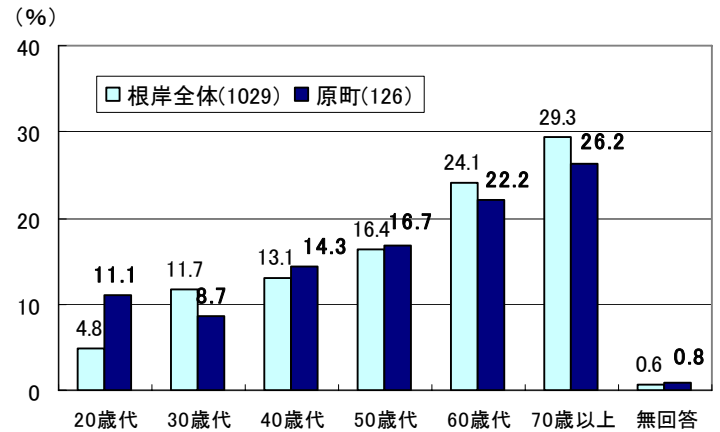
5. 原町

(1) 回答者の属性

図表 3-46 男女構成

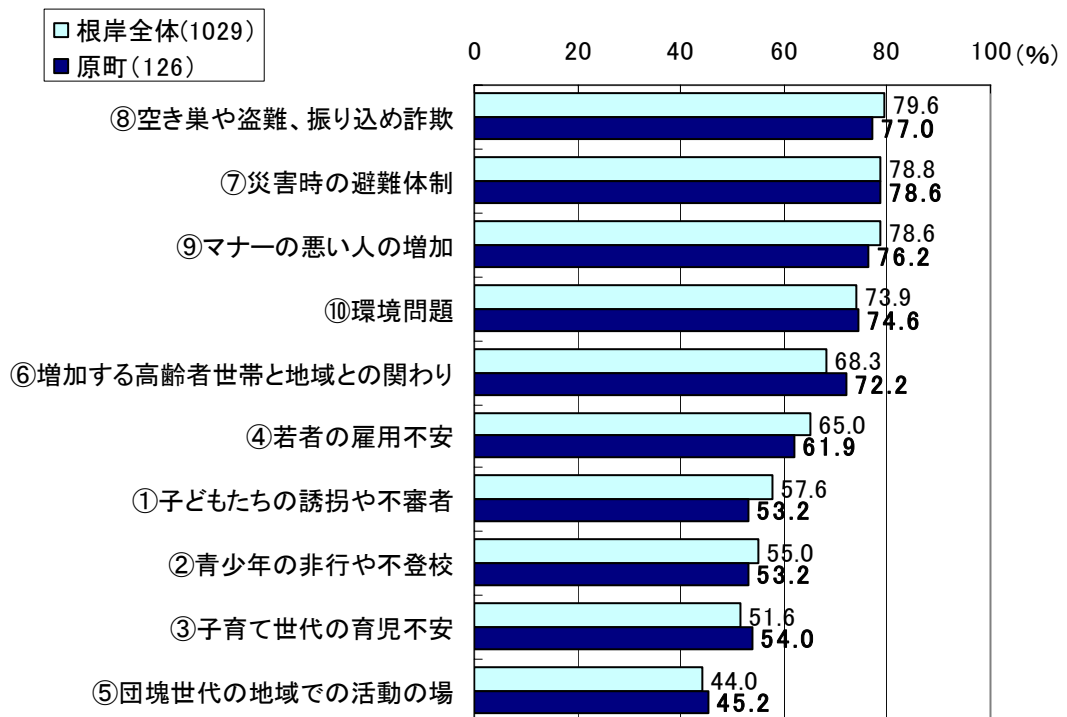


図表 3-47 年代構成



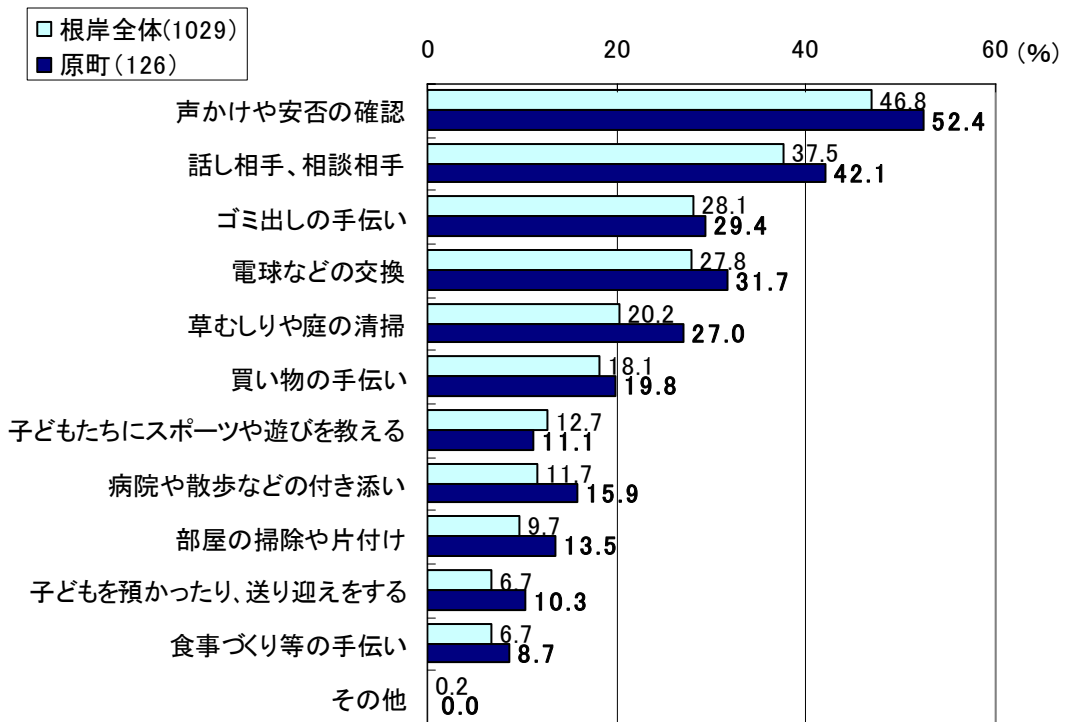
(2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

図表 3-48 地域で最近気になること(複数回答)



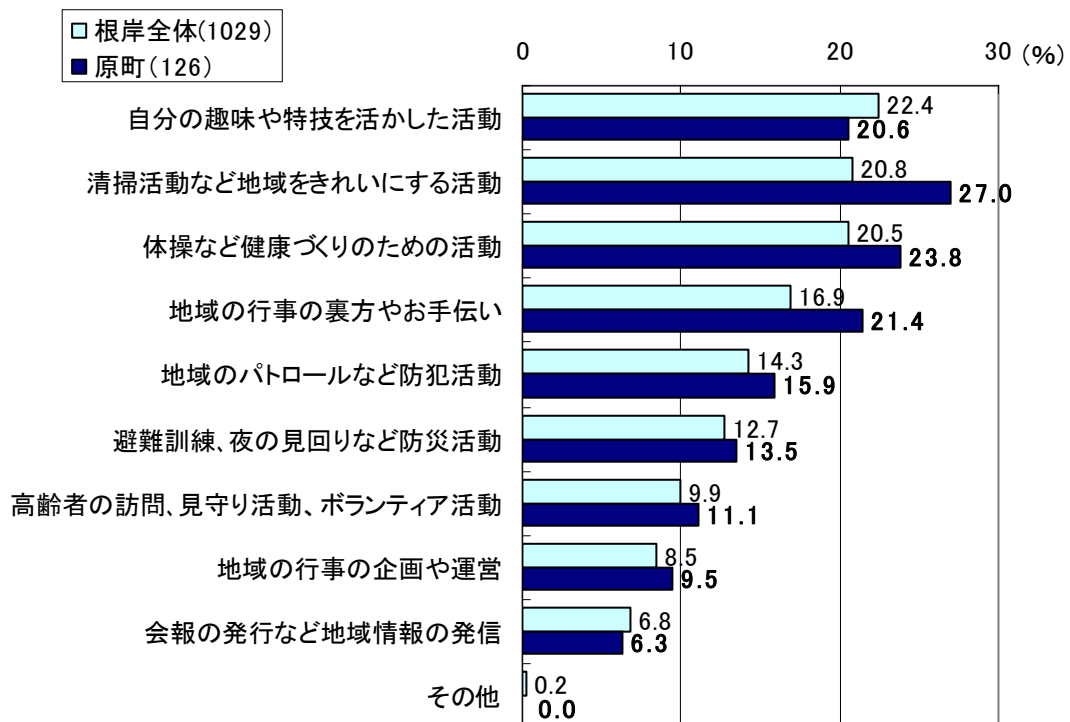
(3) 地域で協力できること

図表 3-49 地域で協力できること（複数回答）

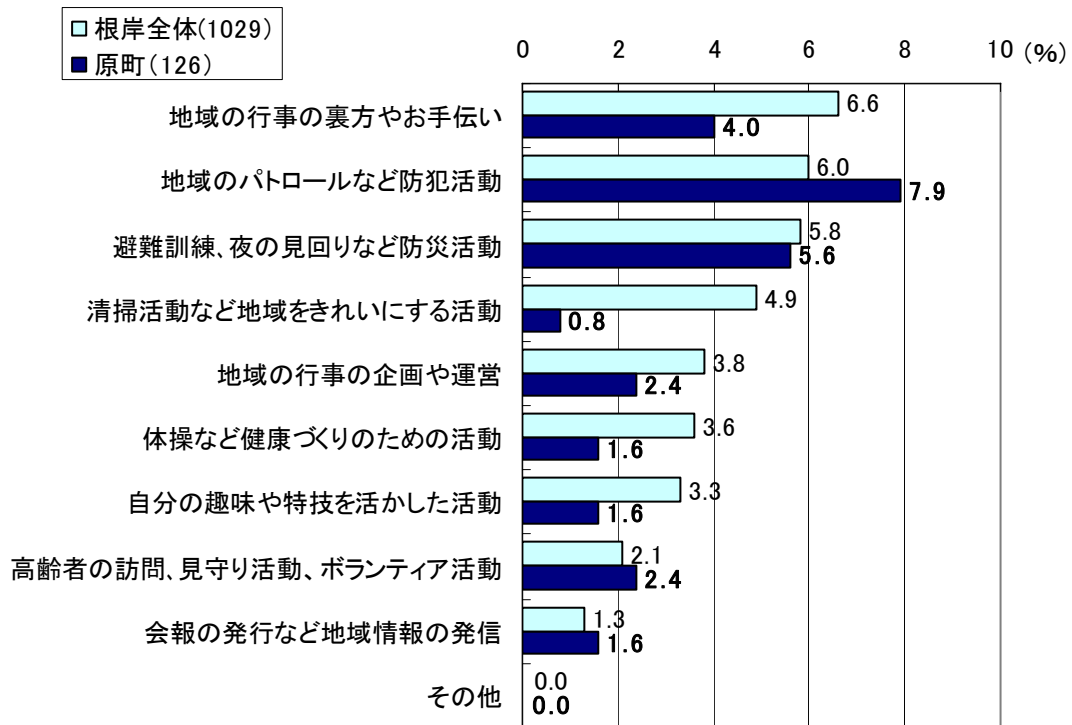


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-50 参加してみたい地域活動（複数活動）

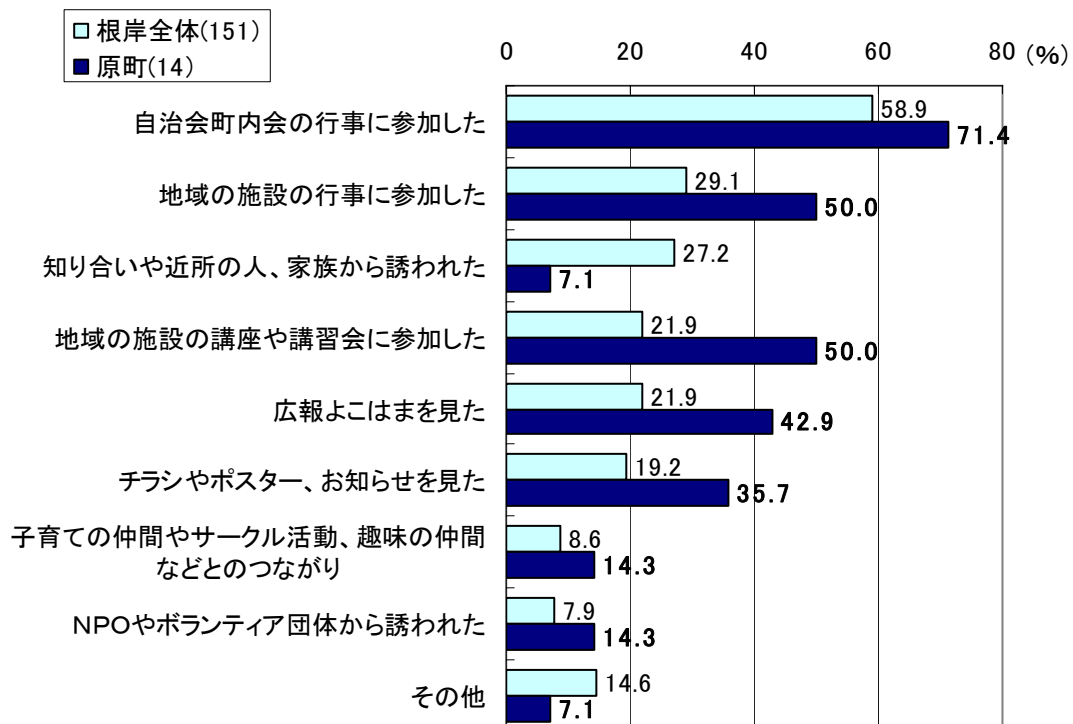


図表 3-51 すでに参加している地域活動（複数活動）

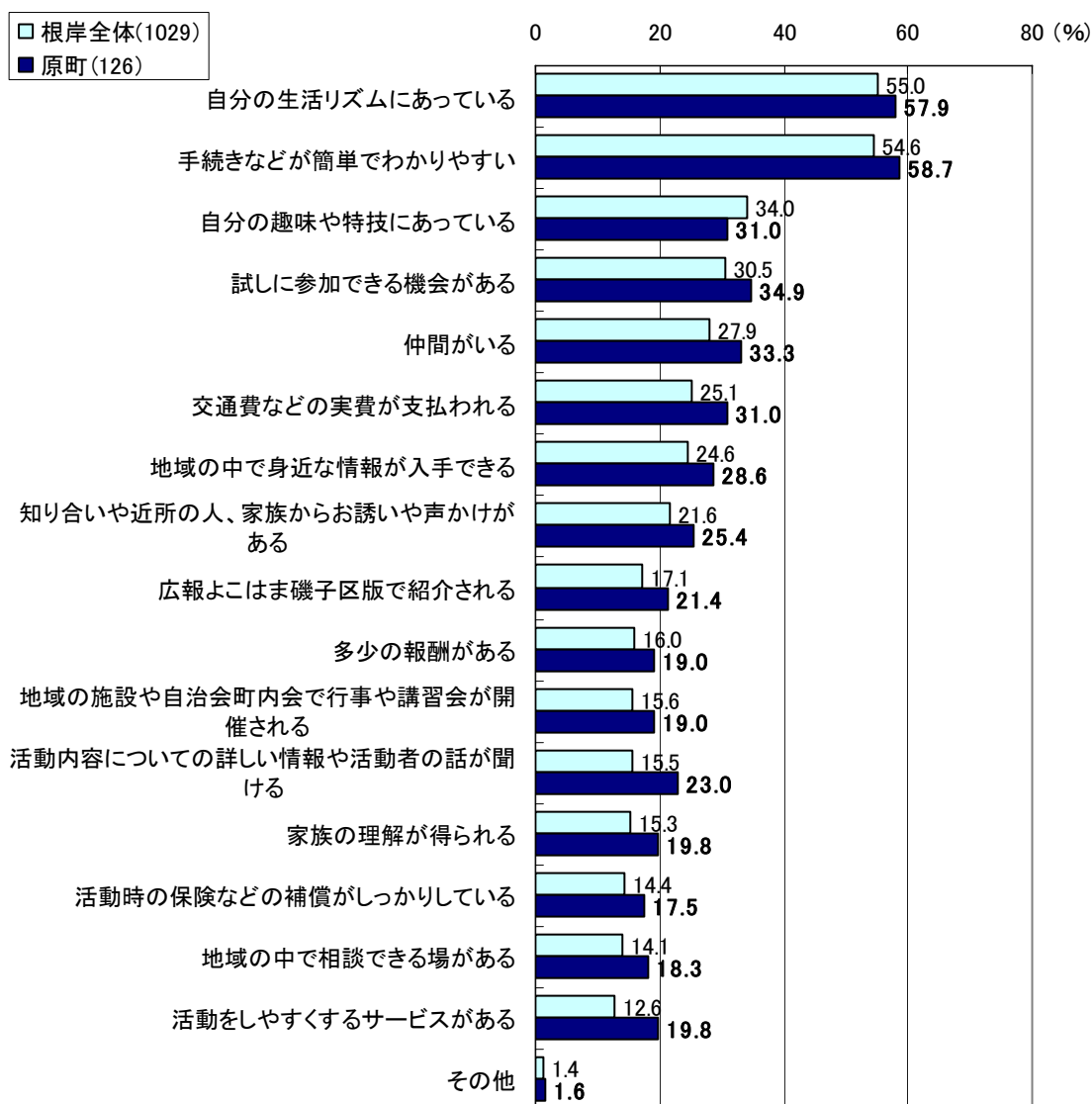


(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-52 地域活動に参加したきっかけ（複数活動）

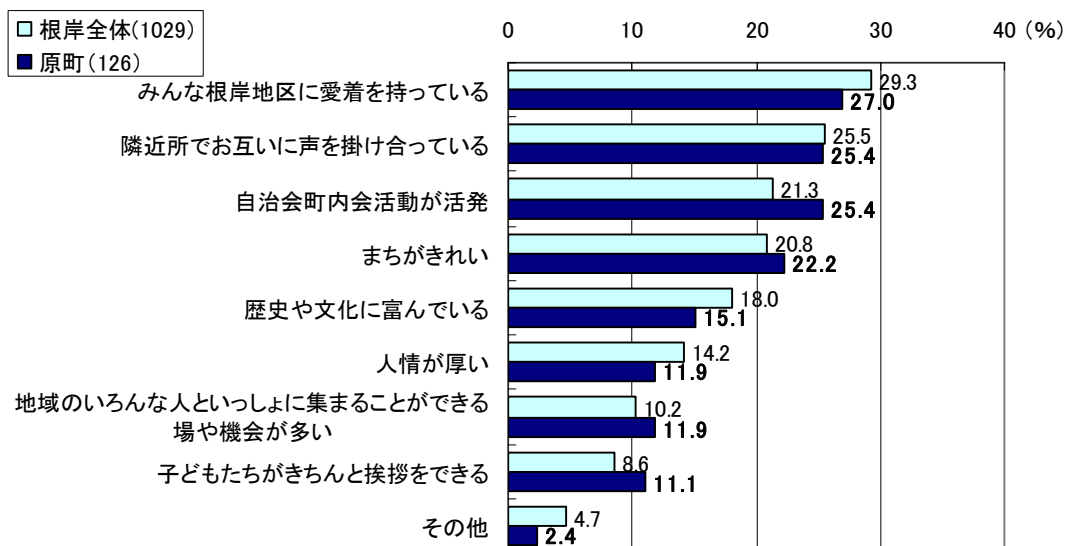


図表 3-53 地域活動の参加を進める条件（複数活動）



(6) 根岸地区で自慢できること

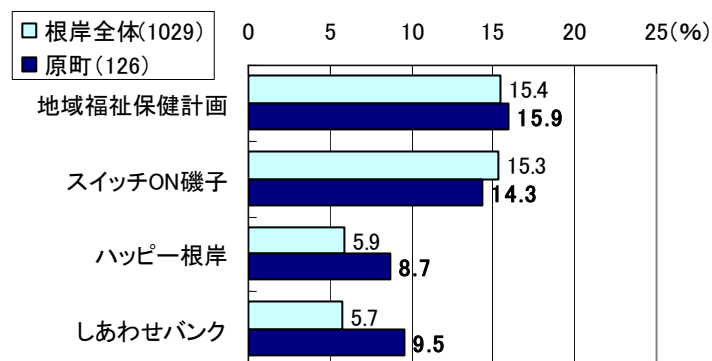
図表 3-54 根岸地区で自慢できること（複数回答）



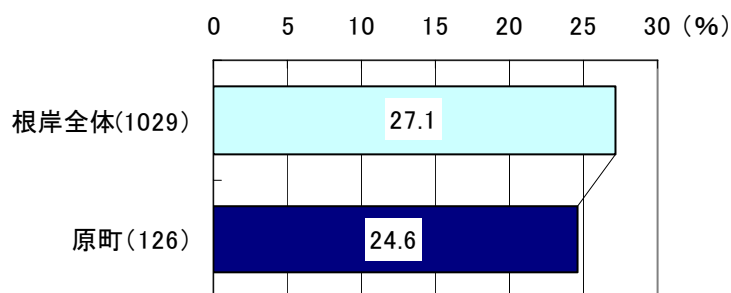


(7) 知っている言葉

図表 3-55 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-56 1つでも知っているとして回答した割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	引っ越してきたばかりで根岸の人とのつきあいがいい。何か交流できる機会があればいいのですが、情報もないため、何かないか、探しているところです。親同士のつきあいがあれば子どもとの交流は自然とできるのではと考えます。
20歳代	登校、下校への方法を厳しくする必要がある。一人で帰るのは危険な時代だから。
20歳代	仕事のため忙しい。
20歳代	子ども達の交流の場づくり。
20歳代	交流できる場をつくる。
20歳代	意見交流の場を積極的につくる。
20歳代	地域のパトロール。地域のクラブ活動。
30歳代	防犯の強化。親御さんが安心できる環境づくり。
30歳代	子どもと大人のつながり。社会見学みないな場。
40歳代	自然の中で遊べる環境。
40歳代	子ども達の危険な遊び等を見かける様な場合、積極的に声をかけ、注意を促していく。
40歳代	子ども達との交流レクリエーション(ハイキング、スポーツ大会を通じて交流を図ったり、大人の持つ知恵などの伝承など)。

40歳代	子ども達が悪いことをしたら、叱ることができる親を育てる。
40歳代	遊び場所、公園等を増やす。
50歳代	子ども達との交流の場づくり。
50歳代	隣り近所に子ども達がありますが、高齢者たちともっとふれ合いをもたせたりしたら、よろしいのではないのでしょうか？(親たちの相談も)
50歳代	自分の経験により子育て中の親御さんや子ども達の相談にのる。
50歳代	子ども達との交流の場づくり。
50歳代	公園、学校の放課後、校庭の使用、野球サッカーができる場がないのでは。手続きをしないとだめというのは考え物。「子ども110番」の札がありますが、入りにくい場もあったりする。実績は上がっているのか。
50歳代	親御さんの相談には参加できる。
50歳代	親が正しいしつけをすると同時に地域の人も愛情を持ってサポートすべく、個の成長を。また地域の融和、発展に繋げるようにして行うべきである。
50歳代	海山でのレクリエーションヘバス等、団体で行楽に出かける。
60歳代	放課後の居場所。
60歳代	登校時の小学校の付き添い。登校時共通見守り。
60歳代	地区センター、ケアプラザ、コミュニティなどの連携を活発にする。子育ても南部ユース(原文のまま)なども利用できたら良い。
60歳代	子どもを持つ親の教育を充実。
60歳代	子どもの誘拐、性的被害がおき、不安が増えたことにより、子ども達が挨拶をしなくなった。地域との関わりをもつため、挨拶が必要だと思うので、挨拶をして、子どもの安全を地域で守ることが大事。
70歳以上	小学生の子どもに注意したことがあります、「おじさんに関係ないだろう」と言われてガックリです。
70歳以上	現在も町内会館が開放されているが、もっと利用されやすいようにする。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

20歳代	若い人が参加しやすいものを立ち上げれば、若い人も参加し、相互向上へ繋げる。
20歳代	ランニングコースをつくる。月1回スポーツの日を作る。町別で対抗戦を行う。
20歳代	ベビーカーをつれて散歩できる道をつくる。
20歳代	休日の講演会の開催。サークルなど。
20歳代	家族、友達などと遊べるような場所(公園、運動場)などの紹介。
20歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。
20歳代	歩きたばこを禁止する。
30歳代	参加しやすい健康の講座を作る。午前の講座が多く仕事をしていると参加が不可能。
30歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。
40歳代	ラジオ体操の会をつくることは良いことと思う。また各町内会館を利用して月1回の健康セミナーを開催する。
40歳代	テニスを気軽に行う。

40歳代	森林公園周辺を利用してオリエンテーリングのコースをつくる。
40歳代	車が通らない散歩コースを増やす。
40歳代	風向きで臭う工場の煙臭を臭わないように改修させ、健康被害がでない環境を整備する。
50歳代	歩きやすい散歩コース等の整備は、行政の仕事。出発点として行政が何をしたいか明確にすべき。
50歳代	ヨットハーバーなどに散歩に行くことが多いですが、平坦で歩きやすいという利点がいちばん良いです。
50歳代	無料の体操教室(夜間も)。
50歳代	無料健康診断。
50歳代	ペットとともに散歩できるマップをつくる。
50歳代	町会などのレクの企画に期待する。
50歳代	地区センターや近くの公園で気軽に参加できる運動など集会をつくる。
50歳代	室内プールのある施設が欲しい。
50歳代	仕事を持っているので、「がん検診」は必要と思っている。一箇所の病院で済ます方法はないのか。特定の病院だと時間がとりにくい。
50歳代	散歩しようの運動を広める。
50歳代	個々にあった体力の維持、増進のため、学校、地区センターなどが地区全体をカバーしていく企画、立案のもと、実行していただきたい。
50歳代	健康相談会などの教化。
50歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる(他に同意見2人)。ラジオ体操の会をつくる。
60歳代	ラジオ体操の会をつくることは良いことと思う。また各町内会館を利用して月1回の健康セミナーを開催する。
60歳代	本人の自覚を促し、啓蒙運動。
60歳代	高齢の方は中央の集会所に出てゆくことができないので、各単位町内会館の利用を活発にして、町会単位で集まれる状況をつくる。公園がない町会もあります。
60歳代	健康体操ビデオの貸し出しをする。
60歳代	街路樹の下に花を植える。
60歳代	犬の散歩の時、糞の後始末をしない方は罰金を取ることを考えて欲しい。
70歳以上	広場が少ないので不便です。近いところにグランドゴルフの様な運動の出来る広場が欲しい。
70歳以上	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。ラジオ体操の会をつくる。(他に同意見1人)

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

20歳代	若い人が参加しやすいものを立ち上げれば、世代に関係なくコミュニケーションを取ることができる。
20歳代	町の中でさらの小さな組をつくる。組の中で交流を実施する。
20歳代	地域ケアプラザなどでの地域高齢者への広範なアプローチ。アクセスしやすい環境体制を整える。

20歳代	声かけや挨拶を心がける。
30歳代	自治体と一人暮らしのアパート、マンションなどのつながりが全くない。道で会っても挨拶していいものか戸惑うこともある。
40歳代	まずは朝の挨拶。知らない人でも良く会う人には挨拶を。
40歳代	自治会をより活性化させ、役員や関係者だけでなく、地域住民が気軽に参加できる環境を整備する。
40歳代	声かけや挨拶を心がけていく。根岸地区に住むすべての方々が積極的にできるように。
40歳代	犬や動物と接する場をつくる。
50歳代	マンションの住人と一戸建ての住人のコミュニケーション。
50歳代	原町は、よく声かけはしていますが、老人が多いと思いますから町内会で会合や話しのお茶飲み会など積極的に開くと良いです。
50歳代	手助けをしようと思うが、相手が溶け込んでくれないと難しい。事実、声をかけても、うるさがられることもあったので。認知症と他人が見てわかって、本人に自覚がないので次の段階へ進めていいものかも迷ったこともある。
50歳代	町会などのレクの企画に期待する。
50歳代	誰にでも挨拶をする。
50歳代	神社、公園での催しや掃除など、声をかけ。初めは少し強制的にして参加するように声をかける。
50歳代	自治会、町内会をより活性化し、町内の人々の顔がわかるようにする。
50歳代	声かけや挨拶を心がける。(他に同意見1名)
50歳代	声かけや挨拶は当然、老人の話し相手になれる。
50歳代	経済状態、生活状態等格差が存在する中で、個々に尊重して、自己が自主的な人生観をもち、人間形成していくべく、共生をしていけたら良い。
60歳代	町会では行き交う方々が挨拶のできる街にしたい。町会で運動会を起こしたい。
60歳代	声かけや挨拶を心がける。
60歳代	声かけ運動をする。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。気軽に集まれるお茶飲み会を開く。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。
70歳以上	現代社会は利己的な考えをする人が多いので、昔のような向こう三軒両隣のような人情味あふれる状況に持って行ければと思う。
70歳以上	気の合う2、3人のグループで集まり手足の不自由な人が多いので声をかけても出ません。
70歳以上	各自治会町内会の活動する催しに積極的に参加して隣近所の人たちと気軽に話し合い交流することが大事である。このことが繋がりを作り、気心がわかれば助け合いも楽に進行する。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくらう

20歳代	若い世代からお年寄りまで集まりたくなる商店街を。
20歳代	路地などの街灯。帰り道、暗く怖い場所もある。

20歳代	町一斉清掃の日をつくる。みんなで一緒に行くことが大切。
20歳代	猫、犬がよくあるので、犬のウンチは必ず持ち帰るようにしてもらいたいです。野良猫を増やさないなど。
20歳代	罰金制度にする。緑を増やす。
30歳代	ゴミの分別などみんながきれいにしようという意識をもつ。
40歳代	緑を増やす。ゴミ箱を増やす。
40歳代	たばこの吸い殻などを路上に捨てた者を目撃し警察に引き渡したら、捨てた者は10万円の罰金、引き渡した者には5千円の報酬、などの地域条例をつくる。
40歳代	ゴミ拾い。
40歳代	休日の午前中30分程度を利用して、朝の清掃を行う。歩道のゴミ拾いなど。清掃作業後は飲料サービス。清掃区域は自治会で決める。回収したゴミ置き場なども決める。
50歳代	自治会、町内会をより活性化し、町内の人々の顔がわかるようにするそうすれば自然とマナーも良くなる。
50歳代	若い人のゴミのマナーは最低です。飲んだ缶やペットボトルを平気で捨てていき、もう少し若い人へのマナーを教えていかなければと思います。
50歳代	プランターの設置はよく考えて。かえって邪魔になって歩行の異妨げになる。
50歳代	春、夏、秋、冬の4回くらい地域清掃をする日をつくる。
50歳代	花いっぱい運動に賛同する。いたずらされて無残になることもあるが。
50歳代	地域での約束事をつくる。(他に同意見2名)
50歳代	自転車マナーの講習やペットを飼っている人のマナー(特に犬を飼っている人のマナーが悪いので)。きれいで安全な地域をつくっていかれたらと思います。
50歳代	コミュニケーションの場を多くもつ。
50歳代	ゴミポイ捨て禁止の条例をつくる。
50歳代	子どもに花を植えてもらう。街路樹の観察会を行って、名前を覚え自然に愛着がもてるようにする。
50歳代	個々人で自分の家の周りをきれいに心がける。
50歳代	禁煙と書いてある駅前にたばこの吸い殻がたくさん落ちている。道ばたにも。たばこを吸う人が最低限のマナーを守れるように約束事をつくって欲しい。
50歳代	行政が委託を受け、老後の副収入と地域に貢献できる仕事の起業企画を行う。
50歳代	犬の散歩などのマナーを守る、飼い主の意識を自覚して欲しい。住みよい地域、まちづくりの清掃活動が必要であり、ポイ捨て等ゴミは責任を持って片付ける意識が必要。
60歳代	小学生の登下校時の声かけ行いたい。町内会の時、声かけを気軽にしたい事を伝えている。
60歳代	ゴミ収集場所の充実、収集回収以外に捨てさせないための看板の設置。
60歳代	犬の散歩などマナーを守っていくよう、ポスターなどの運動を起こして欲しい。
60歳代	犬猫の糞尿の始末をしない人が多くて困っている。
70歳以上	礼節を守る地域の実現を。
70歳以上	礼儀を守ることは人と人が向き合う時の態度次第で相手の受け取り方は変わってくる。自ら明朗な気持ちで対応すれば、相手方の受入も良くなる。
70歳以上	花いっぱい運動をする。

70歳以上	狭い路地まで車が入るので落ち着いた気持ちであるけません。
年齢不明	ゴミの不法投棄の取り締まり。

根岸地区にあったらいいなと思う取組

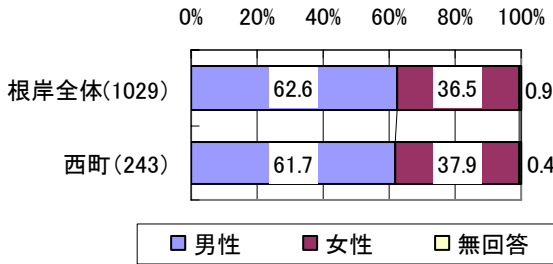
20歳代	マナーを守らない人がいるため、ゴミ出し場所に収集がきてももっていかないゴミがいつまでもある。少しずつでもなくなっていけば町もきれいになると思うので、取り組みがあればと思う。
20歳代	ベビー、子どもの情報紙が欲しい。無料で保育園、幼稚園、子育て交流名など地元の情報を生の声を。
20歳代	フリーマーケットの開催。
20歳代	一人暮らしだが、一人暮らしでもっと地域になじめるような機会をつくって欲しい。現在でもいろいろな活動があるが、実際何をやっているか、把握していないし、情報も入ってこない。たくさんの方が気軽に顔をだせるような活動を今後実行して欲しい。
20歳代	根岸地区のお祭り。各町毎に行っているため、規模が小さくおもしろくない。従って、近所づきあいがかなり狭い範囲でしかできていない。
20歳代	乳ガン検診を受けたいと思っていますが、補助の対象が40歳からなので、なかなか自費で受診しに行く気になれません。高齢者だけでなく若者の健康のことも配慮する取り組みを期待しています。
20歳代	外灯を増やして欲しい。空き巣対策に力を入れて欲しい。空き巣に入られ、外出が怖くてできなくなりました。色々参加したいのにできません。
20歳代	1～4の目標は抽象的でもっと具体的な目標を提示して欲しい。このような計画があったのも初めて知った。目標を実現するには根岸地区に住んでいる人がこの目標を認識していないと達成できない。一部の人だけで計画し、行動しても、意味がない。このアンケートの集計結果を根岸地区の人に連絡し、再度どうするか検討するのが良い。
20歳代	堀割川をもっときれいにしたい。ゴミすくいなどをもっとひんぱんに行う。交番に人がいるようにして欲しい。
30歳代	町内会の行事等が多い地域だと思う。病院マップみたいなものがあると便利。
30歳代	地区の広報など、なかなか手に入ることができない。全家庭に配って頂けると情報を入手できる。
40歳代	防犯をもっと強化して欲しい。公園などに(根岸中学校近くの公園)夜遅く子ども達がいるのですが、それで大丈夫か心配ですし、歩くのが怖いです。
40歳代	防災に関する取り組みが全く見えない。普段家にいないせいかもしれないが、大規模地震が発生した際の自衛消防や避難誘導及び補助(特に年寄り)、避難場所など正確な情報を常に開示し、必要に応じ、変更する活動があれば良いと思う。
40歳代	道路交通法が改正され原則歩道での自転車は通行できることになっているので、道路に自転車通行区域を整備して欲しい。歩きたばこによる歩道の汚れが目立つので、要所要所に喫煙スペースを設けて欲しい。
40歳代	上記のことを根岸地区に在住する全ての人に浸透させる。そのうえで、それぞれについて、こうしていこうと啓蒙することも必要。4つの柱は今回のアンケートで初めて知り、これ

	からどう浸透させていくかが大事である。
50歳代	私は根岸で生まれ小学3年まで育ちました。大人になり迷わず住居を根岸にした。他の土地に住みましたが、根岸に戻りたいと思いました。子どもの頃のたった10年ですが私にとって根岸は今まで暮らしたどの地域よりも暮らしやすく、故郷であるかもしれない。好きだから。現在は仕事も忙しく、何も協力できないが、この先何かに参加できればと思う。
50歳代	本人も人と上手く接することは下手だが、「気軽に」が必要。
50歳代	人と人とのふれあいの場が自然に設けられること。町会主催のレクリエーション行事。
50歳代	八幡橋の歩道橋をなくして信号を取り付けて欲しい。老人が渡りにくい。
50歳代	バザー、餅つき大会。
50歳代	根岸は森林公園に代表される緑も多いが、行政区分では森林公園は中区であり、根岸は工業的要素が強い。特に日石に代表される石油施設が多く、もっとこれら企業が緑拡大のために活動に参画して欲しい。
50歳代	通勤の方のたばこポイ捨ては考え物。それも立派な瀬人を着た熟年層に多いのが残念。熟年層のマナーの悪さは目に余る。歩いていると道を譲ることもなく、背を平気でぶつけてくる若者、熟年層が多い。
50歳代	人生を送る地域として、以上のことを行政サイドと地区がタイアップして推進していくため、有志からはじめて、全体へ波及させて行く必要がある。経済的平準化を意識の高揚を高め、笑顔のたえない地区としていきたい。
50歳代	健康診断。
60歳代	私は子ども夫婦、孫2人と5人暮らし。食事も一切くれず、金も一切ない。私も鬱病気味である。
60歳代	退職後の人をケアプラザなどで調理実習の会やカラオケの会などをつくってくれたら行ってみたい。
60歳代	住民一人ひとりが地区の一員として自覚を持って明るい街づくりに協力したい。町会会一丸となつての行動を期待する。
60歳代	災害時にわかりやすい避難場所の等のマップづくり。
60歳代	会社を退職後、何か小学校の役立つ事でもできれば。毎日とはいかないが、週に2～3回でも放課後運動場で遊んでやれたらと思っています。
60歳代	一般住宅の方とマンション住民との連携の強化。
70歳以上	道路交通法改正で自転車専用道路レーンの設定なしでは危なくて走れない。いつできるのか。歩行者も安心して歩けない。
70歳以上	友達がいない。
70歳以上	誰でも気軽に行ける大きなお風呂付きのお茶飲み場があったらと思う。
70歳以上	現在根岸地区には市議員が一人もいない。そこで月1回開かれる地区連町会に市議団の代表でもいいから、市会の状況を報告してもらいたい。さらにそこで地区要望事項があれば、それを市議団に報告の上、市会に活かしてもらいたい。

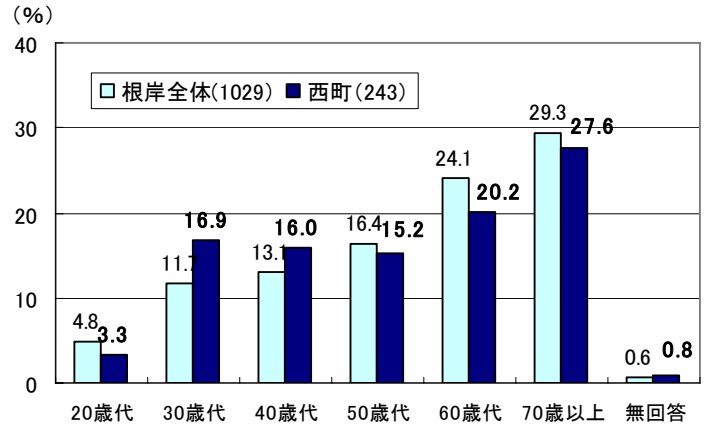
6. 西町

(1) 回答者の属性

図表 3-57 男女構成

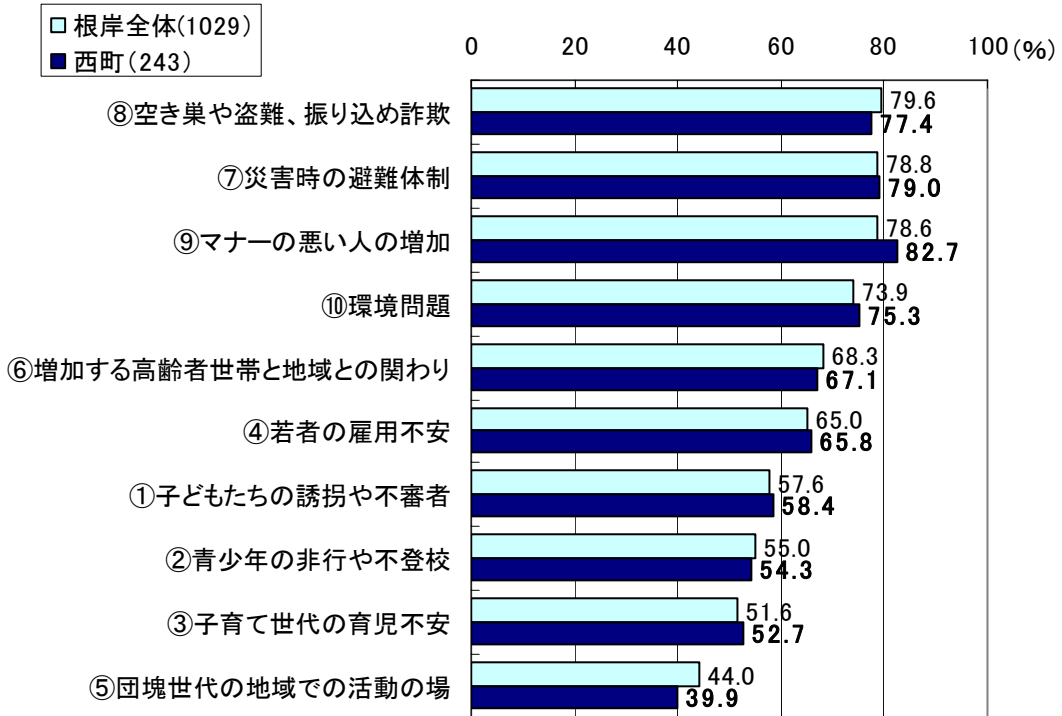


図表 3-58 年代構成



(2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

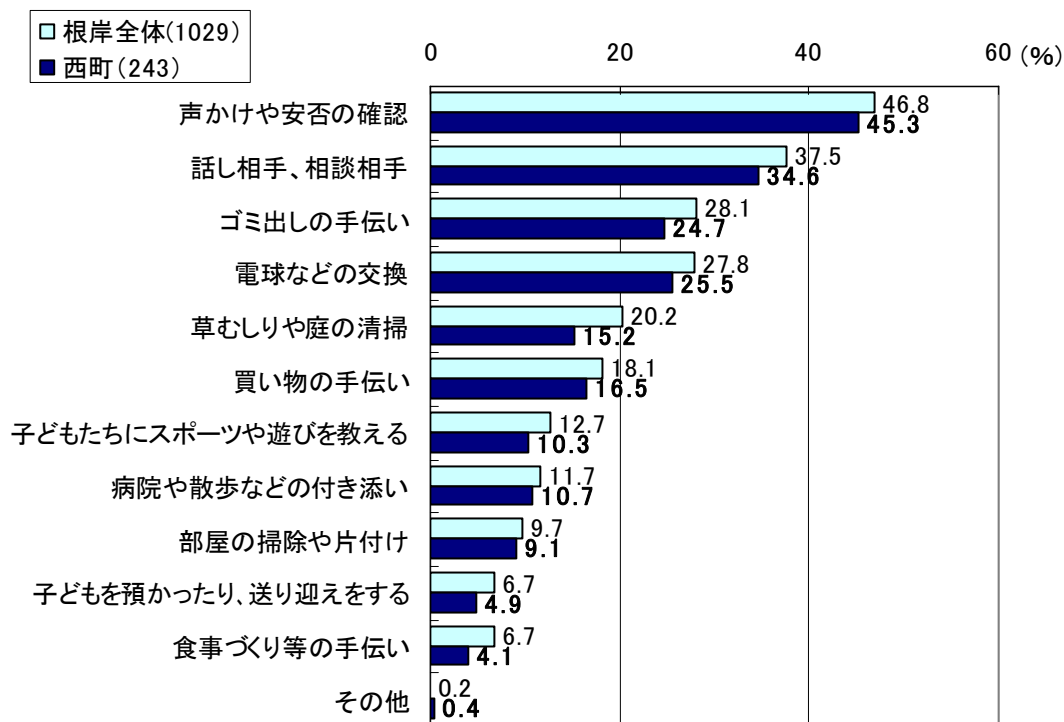
図表 3-59 地域で最近気になること(複数回答)





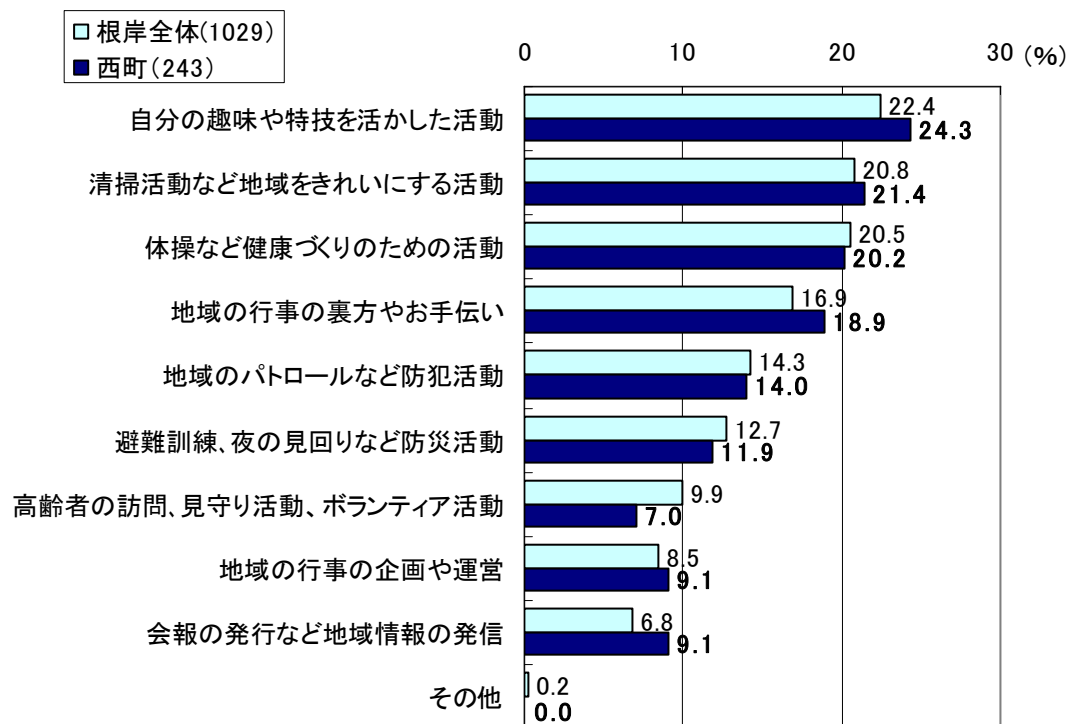
(3) 地域で協力できること

図表 3-60 地域で協力できること（複数回答）

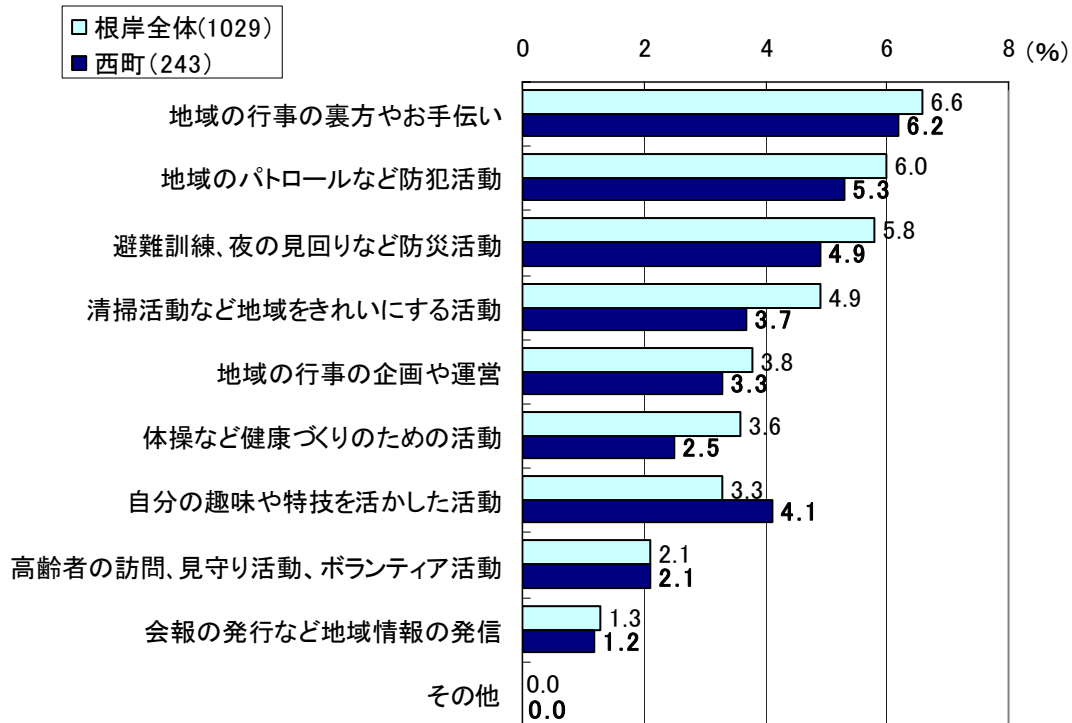


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-61 参加してみたい地域活動（複数回答）

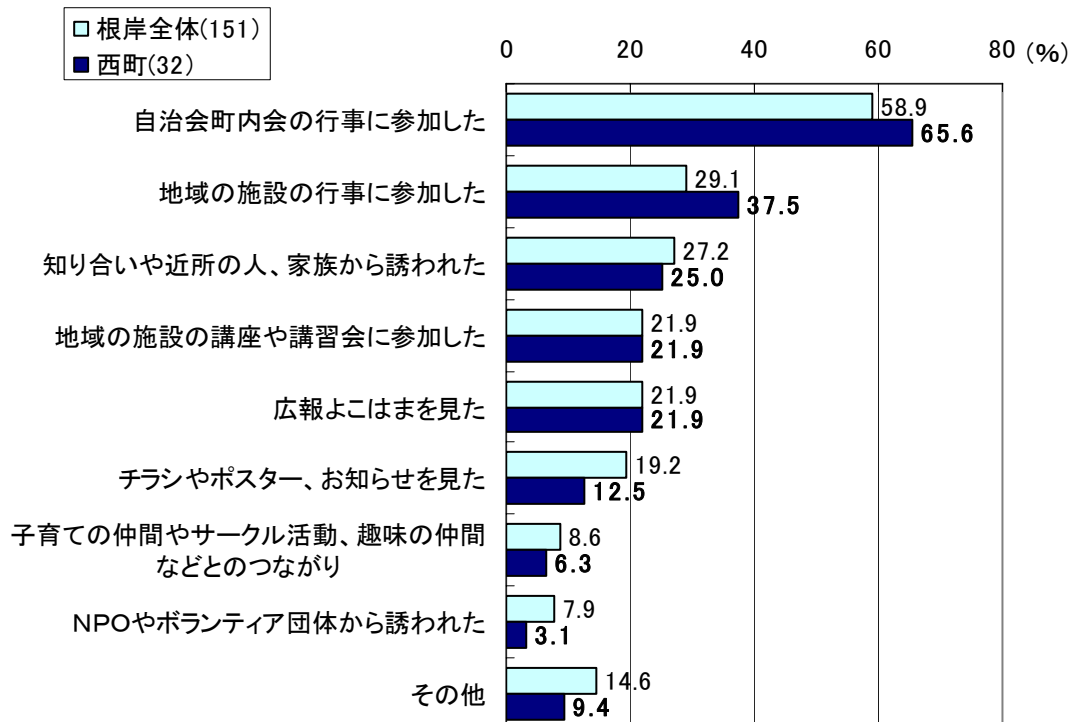


図表 3-62 すでに参加している地域活動（複数回答）



(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-63 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）

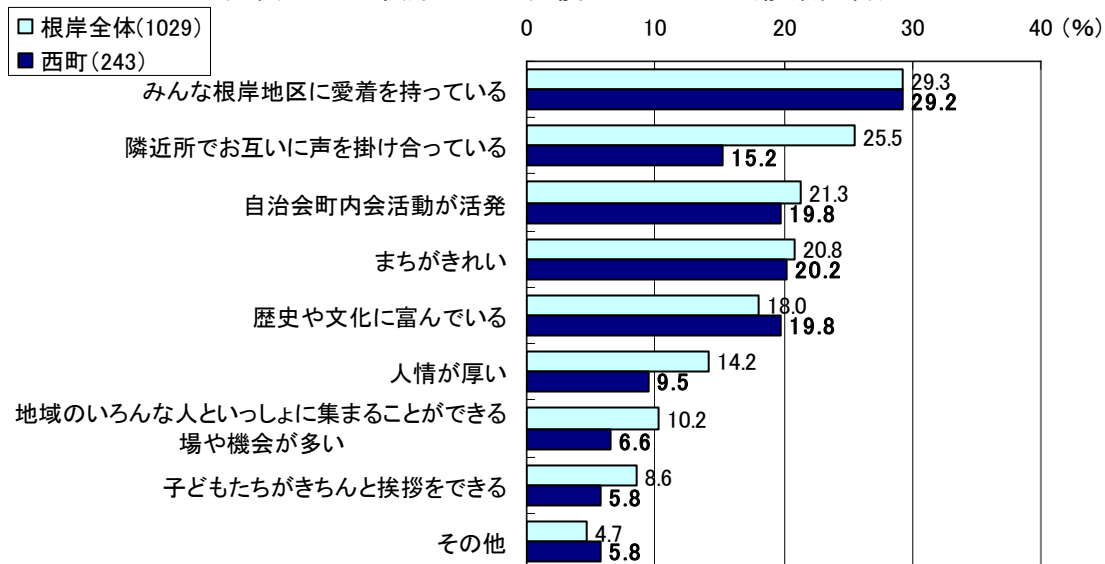


図表 3-64 地域活動の参加を進める条件（複数回答）



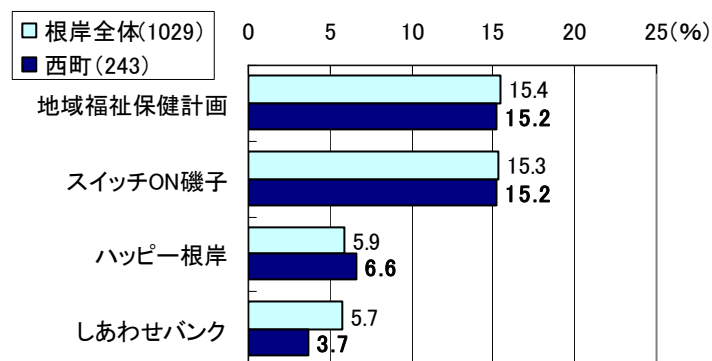
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-65 根岸地区で自慢できること（複数回答）

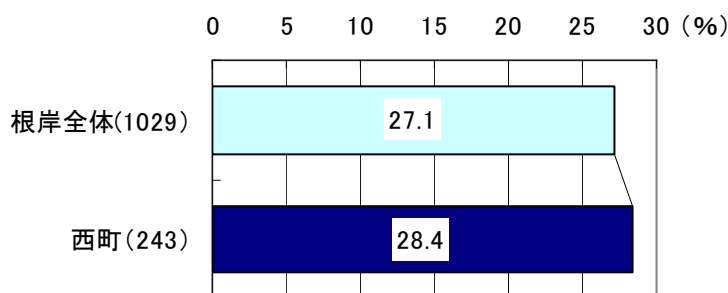


(7) 知っている言葉

図表 3-66 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-67 1つでも知っていると言った割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	暴走行為や深夜徘徊、非行行為を助けるような店(ドンキホーテなど)は時間規制すべき。
20歳代	0~2歳位の子も達とそのお母さん達に集ってもらい、幼稚園や保育園に通っているお母さん達を平日呼んで相談にのってもらおう。(直近の経験者ではないと聞けないことがあるので、区役所の人では聞けないこともたくさんあると思うから)
30歳代	ママ会、パパ会の充実。
30歳代	保育所を増やして欲しい。
30歳代	子どものマナー。
30歳代	子ども達の交流の場づくり、親御さんの相談にのる。
30歳代	子ども達との交流の場として季節のイベントを楽しめる機会が多いと良い。節分、七夕、ハロウィン、クリスマスなど。
30歳代	交流の場や機会を増やす。
30歳代	交流の場づくり
30歳代	行事バイト。
30歳代	学童保育の拡張と充実。働く母親のための子どもを安心して預けられるシステムの確立

	が必要なのでは。
30歳代	親のモラルを高める。
30歳代	親子そろってマナー教室に参加させる(バカな親が多すぎるため)。
30歳代	大人達が地域の子ども達に意識的に目を向けるようにする。気がついたことがあれば声をかける。
30歳代	大人達が子どもを見かけたら声かけをする(挨拶をする)。
30歳代	挨拶(笑顔で)。
40歳代	悪いことしたら注意できる人が増えると良い。隣近所で日頃から声かけが大人から子どもまでが普通にできる工夫。
40歳代	昔は叱ってくれる(褒めてくれる)大人がいたが、現在、へたに言うと、理不尽に逆ギレしたり、煙たがられたりするのではないかと、不安しかない。
40歳代	未就学児の集まりの場が少ないように思う。
40歳代	地域の小中学校と一体となって取り組む必要があると思う。
40歳代	子どもが自由に遊べる原っぱをつくる。
40歳代	子どもから犯罪を守るための対策。
40歳代	子供会を活性化し社会勉強できる機会を増やす。
40歳代	子育ての親御さんを教育しなくては駄目だと思う。親がなっていないとよい子は育たない。
40歳代	交流の場を設け、月に1度くらいは何かを行う。
50歳代	傍目には充分たりているように思えるが、まだ足りていないのかと疑問。
50歳代	地域のスポーツ活動を支援する。
50歳代	常識のあるお年寄りから話として、若い親御さん、子どもさんへ、生活、共存していく上での常識を身につけていただく場をつくる。モンスターペアレントをなくしていけたらいいと思う。
50歳代	自分のことで精一杯。
50歳代	児童保育の充実を図り職業を持つ親を支援する。図書館などの充実を図り、子ども達が学校以外で知識を取得できる場を広げる
50歳代	子どもの達の相談相手として親や先生以外に存在しても良いと思う。
50歳代	子ども達が自由に遊べる場所と環境づくりをもっとすべき。野球のキャッチボールができる場所が欲しい。
50歳代	子どもが病気になった時、夜間でも診察してもらえるところが近所にあったら良い。
50歳代	子供会の活動にボランティア活動を取り入れる。清掃活動などはまちをきれいにするだけでなく、ゴミをやたらに捨てない子どもに思う。高学年の子どもは施設でのお手伝いなど。レクリエーションの場だけでなく、皆で協力しあい、人の役に立っている、という気持ちが子どもを育てていく。
50歳代	子ども一親一町内一学校一政治家一店主などサークルをつくる。情報を共有できる場が欲しい。区のHPで閲覧する。
50歳代	子育て中の親の方と交流の場を設け相談等の機会とする。
50歳代	休日、学校の校庭開放や娯楽イベントなど、子どもが集まる場を数多くつくる。
50歳代	挨拶をすることを身につけるよう、大人から「おはよう」「こんばんは」を言う。

60歳代	無理。
60歳代	みんなで声をかけ合う。
60歳代	犯罪のない社会に力を入れることが大事。そのためにたてよこの連絡を密にする。明るい社会を目指してまず自分自身から襟を正して行おうと思う。
60歳代	少子化で子ども数が減少している。子どもたちだけで考えて遊ぶとき、必ず親が寄り添っている。もっと広い視野で遊び場を考える。
60歳代	就学前の子どもと退職したお年寄りとの交流でお互いに得るものはあると思う。
60歳代	子ども同士のいじめは悲しいことです。自分の子も他人の子も同じ様に愛を持って大人が接したいと思います。
60歳代	安心して子どもを産める基盤、病院、産後サポート。
60歳代	当たり前なことは取り上げない。参観でよい。
70歳以上	若いお母さん方にもっと学校教育に、先生に対する信頼感を持って欲しい。親の言動から子どもが先生を尊敬しなくなっている。
70歳以上	一人暮らし国民年金で接点無し。
70歳以上	小学生の集団登校をそれとなく見送る。特になにもしないが。
70歳以上	子どもの頃は道路、路地、空き地で遊んでいたが、今では公園、学校以外には遊ぶ場所がないのでかわいそう。自然と家の中でゲーム等に夢中になるのではないかと思う。
70歳以上	子ども達になるべく声をかけをする。危険なことは、しっかりいけないことと教える。
70歳以上	子ども達との交流の場づくり、子育て中の親御さんの相談にのる。
70歳以上	高齢者のため自分たちの事で精一杯。
70歳以上	機会があれば参加したい。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

20歳代	歩きやすい散歩コースを〇〇mごとに看板を立てたり、矢印で示したりすれば良い。
20歳代	ラジオ体操もそうですが、2ヶ月一度くらいの回数で、散歩会をする(歩け歩けなど)。
20歳代	スポーツのサークルをつくる。趣味や興味があう人同士で。
20歳代	散歩コース、ジョギングコース、季節の道などマップがあると良い。
30歳代	ファミリーウォーキング大会。お弁当、景品付き。なdp家族で楽しめるように。
30歳代	年配向けの講座や会が多いので例えばメタボ対策や30代も参加できる内容のものを増やして欲しい。
30歳代	年1回の健康診断の実施や予防接種の金銭的な補助。
30歳代	根岸森林公園までの道を整備する(みんなの公園に行きやすくする)。
30歳代	根岸近辺は道幅がせまいので散歩しにくい。道路整備をして頂きたい。
30歳代	スポーツ施設の充実(ジムやプール等)。
30歳代	旬の食材を使った簡単な料理のちらしをつくる。
30歳代	自由参加のストレッチ体操教室をつくる。
30歳代	広報誌に毎回散歩コース(名所、他の地域の人に自慢できるような場所)掲載する。
30歳代	健康に関する情報を提供する場を設ける、講演など。
30歳代	運動会。

30歳代	ウォーキングをするなら、たとえば草花の説明、解説をしてくれる人と一緒に歩く会とか、歴史や文化をめぐるMAPとか(もうあったらごめんなさい)。
40歳代	バリアフリーの地域を広げて欲しい。
40歳代	四季を通じて参加者を募って歩いて散策したりする。
40歳代	散歩コースをつくって、集う場をつくる。
40歳代	参加しやすい環境作づくり(年齢層別など)。
40歳代	公共のスポーツクラブをつくる。安い料金で使用できる。以前住んでいた地域では、スポーツクラブは昼間は年配の人ばかりで、お年寄りとの交流の場になっていた。そこで健康相談所などを設置しても良いかと思う。
40歳代	健康に関する施設を教える、示す。
40歳代	体を動かすこと。
40歳代	駅前等の歩道環境を良くし、散歩しやすい町にして欲しい。
40歳代	歩きやすい環境づくりから。
50歳代	歴史、名所コースマップ、年代別コース。
50歳代	ラジオ体操会を是非つくりたい。毎朝6:30からだ、場所と音響の問題あり。
50歳代	ラジオ体操(早朝公園で)は、参加したいので、いつも情報があればなと思っていた。
50歳代	一人でも気軽に集まれる健康づくりの場があると良い。
50歳代	地元の歴史を知ることができる散歩ルートを選定する。体力測定会を開催する。
50歳代	自分のことで精一杯。
50歳代	自転車と分離したウォーキング道路の設置。
50歳代	自転車が多く通るので、安心して歩けるような通りにして欲しい。
50歳代	高齢者のための健康教室を開催。参加してもらうためには情報の掲示、開催場所などの工夫が必要。
50歳代	体が不自由なので、マイペースで歩いています。散歩コースマップなんて不要です。
50歳代	海が近いので海に出られる場所があると良い。その散歩コースをつくる。川沿いでも良い。
50歳代	ウォークラリーなど。
50歳代	いくつかの散歩コースを整備し、PRのして健康づくりに役立てる。
60歳代	散歩コースのマップをつくることに大賛成。
60歳代	ラジオ体操の会は前から参加できる場所があればと思っていた。
60歳代	安い費用で利用できるアスレチック・ジムや室内プールがあるとよいと思います。
60歳代	杖を手に毎日散歩する人たちが増えている。生活道路も歩きやすく、美しい道にしてほしい。沿道の家にも協力を求め花や緑を増やして欲しい。
60歳代	地域ごとに祭りを行うことを増やす。
60歳代	散歩コースのマップを作ることに大賛成。
60歳代	散歩コースなど作成して欲しい。
60歳代	子どもと高齢者の交流の場。
60歳代	声かけかって散歩もしましょう。2~3人で。
60歳代	いろんな所をどこでも歩けるので、いらない。
60歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。

60歳代	60歳以上で1年以上継続しているスポーツ(ジム、水泳、ダンス等)があれば、継続していけるよう保補助金を支援する。
70歳以上	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。
70歳以上	ラジオ体操の会。
70歳以上	毎年、青少年指導員、体育指導員が歩く会を行っているが、都合が悪く参加できないことがある。
70歳以上	歩数計の着用、日毎に記録すれば増歩が楽しみ。コースは変化する。
70歳以上	根岸地区からは中、磯子、横浜中央の各図書館に敬老特別乗用証で直行できる。日替わりでの訪問は知的散歩となり得る。
70歳以上	テレビなどで常に座ってできる体操など紹介している。各自が心して自宅に居る時も身体を動かすよう努力して欲しい。
70歳以上	定期的に体力測定で自分の体力を知る。
70歳以上	散歩コースのマップは必要。
70歳以上	散歩コースのマップづくり。
70歳以上	結構なことだが、気配が地域で見かけられない。
70歳以上	車や排気ガスが多くてあまり散歩に適した道路がない。かえって健康を害する気がする。
70歳以上	歩きやすい散歩コースのマップをつくる。ラジオ体操の会をつくる。
70歳以上	歩きやすい散歩コース。

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

20歳代	小学生、中学生を中心に「声かけ挨拶隊」をつくり、街の人に挨拶をさせていく。けっして挨拶は恥ずかしいことではないことを教える。
20歳代	キャッチコピーみたいなものを小学生につくらせて、それを掲示する。
20歳代	赤ちゃん～高齢者まで集まれる時をつくる。
30歳代	のみの市やフリーマーケットがあると良い。
30歳代	町内会で多くの人が集まる。
30歳代	大規模な場所を借り切って、イベントを行う。例えば、磯子イベント月間、フードフェアなど。根岸森林公園ないしは根岸駅前のロータリーをその期間中閉鎖、バス停を移設し場所の確保を行う。
30歳代	交番の人の見回り強化と情報交換の充実。
30歳代	現在の日本の犯罪状況を見ると、気軽に知らない人と係わる事は危険をとまなうと思。
30歳代	近所でお祭りみたいなものがあったても、一部の人達だけが知っていて、一部の人達だけが参加しているだけ。まず、個人より地域ごとにもっと情報交換みたいなことをしないと。
30歳代	同じ地域に住む人間として挨拶や気づいた時に声をかける。
30歳代	朝の挨拶運動。
30歳代	挨拶ができない大人がたくさんいる。
40歳代	隣近所での声かけ、助け合いをしていく。
40歳代	町内会のあり方の見直し(マンション排除をあらためさせる)



40歳代	地域の企画をもっと増やす
40歳代	地域との関わりを密にする。
40歳代	近所の方を知らなさすぎる。
40歳代	気軽に集まれる集会所が必要ではないか。
50歳代	毎週でも毎月でも定めた日に集まりをもつ事はあっても良い。ただしこれも場所の問題あり。
50歳代	一人暮らしの高齢者をフォローする(食事、日常生活、病気など)しくみをつくる。町内会への参加意欲を高める施策を検討する。
50歳代	町内会での行事に参加。
50歳代	信頼できるコアとなるべき人が必要です。
50歳代	知り合いになるには集まれる場と情報の提示が必要。
50歳代	自分のことで精一杯。
50歳代	高齢者が気軽に集まれる場所があると良い。
50歳代	学校の空き教室を提供活用して、住民にもっと開放して欲しい。そこで地域合同住民研修を実施する。
50歳代	学校や公共の会議等で挨拶等をするように指導し、地域のコミュニケーションを向上させる。
50歳代	挨拶の習慣をつけるため、啓蒙活動を少しずつ地道に続けていくこと。モデル道路をつくり、「おはよう」から。
60歳代	声かけや挨拶を心がける。
60歳代	気軽に集まれるお茶飲み会を開く。
60歳代	祭り事を行う。
60歳代	ペットを通して初対面の人でも気軽に話ができることがよくある。犬猫が好き、花が好きなど共通の部分がある集まり(テーマ性)が参加しやすい。
60歳代	一人一人が自然、地域の人にいつも感謝の心を持って生活できればとても幸せなことだと思います。
60歳代	根岸を知ろう会、歩こう会等気軽に集まって行動できる機会を度々つくる。
60歳代	他人がとやかく言うことではない。
60歳代	小中高で幼稚園や介護施設の体験を教育プログラムに組む。
60歳代	高齢者が一人ぼっちにならない声かけをしてあげる。
60歳代	囲碁を趣味としており、地域の中で囲碁クラブをつくり交流ができると良いと思います。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。
70歳以上	老人会等、顔見知りの人たちのみが集まり、後から入り込めない雰囲気尾がある。
70歳以上	マンションの中で少人数ながら60歳以上が月一回お茶会を開いている。
70歳以上	茶のみ会。
70歳以上	趣味の同好会をつくる。
70歳以上	自分の周りを把握する。
70歳以上	現状、非常に希薄になっている。
70歳以上	大人だけでなく、子どもにも顔見知りの方に挨拶するようにしつければ、大きくなった時、他の人とのつながりが自然に備わってくる。

70歳以上	お茶飲み会があれば結構だと思うが、マンションが古い(S47建築)ので、高齢者は人の世話になるので、うるさいから挨拶だけ、という方が多いように思う。
70歳以上	お世話になるばかりでなく、後期高齢者でもできるボランティア等があると良いと思う。
70歳以上	笑顔で挨拶を。ご婦人やシニアにはいたわりを。
70歳以上	運動器具が用意されている。スポーツリーダーを派遣し指導する。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくろう

20歳代	ペットの糞は持ち帰りキレイな街に。
20歳代	たばこ喫煙場所の徹底、ルール、マナーを知らない人には恥ずかしいことを認識させるべき。
20歳代	子どもの頃のうちに、ゴミ拾いなどのボランティアに参加させ、ゴミを捨てなくさせるように教育する。
30歳代	見守り活動(集団で)。
30歳代	緑を多くする。
30歳代	マナーとは何か、から考える必要がある。
30歳代	暴走族の追放、清掃活動。
30歳代	分別ゴミ箱を設置し、ポイ捨て防止に繋げる。また分別についての説明書をゴミ箱に貼り付けて分別を向上させる、携帯灰皿を駅前で無料配布することで、ポイ捨て防止向上にも効果がある。
30歳代	パトロールなど、特に駅周辺に見回りをした方が良い。たばこの吸い殻が多い。
30歳代	根岸駅前や、駅近くのマンションの駐輪所に違法に無断駐輪していく不届きな人がいる。マナーを教える親や教師などに、(大人)にマナーの再教育する。
30歳代	根岸駅前の自転車の放置対策を考えて欲しい。駅前をたばこを歩きながら吸って投げ捨てる人が非常に多い。駅前ルールの徹底すべき。
30歳代	道路のゴミ置き場が汚いことがあるので気になる。道路上に置いておくと道路が汚れるのでできればゴミ置き場が別にあるといいのだが。
30歳代	できる人からまずゴミを減らすよう活動する。そうすることで意識していなかった人も少しずつ意識するようになるのではないか。
30歳代	ゴミを拾う。
30歳代	ゴミ収集所に分別マナーを呼びかける小学生、中学生が書いたポスターを設置する。
30歳代	ゴミ(ポイ)捨て禁止地区の設定。
30歳代	駅前の放置自転車の取り締まり強化。吸い殻、ゴミの清掃。
30歳代	歩きたばこは禁止。
40歳代	緑を増やす活動がまず必要。人の心を潤すことから始める。
40歳代	一人ひとりがポイ捨てをしない心がけ。公共の場を利用することの大切さを教える。
40歳代	根岸地区は特に緑が少ないので多くして欲しい。
40歳代	道路工事の方のマナーがよくない。昼間うるさすぎて迷惑でした。駅前の駐車が多すぎます。
40歳代	中学教育の強化。

40歳代	地域清掃を行う。
40歳代	犬を飼っている人に糞や尿の片付けを徹底するように回覧板や区のHPで呼びかける。街路樹のある街にする。
40歳代	歩きたばこ全面禁止。
50歳代	歩道を自転車が猛スピードをあげて走っている。人が前にいたらベルをならすこと、声をかけること、できない人車道を走って欲しい。ひやっとすることがたくさんある。
50歳代	根岸駅の公園で家の中で飼っている犬を散歩させているが、おしっこ、糞をそのまま放置している。必ず袋を持って散歩して欲しい。公園のポールも犬のおしっこがしみついて、せつかく公園のゴミも少なくなっても気持ちが悪い。やたらにおしっこをさせないで欲しい。夜、散歩させているようで注意もできない。
50歳代	道路のゴミを捨てないことを、一人一人に自覚させる、
50歳代	道路のゴミが多いので、ゴミ捨て禁止(特にプールセンターがオープンしているとき、駅までの間に飲食して捨ててしまう若者が多いようだ)。駅周辺の自転車の駐輪禁止を徹底する。罰金をとるくらいにしないと、なくなる。
50歳代	地域清掃日、担当地域運動、だれでも参加できる運動。
50歳代	地域清掃活動を定期的に行う？早朝ラジオ体操と組み合わせても良いのでは？
50歳代	タバコの歩行禁煙、自動車、自転車の交通マナーを向上させる(特に夕方の無灯火)。
50歳代	たばこのポイ捨て、歩きながらたばこを吸う等はペナルティを課す。
50歳代	早朝、根岸駅前・周辺掃除をしている人たちをもっと多くの人を知っていればマナーも向上する。
50歳代	自分のことで精一杯。
50歳代	ゴミの収集所をいつもきれいにしておくこと。ゴミ出しマナーを守る。
50歳代	戸建て、マンション、アパートに住む方が、ゴミの出し方について、話し合う場の環境を整える。
50歳代	区内の路上を禁煙とする。一家族一花コンテナ運動をする。
50歳代	江戸仕草と言われている江戸の庶民の気付き、他人への思いやりがいかに粋であるかの啓蒙活動必要。
50歳代	植え込みの花を多くして欲しい。せつかくの植え込みが壊されなくなっている。
60歳代	歩行喫煙禁止をより徹底するため、公営の自転車置き場周辺の係員や駅を取り締まる人も腕章をつけて協力して欲しい(特に駅周辺)。
60歳代	根岸地区(町)はゴミなども落ちていないしとてもきれいだと思います。希望の花々も美しく咲き、すてきだと思います(他の地区も同じだと思います)。
60歳代	地域の約束事をつくる。
60歳代	地域ごとに一斉清掃。根岸駅前の整備、自転車の違法駐輪、たばこ・ゴミのポイ捨て。
60歳代	タバコのポイ捨てが非常に多い、ゴミのポイ捨て、投げ込み、収集日無視、区として何らかの対策が必要。
60歳代	ゴミの分別、出す曜日を守る。ポイ捨てはしない。
60歳代	ゴミ出しマナーの悪さ改善。他地域の人がゴミを持ち込み捨てている。
60歳代	声をかけあう。
60歳代	花壇に花をつくるなど、大いに賛成。

60歳代	各自でやればいい。
60歳代	ゴミ出しが徹底していないのでゴミを置き去りにされる。自転車、オートバイなど粗大ゴミを置いて行かれる(夜に置いていく)。たばこの吸い殻を捨てていく。いろいろあり対策をつくって欲しいです。
70歳以上	マナーの悪い子どもに皆で注意しよう。
70歳以上	歩数4000歩、たばこの路上に250本のポイ捨て。
70歳以上	放置自転車(特に駅の周り)の対策。
70歳以上	花いっぱい運動は良いと思うが、参加できるかどうか。
70歳以上	花いっぱい運動に賛成。西区にアパートを持っているが、庭が広いので年間通して何かいつもは花が咲いているように心がけている。もうじき水仙が咲き、クロッカス、春は梅、チューリップ、ヒヤシンスなどが咲き続けアパートの住人は喜んでいる。
70歳以上	花いっぱい運動。
70歳以上	少しずつ長続きする「花いっぱい運動」を。
70歳以上	最近、コンビニで食べ物飲み物を買って歩きながら飲み食いして、道路に平気で捨てていく人がいる。マナーが悪いので困っている。
70歳以上	ゴミを道路に捨てない。特にたばこの吸い殻を捨てないこと。その点、当地はバス停などもきれいだと思う。
70歳以上	ゴミの収集場所には、網だけでなく柵などを設置し、きちんとした形にできればよいと思う。
70歳以上	ゴミ収集以外の日にゴミを出している人がいる。
70歳以上	車椅子を使用する道が他の歩行者のじゃまにならない道幅がある良い。
70歳以上	マンションで庭がないので何もできない。

**根岸地区にあったらいいなと思う取組**

20歳代	根岸になにか有名な名所ができれば良いと思う。全国から人が来るような。
20歳代	高齢者が安心して楽しく生きて行ける地域であって欲しいと思います。子供、高齢者とふれあえる何かを企画して欲しいです。
20歳代	喫煙注意隊、禁煙のルールを守れない人には声かけ駐輪、駐車違反は許さず声かけたい。
30歳代	ラジオ体操。安全安心なまちづくり。お互いに仲良く協力したい気持ち。高齢者とうまく行動したい。
30歳代	無断、違法駐輪自転車の強制撤去して欲しい。危ない。細い道路を走っているタクシーの運転手が横暴、注意して欲しい。(歩行者がいても突っ込んでくる。お年寄りが危険)
30歳代	マンションに住んでいます。当マンションは自治会を組織していません。全員参加でないと組織しづらい。何か良い方法はないか。
30歳代	マンションに住む人にはこのような情報がなかなか入ってきません。道にはりだされている掲示板を見るぐらいしかできないのは残念です。マンション住人にも情報がゆきわたるようにしてもらいたいです。
30歳代	付近に新しいマンションが多くなり住民も増えているのに根岸の駅前はずいぶん寂しいイメージ

	ジ。バスターミナルや学校もあるのでぜひ今後活性化につなげる取り組みがあってもよいのでは？
30歳代	幅広い年齢層の人が犬の散歩をしている。ドッグランのような場所があればそうした場を中心に人の和が繋がっていくのでは。きっかけがないと参加したいとは思わない人が多いのではないか。
30歳代	西町公園には分別ゴミのゴミ箱がある。地域の方がゴミ拾いをしていると何かで読んだことがある。ゴミ箱があった方がポイ捨てが減り、公園だけでなく町もきれいになると思う。
30歳代	地区センターなど、その施設に行かないと知ることができない情報があるよう思う。行われているイベント等も知らずに過ぎてしまうことが多いので、残念に思う。自分の特技(着付けなど)を活かして教室的なことをしたいと思うが、どうしたらよいか。
30歳代	スタバがあると良い。
30歳代	自分が好んで住んでいるので、清掃活動も気軽に参加できるサークルがあれば良い。エコ教室。
30歳代	災害時について、一応マニュアルはここ、みたいに公表されていると思うが、自分はたぶん、東京にすることが多く、たまにわからなくなる。この地域はここに逃げる、という、その地域だけのお知らせがあると、安心できる。
30歳代	子ども達と大人の交流を図るようなイベントがあったらと思う。
30歳代	広報は読まないし、地域の掲示板は利用しない、という人が大方だと思う。例えば、これから情報を携帯電話に配信するようなことがあれば、興味を持つ人も増え、コミュニティも盛んになると思う。
30歳代	健康講座。
30歳代	駅前の商店、公共施設の充実。地域のお祭り。
30歳代	犬を飼っている人たちによる散歩をしなごらの防犯パトロールを行う、また、一人暮らしのお年寄りの方への声かけを行うなど。
30歳代	いつも、車よりも自転車にひかれそうになるので根岸は歩きにくいなあと思います。あと夜は暗いところが多くて歩くのがこわいなあと思います。男性でもこわいと言っていました。
40歳代	普段、地域にいないので、根岸地区のことをもっと知る機会が欲しい。
40歳代	一人暮らしなのであまり地域の催し物には出ないし知らないこともあります。が、少なくとも暮らしにくいと感じたことはありません。「業業会館」でいろいろな催し物があったら(やれたら)よいのと思います。例えば、小さくともピアノのコンサートやちょっとしたお教室、講演会などです。お教室の講師を募ってみたりしてはいかがですか？多才な人は世の中たくさんいますので。絵画展、写真展なども。
40歳代	根岸駅近辺には都市銀行も大型の書店もスポーツクラブもビデオショップもCDショップもなく、不便さを感じる人が多いので、様々な施設の充実を希望する。
40歳代	小中学生の生活指導は日本一悪い。
40歳代	自治会に入っていないマンションは孤立していると思います(子ども等を通さないかぎり)。もっと働きかけてくだされば協力したいこともたくさんあるのに残念です。(マンションも自治会に入ると良いと思う)
40歳代	高齢化、災害といろいろな問題があるので、地域で協力し合い安心して暮らせる何か

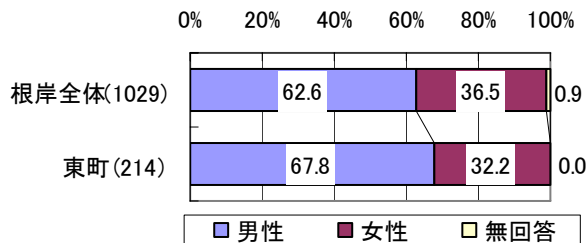
	あると良い。根岸地区用、災害マップとか、避難方法とか。インフルエンザ対策。
40歳代	季節ごとの行事を多く企画し参加者を募る。
50歳代	連合町内会で行事を増やすことと、みなさまが参加できるように呼びかける。
50歳代	緑をつくってはどうか。海岸線に近いので、少し難しいかも知れないが、公園に花や草木をボランティアで植えたら良いのではないか。
50歳代	年代を超えて集える場所があればと思う。高齢者が軽い体操をしたり、お茶を飲んだり、音楽を楽しんだり、という隣で学童保育や子供会のレクリエーションが行われている。まわりは花壇やミニ菜園で散歩も楽しめる、というような。運営は退職後のまだまだ元気な60代の方を中心にさせていただく。看護学校の跡地、くらいのスペースがあれば。ぜひ有効活用して欲しい。
50歳代	町内の人々などコミュニケーションできる安全安心な町づくりと情報できる環境があれば良いと思う。
50歳代	たばこを吸いながら歩いて、ポイ捨てをするし、道路に吸い殻がいっぱい落ちているので、吸い殻を容器また場所をつくるなどを考えて欲しい。
50歳代	自分のことで精一杯。
50歳代	ケアマネジャーの蓄積した情報や信頼を活用したネットを考えてはどうか。
50歳代	街路樹の図って欲しい。みどりゆたかな町に豊かな心が住み着く。
50歳代	駅前の自転車放置問題を解決させる方法を検討したい。
50歳代	犬猫を飼う時は、役所に登録制にして、その際マナー(糞の後始末など)を守ろう、誓約書等を書かせ、違反が多い場合はペナルティを課す。
60歳代	銀行の誘致をお願いしたい。根岸駅には少しは離れた神奈銀しかない。
60歳代	老人＝無力とは考えず、子ども達の未来のために老人力が発揮できる場があったよと思う。少子化を怖れることより、今いる老人の命を最後まで使い切らせるシステムがあったら最高。
60歳代	福祉などの相談室があればと思う。
60歳代	根岸地区なんでも相談所の開設。
60歳代	根岸駅前に飲み屋(居酒屋)が増え、道路にまで店を出し「場末の街」化。規制はないでしょう。違法駐車(人道の半分をふさぐ)で歩くのに車道を通らなくてはならなく、危険。
60歳代	地区内のお手伝いもしたいが、母が96歳で県外に通うことが多く、今は無理です。
60歳代	森林公園に行きやすいルートづくり。現在は階段、痴漢の危険。
60歳代	下の「ことばの説明」で「4しあわせバンク」、これは是非進めて欲しいですね。
60歳代	ゴミ捨て粗大ゴミの出し方は、今のやり方は老人には大変です。曜日を決定後その場で回収資金を受け取る方法にして欲しい。
60歳代	公園をさらに使いやすくして欲しい。清掃してくれるのはよいが、私物化傾向も感じられる。ゲートボール物置が3つ4つと増え、景観を損ね、公園が狭くなっていく。陰で立ち小便している高齢者も何回かみかけ、不衛生。トイレの設置が必要。
60歳代	磯子まつりのような行事を多くもつ。バザーなどを盛んに行う。
60歳代	当たり前が多すぎる。もっとプライドを向上させ次元を高く。役所はポイントだけでよいが、促進徹底が必要。理念と熱意と正確を射ることが大事。手を出しすぎる。人間は人として失格者をつくらないようにすること。最低、衣食住の備えは必要。

60歳代	60歳以上が安心してお風呂に入れるところ。
70歳以上	私は75歳、若かったら何でもやりたい。
70歳以上	老人会に運動部を追加。スポーツに参加。指導にあたり多数の参加を進める。
70歳以上	要支援、要介護者の家族が倒れたときの心配の解決できるところが欲しい。
70歳以上	夫婦二人で暮らしており自治会費を年間3000円×2人で6000円払っていた。区役所に問い合わせをしたら1世帯分で良いと言われ、H21年からは3000円になった。私も知らなかったが、自治会長は気が付かなかったのか。45,000円返してもらえば、という人もいるが遅すぎた。腹立たしく思っている。自治会が任意であることを知らない人もいる。脱会を考えている。
70歳以上	西口公園をもっと活用してください。
70歳以上	巡礼も楽しい。
70歳以上	自動車事故に遭い体が不自由。週1回のプールウォーキングコース、脳体操を続けている。
70歳以上	市営バスの滝頭車庫と根岸間の根岸疎開道路に回送車が多い。車の混雑と道路保護のためにも運転手の交代を滝頭車庫とする(JRの運転区と同じ)。
70歳以上	昨年、当地に引っ越してきた老夫婦です。食事の用意(家内分)など相談するところがあれば幸甚です。
70歳以上	現在夫婦二人でマンションで静かに暮らしている。地区センターで老人のために何かできるのか？
70歳以上	家庭教育研究所に席を置いている。これから家庭教育が最も必要だと思う。
70歳以上	回答しにくい。設問項目の整合性を研究して欲しい。
70歳以上	磯子区の区花コスモスの種などを配布したらどうか。庭がなくても、プランターで育つので、どこの家でもコスモスが咲いていたら、すてきなと思う。花に水をやるという習慣も大切。
70歳以上	医者にかかりつけない元気な高齢者が、急に体調が悪くなった場合の相談先があると安心して暮らせると思う(地域の開票医の名前、電話、パンフレット等)。
70歳以上	安全でルールを守る町づくり。
70歳以上	「健康でいきいき暮らそう」に書いた「図書館めぐりの会」を発足させつのも一策か。各図書館に5年ほど以前から退職後の人々が多い。

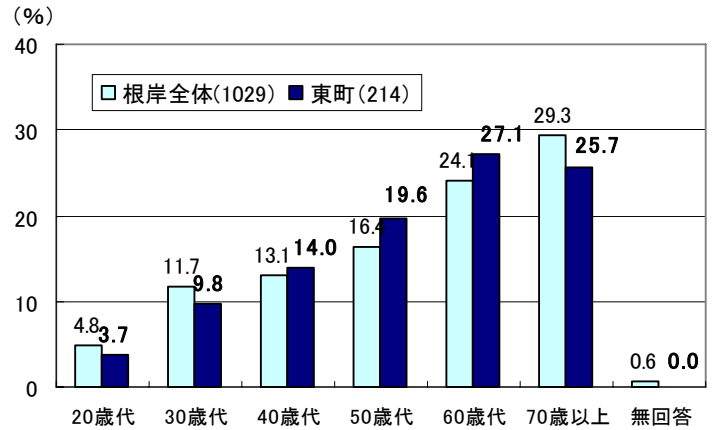
7. 東町

(1) 回答者の属性

図表 3-68 男女構成

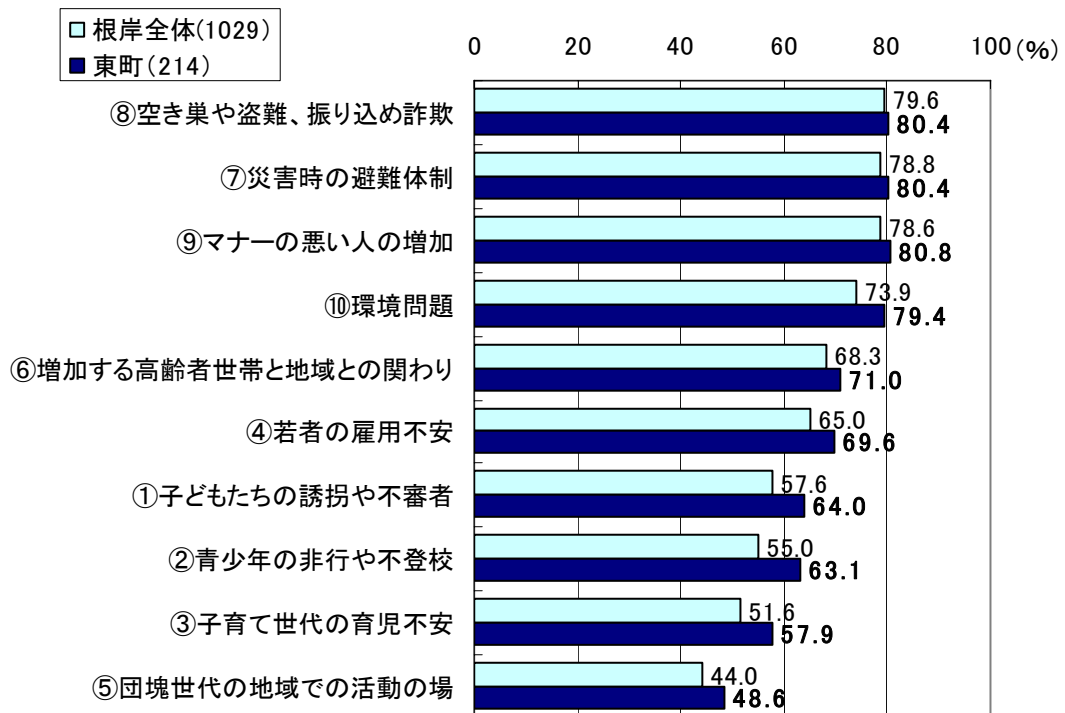


図表 3-69 年代構成



(2) 地域で気になること (大変気になる+やや気になる)

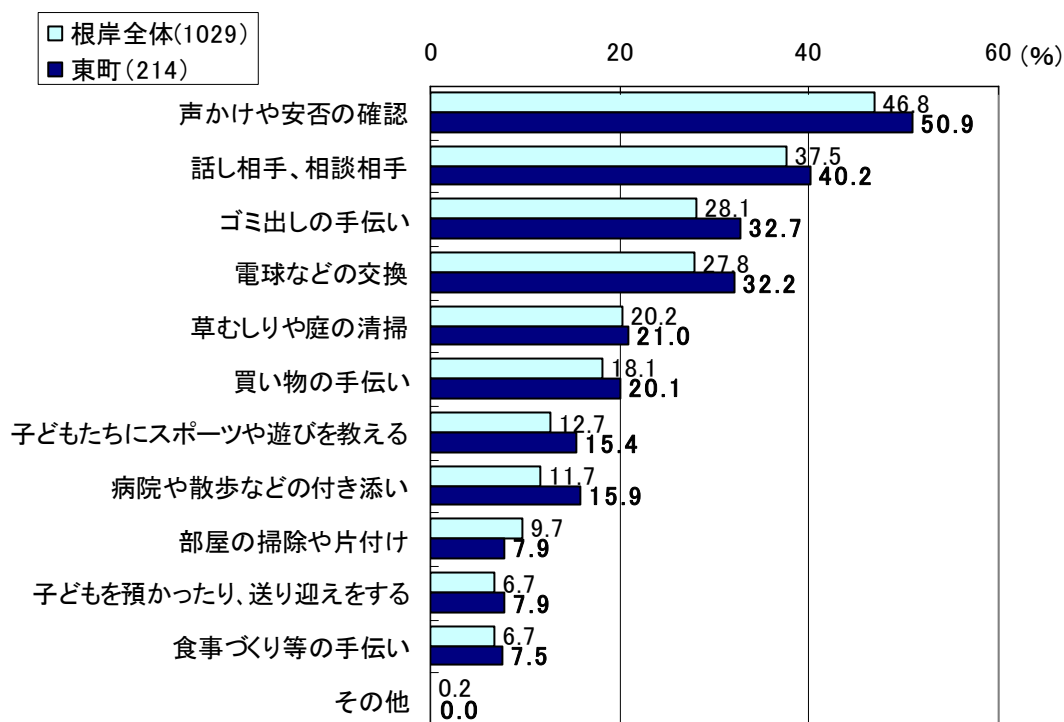
図表 3-70 地域で最近気になること (複数回答)





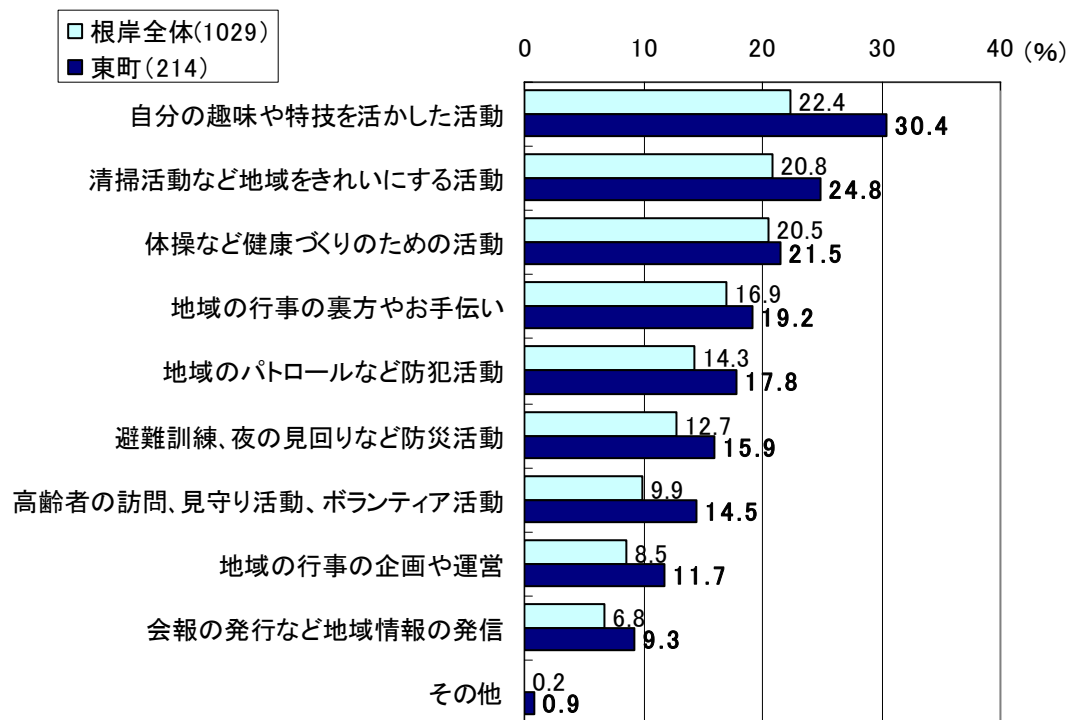
(3) 地域で協力できること

図表 3-71 地域で協力できること（複数回答）

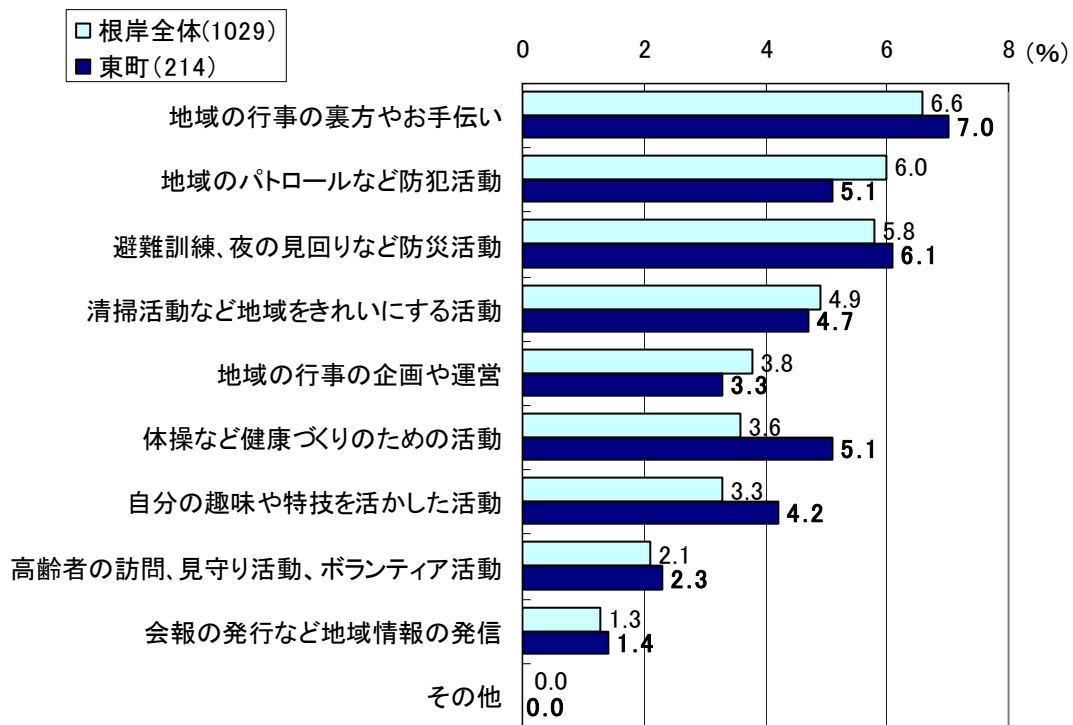


(4) 参加してみたい地域活動、すでに参加している活動

図表 3-72 参加してみたい地域活動（複数回答）

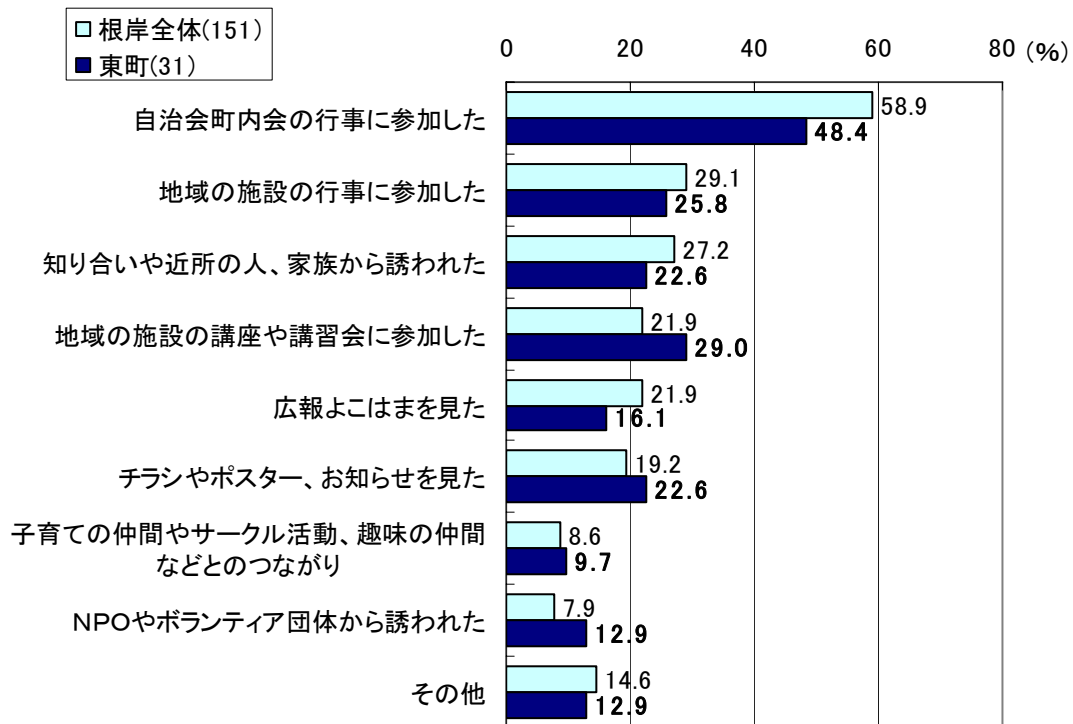


図表 3-73 すでに参加している地域活動（複数回答）

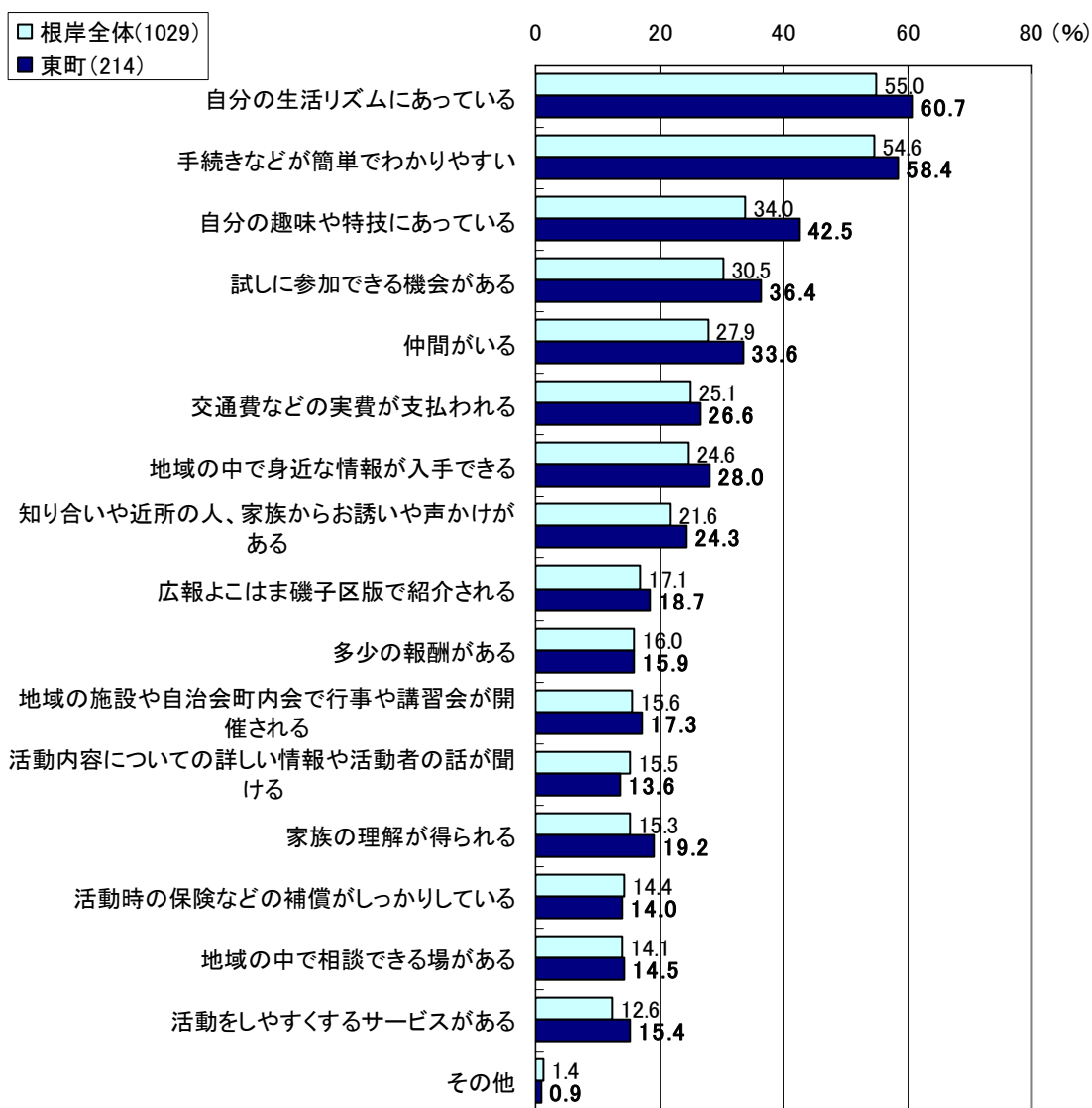


(5) 地域活動に参加したきっかけ、地域活動の参加を進める条件

図表 3-74 地域活動に参加したきっかけ（複数回答）

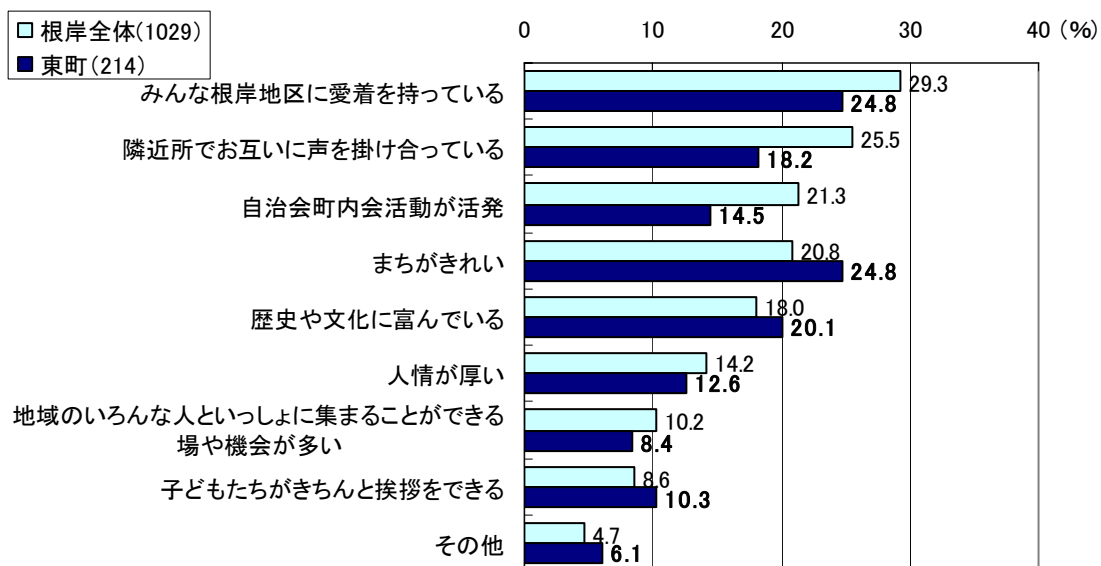


図表 3-75 地域活動の参加を進める条件（複数回答）



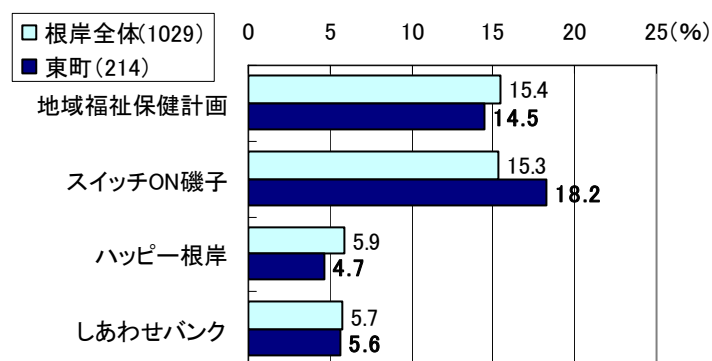
(6) 根岸地区で自慢できること

図表 3-76 根岸地区で自慢できること（複数回答）

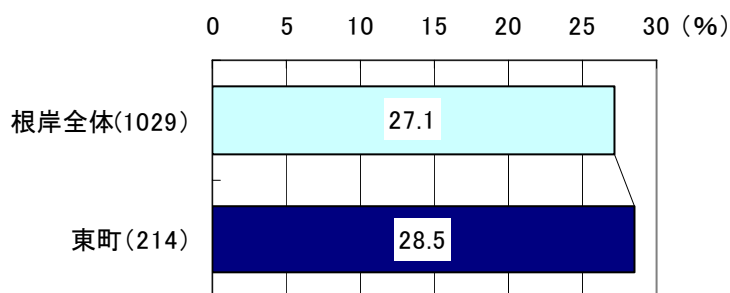


(7) 知っている言葉

図表 3-77 知っている言葉 (複数回答)



図表 3-78 1つでも知っている回答した割合



(8) 根岸地区の計画や課題、提案に関する自由記述

1. 根岸の子どもを守り育て、地域の子育てを考えよう

20歳代	街灯を増やす。
20歳代	大人がまず挨拶や歩きたばこをしないなど、マナーとエチケットを心がける。
20歳代	イベントを増やす。
30歳代	放課後～家族が帰宅するまでの場所の提供がいつでもできるといいなど考える。
30歳代	保育園等子どもを安心して預けられる場所を増やして欲しい。
30歳代	仕事を持つ母親や母子・父子家庭等に対する援助システムをつくる。有料でも可。
30歳代	子どもの防犯を考えて欲しい。子どもが安心して遊べる場所が少なく、公園へ行ってもトイレが無くて女の子は遊ぶ場所がない。
30歳代	子ども支援施策の充実。預ける保育の充実。
30歳代	子育てをするにあたり、相談の場や親同士の交流の場があると心強い。
30歳代	子育てしやすい制度づくり。金銭の補助や子どもを預かってくれるところの整備。
30歳代	子育てサークルや子育て施設の情報をもっと欲しい。
30歳代	お祭り等たくさんの方が参加できる場をつくって欲しい。
40歳代	母親の子どもへの片寄り、子ども中心過ぎることを話す。

40歳代	根岸地区に学童をつくって欲しい。
40歳代	最近の親の道徳ができてないから無理。
40歳代	子どもが元気に安全で遊べる場所をつくる(プレイパークなど)。
40歳代	子供会の加入率を上げましょう。町をあげてお祭りをしましょう。
40歳代	高齢者と子どもとの繋がりを増やせる施設(行事ではなく)、保育所と老人ホーム両方が一緒にいられる場をつくって欲しい。
40歳代	公共の場でマナーの悪い子(大人もですが)がいれば注意できるようにする。
40歳代	警察の方が子ども安全をまじめに考えていただきたい。学校周辺、通学路周辺の見回りを毎日やっていただきたい。
40歳代	学校の行事にできるだけ参加し、子どもたちに声をかける。
40歳代	学校参観に地区の人が気軽に参加できるシステム。地区にある学校の先生、生徒の実情、現状を周りの大人が監視しなければまち全体がよくなる。
40歳代	学童保育の充実。星の子キッズが閉所となるが、磯子クラブまでは遠く、駅の周辺で学童保育を行って欲しい。
40歳代	学童保育がないのが大変困った。
50歳代	リタイアした人たちと子ども達が歩道の雑草をきれいな花壇にする。
50歳代	根岸のホームページ等に「子育て相談窓口」をつくって、チャット形式でみんなで書き込んだものはどうか。若い人はその方が参加しやすいと思う。
50歳代	先日滝頭へ行った折、小学生の列に出会いました。「オハヨウゴザイマス」と挨拶されました。見知らぬ私に声をとビックリしましたが、とても気持ちの良い思いで私も思わず「オハヨウゴザイマス」と返してしまいました。この様に挨拶ができる子供が少なくなった気がします。悲しい事件のある世の中でもあります。小学生の頃からのきちんとした挨拶を身につけてほしいと思いました。
50歳代	知らない子どもであっても、見守る。
50歳代	子供に努力を教える。
50歳代	子供がお年寄りの皆さんの交流の場をつくる。
50歳代	子供会の活動、老人会とのタイアップ。
50歳代	子供会と老人会の交流。親子で気軽に参加できて遊べる場所。
50歳代	下校時の防犯パトロールの強化(腕章着用)。
50歳代	気軽に集まり情報交換できる集会所。
50歳代	活動の場に参加する。
50歳代	エレベーターに乗っているのだが、きちんと挨拶する小学生が一人います。とても気持ちがいいので、不審者と区別しながらそういう子どもが増えて欲しいと思っています。
60歳代	まずは挨拶と思い登下校のマンションの子ども達に声をかけています。
60歳代	盆踊り、縁日、年1回の森林公園でのイベントの開催。
60歳代	放課後、学校の校庭を開放。年代を超えて交流させる(接触させる)。
60歳代	保育所などの施設の充実。
60歳代	保育園への援助。
60歳代	登下校時の挨拶。ことから「おはよう」と声かけすると、一部返ってくることもあるが、子ども達からはしない。

60歳代	通学時、下校時が心配なので、チームで守るのも良い。
60歳代	相談にすればやるが、自分からはやらない。
60歳代	自治会等で子どもが参加する行事がたくさんあるのに、参加者が少ない。親がまず、積極的に参加を勧めること。
60歳代	子どもと一緒に絵を描く(写生会)場を持つ。子どもと一緒にetcする場をつくる。
60歳代	子ども達との交流の場や機会を増やす。地区運動会、歩く会など。
60歳代	子ども達との交流の場がない。子ども達との物作りや触れ合いの場が欲しい。
60歳代	子ども達と年寄りが交流できる機会(場)を設けること。
60歳代	声かけ。
60歳代	交流の場がなさすぎる。あまり関心がない。
60歳代	公園や広場の活用方法が必要。
60歳代	きれいなまちを守るため、地区毎に曜日を決めて清掃などする。
60歳代	親や子ども達の相談にのる。
60歳代	安心して遊べる施設の拡充。子ども達の年齢を越えた縦のつながりのサークルをつくる。
70歳以上	マナーを守って子育て中の親御さんや子ども達の相談にのる。
70歳以上	次の世代を引き継ぐ大事な人達です。全員で見守り助成しよう。
70歳以上	子ども達が安心して自由に遊べる場があるとよいと思います。
70歳以上	子供会の活動を活発にする。育児サークルをつくる。
70歳以上	子育て中の親と高齢者とのふれあい。
70歳以上	現在の教育体制、教育に対する発想が、学歴偏重、偏差値重視で本当に伸び伸びと才能を伸ばす思想や仕組みができていないように感じます。国レベル～県レベルのところから直さねばなりません。そのような市民活動が必要です。
70歳以上	基本的な常識は家庭で。
70歳以上	お互い日常の挨拶はマナーの初歩であり守りたいです。
70歳以上	遊ぶところを増やす。
70歳以上	赤ちゃんに対しての対応(病気、育児等)。仲間と話し合いを持つ場(機会)づくり。
70歳以上	挨拶をしよう。

## 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

20歳代	歴史を巡るマップ。
20歳代	騒音や公害などを減らす。特にJR貨物の騒音。
20歳代	飲食店が健康で楽しい意識になること。食品が大事。
30歳代	歩きやすい散歩コースのマップをつくって欲しい。
30歳代	地域で有資格者(栄養士、薬剤師、看護師、ドクターなど)によるアドバイスが受けられる場をつくる。
30歳代	健康は心から、もっと話ができる近所づくりを！あまえる事も必要、イコール助け合い。
30歳代	新しい滝頭公園のようにツイスト運動の物や健康遊具があって欲しい。
40歳代	根岸にはスポーツセンターがない。どこかのマンションの中でも、スポーツクラブを入居さ

	せるなど、高齢者から子どもまで利用できるものが欲しい。
40歳代	とにかく外へ出る。マンションの場合、あいているスペースにベンチを置く。エレベーターの前など。
40歳代	森林公園散歩の会をつくる。現地集合・解散。
40歳代	自転車専用の通行路をつくって欲しい。
40歳代	散歩コース、ウォーキングコース、マップをつくることは良いと思う。
40歳代	健康診断(がん検診も含む)が保健所で行えるようにする。
40歳代	禁煙。日々お祈りをする。朝食の会をつくる。みんなで集まってご飯をつくる。ヘルシーな朝ご飯を。
40歳代	休日等に気軽に使えるスポーツ施設や散歩が安全にできるとよい。
40歳代	朝の時間の過ごし方。どこまで行き、どう帰るとどれくらいの時間が必要か、知らせる。
40歳代	歩きやすい散歩コースのマップはお金がかかるわりに効果がないので反対。
50歳代	休みの日でなければ早く起きる。
50歳代	街の美化と緑化を計画的に。外に出やすくする。
50歳代	福祉関係の会社、ヘルパーの会社がどこにどのような機能の会社があるのか知らせて欲しい。
50歳代	小さな団体の活動を応援する。
50歳代	太極拳の会をつくって中国のようなことをする。散歩コースのマップをつくることに大賛成。
50歳代	自転車と歩道を区別して両方が安全に使える公園。または道路をつくる。
50歳代	高齢者向けのスポーツチーム設立を奨励する。例えば野球、サッカーなど。
50歳代	高齢者にも働く場と収入を得、自活を促す社会の提供。
50歳代	気軽に受けられる検診、スーパーの片隅でも血圧や検診が受けられる等。
50歳代	体に合う食材を使った料理の紹介(パンフレット、インターネット)。
50歳代	歩こう会のクラブをつくる。
60歳代	ラジオ体操の会。
60歳代	目的も持たせることが重要。
60歳代	無理のない安全な散歩コースのマップをつくる。
60歳代	自ら散歩コースなどは工夫することが大切。健康づくりはまず自分自身の意志が必要だと思う。
60歳代	毎日1万歩くよう、コースを変えて一人で歩いている。
60歳代	ハイキング、料理づくり。
60歳代	日曜日の休みの日には森林公園に出かけるように、催しなど考えていただきたい。
60歳代	月に一度でも集まって体操などをする。
60歳代	他人に相談することではない。自分で自覚を持てば良い。
60歳代	太極拳の会をつくること。老若男女、指導したいと思う。
60歳代	森林公園、山頂公園等すばらしい公園を使って歩こう会を定期的に催す。
60歳代	初級、中級、ベテランに合ったハイキングコースのマップをつくる。季節にあったマップも良いかも。ウォーキングウォーキングウォーキング
60歳代	自転車道の確保。

60歳代	散歩マップ。
60歳代	散歩コースにときどき休めるベンチなどを多くつくる。ぼけ防止についての情報が欲しい。
60歳代	散歩コース、老人でも行けるスイミングスクール。
60歳代	コースづくりよりも街中をきれいにすることが先決。4項を行ってもらえば、ウォーキングをする気にもなります。予算も不用と思います。
60歳代	健康管理の指導(行政指導)。
60歳代	車や視点者が多く、細い道は恐くて一人では歩けず、安心して歩ける散歩コースはほとんどない。特に自転車のマナー向上、規制の強化に努めて欲しい。
60歳代	気軽に運動ができるサークルをつくる。ラジオ体操、ウォーキング。
60歳代	各地区のサークル同士の交流。スポーツクラブの拡充。
60歳代	外出を促すようなイベントの企画。
60歳代	ウォーキングコースの設定、コース案内等パンフレットを配布する。
60歳代	66歳を超えて健康に十分気をつけている。
70歳以上	ラジオ体操の会をつくる。
70歳以上	歩道の整備を散歩コースのマップをつくって欲しい。歩いてつまずかないよう、でこぼこをできるだけなくすようにして欲しい。
70歳以上	年齢層に合った講座や会合。
70歳以上	根岸駅前地域には集まれる公園等の場所がない。市役所の单身寮と倉庫の跡地も自立支援等建物になって残念。体操の会をつくってもどこまでやりますか。
70歳以上	趣味の会(コーラス、書道など)の参加を呼びかける。
70歳以上	歩きやすい散歩コースのマップをつくることに賛成。
70歳以上	健康づくりの場をつくる。
70歳以上	健康食事の講習会。近隣の場所で楽しい食事会を開催(1ヶ月に1回くらい)。
70歳以上	関西での生活が長かったので、こちらへ来てからは何でも一人で考えるようにしている。散歩コースのマップ、ラジオ体操の会、良いと思う。
70歳以上	多くの人が生活に精一杯の感じですが、それでもウォーキング等の実施が地についてきた感じですが。
70歳以上	運動しやすいところ。
70歳以上	歩く会をつくろう。多数参加できるよう簡単な体を動かす体操会。
70歳以上	歩きやすく危険でない場所の散歩コースなど良いと思う。マップ賛成。

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

20歳代	挨拶をする。
20歳代	SNSを活用する。
30歳代	地区センターは遠すぎて(根岸駅から)利用しづらい。近くにあると良い。
30歳代	だれでも気軽に集まれる場所をつくる。
30歳代	近所の方や活動の場でのあいさつ、声かけをする。
30歳代	いろいろなジャンルの趣味の教室が実費程度の参加費で開催されれば、あらゆる年代



	の方と知り合いになる機会になると思うし、参加しやすい。地域の高齢者から教えてもらう料理、手芸など。
40歳代	挨拶を心がける。
40歳代	やはり挨拶や声かけは大事だと思う。
40歳代	本の貸し出しの場をつくる。リサイクル、物々交換。
40歳代	子どもと高齢者が交流する機会を学校ぐるみで開催して欲しい。老人会との交流、老人ホームの慰問など。
40歳代	高齢者もメールの時代なので小学校のように地域のお知らせメールを発信するのも良いかと思う。
40歳代	核家族には子どもが、長く住むには高齢者が居る家ばかり。高齢者と子どもの両方がうまく一緒にいられる場があれば、いろいろな面でメリットある。高齢者の健康と子どもの安全。
40歳代	お祭りなどの行事を増やす。
40歳代	大人の心がけができる対応。ボランティアをやってやっているのだ、というのはダメ。高齢者の声かけや買い物の手助けについて。小学校、中学校、高校において、お手伝い係やボランティア部などをつくり(本来ならば生徒の方から声かけがあると良いのだが)、学生に高齢者の声かけや電球の交換、買い物の配送などをやってもらう。大人の自閉症らしき人について。何度かそのような人に追いかけている人を見かけたり、助けを求められたりしたことがあった。どうにかならないものか。
40歳代	挨拶の励行。
40歳代	1と同様、学校、子ども達を通じて地域の人をまず知る事が第一ステップ。学校参観日への自由参加がきっかけになると思う。
50歳代	防災対策として高齢者のお宅を訪問し、家電製品の安全説明を強化する。
50歳代	働き盛りの人達にも参加してもらえるイベントをつくる。
50歳代	助け合う町づくりは、県・市・区議会議員、県・市・区役所職員の意識を改善することがまず重要課題である。
50歳代	子どもたち、若いお母さん方とふれあえるところがあると良い。
50歳代	声を出して挨拶しないまでも、見知らぬ人にも会釈する程度の心の余裕が欲しいものです。
50歳代	お茶飲み会を開く。
50歳代	駅、学校などの近くで子どもを見守る。
50歳代	いろんなサークルの活動、推進。
50歳代	今は仕事中心の生活で、マンションの管理組合に参加するくらいしか余裕がないが、将来的には地域活動にも目をむけなくてはならないと思っています。
50歳代	挨拶を心がける。
60歳代	道ばたで困った人に声をかける。高齢者と信号を何気なく一緒に渡る。
60歳代	マンション住まいだが、当マンションはいつも挨拶ができています。
60歳代	まず、近所の住民に会った時の挨拶を基本とする。
60歳代	古い街で昔からの人が多い割には自分のことだけ、という高齢者が多いような気がする。。

60歳代	古い地域での交流は良いが、新しいところでの隣近所の交流は難しい。プライバシーがあるため。少し離れたところにおいてボランティアを望む。
60歳代	引っ越してまだなので、前の町内の友人と楽しんでいる。
60歳代	友達の友達はみな友達、役員の人が身近な人を誘い地域活動に誘う。
60歳代	どういう集まりがあるのか、自分でも参加できるか、PRして欲しい。
60歳代	電気製品を量販店で購入してきたためちょっとしたトラブルに困っています。近くに猫の手のような場所があったら便利です。
60歳代	大事な事です。挨拶もそうです。いろいろな事件が多いのでご近所の方とお茶会をできれば良いと思います。
60歳代	自分が心がけても対応しない人がいるのでいやになる。
60歳代	声かけや挨拶、知らない人に対しても思いやりを持つ。障害者や高齢者に対して配慮する。
60歳代	公民館(自治会館)をもっと回数多く開放すると集まれると思う。
60歳代	気軽に声をかける「変なおじさん」的な目で見られて無視されることもある。もっと子ども達と挨拶できるようにしたい。
60歳代	簡単な催し物と茶話会を通し、コミュニケーションをはかる(年利を問わず)。
60歳代	各行事の主催(町内会や自治会)。
60歳代	磯子区全体でできる何かが欲しい。例えば、磯子祭り等。
60歳代	挨拶は大切。
60歳代	挨拶運動実施のこと。
60歳代	挨拶。
70歳以上	昔からの家の人は挨拶あり。新しい住人達は声かけ挨拶は無理。
70歳以上	マンションの住人は階がちがうと名前も顔もわからずに声かけや挨拶がない。110世帯くらいで数人です。いろんな行事があってもその場だけ、おつきあいはありません。
70歳以上	町の中で挨拶、または会釈をすれちがった時にする。
70歳以上	友達同士の会合をもっと大きくする。
70歳以上	誰もが参加したいなと思える雰囲気を目指します。
70歳以上	仕事で深川、門前仲町の方へ行きますが其所では何となくのんびりした顔つきの方に会います。にこやかな生活をしたいものです。
70歳以上	お茶飲み会を開いている賛成。
70歳以上	困った時の人だよりので気楽に頼れるような状況にしよう。
70歳以上	声かけや挨拶を心がける。
70歳以上	高齢者の集まれる場をつくる。
70歳以上	気軽に集まれるところ。
70歳以上	お茶飲み会を開いている。話題によっては良いとばかりは言えない。
70歳以上	駅前地区はマンションを含む共同住宅が多いが横のつながりがほとんどないのでは? 夫々の管理組合が横の連絡を取り合って共同で行動することが必要。
70歳以上	集まりの中心になる人の選び方が大事だと思います。

#### 4. マナーを守って、きれいで気持ちの良いまちをつくらう

20歳代	たばこのポイ捨てを注意する。
20歳代	駅など公共の場をきれいにして欲しい。
20歳代	犬に糞を始末する。特に線路沿いの道。
30歳代	掘割川がきれいになるように活動して欲しい。
30歳代	花いっぱい運動をする。ゴミ出しのマナーを守る。
30歳代	重要な道路には街路樹を植えて欲しい。
30歳代	ゴミ拾い運動。
30歳代	ゴミ捨て場の整備。
30歳代	公園が多いので夜間の花火など禁止を強化して欲しい。
30歳代	喫煙所以外での喫煙(歩きたばこなど)を禁止する。
40歳代	花いっぱい活動は八王子市が行っていて防犯にも役立つので是非やって欲しい。
40歳代	たばこやゴミのポイ捨てはしない。
40歳代	全員禁煙。ゴミは捨てない。ポイ捨て注意。きれいなトイレ設置。お花もたくさん。
40歳代	自然界のこたわりを劇や標語や短い文章にしていく。
40歳代	お花いっぱい、は良い。
40歳代	今は防犯が大変時代なので、花もマナーも大切だが、安全面で地域の力を発揮して欲しい。
40歳代	歩きたばこの禁止。野良猫はえさを与えない。犬の散歩時の糞の後始末。
50歳代	マナーを守るのは重要ですが規則でがんじがらめにするのはいかがなものか。
50歳代	歩道の幅いっばいに広がって無神経に散歩する連中を排除する。
50歳代	たばこのポイ捨てよりもゴミ(コンビニ等の飲食ゴミ)のポイ捨てのほうが気になる。たばこと同等の罰金刑などの対策を議論されてもよい時代になっていると思う。
50歳代	たばこに関して寛大に。
50歳代	清掃活動を住民の手で行えるよう、行政の指導、呼びかけを。総じて清掃によりつながりがもてる。
50歳代	自転車のスピードの出し過ぎやオートバイの騒音等に何か手を打って欲しい。
50歳代	自宅周辺の清掃を第一にし、それを拡大する運動。
50歳代	声かけや積極的な行動を多くの人に示すことで啓蒙する。
50歳代	「マナーを守れ」より県・市・区の条例・改正・制定が必要。これだけひどい日本は世界から見た汚点である。市民、県民、区民に求める前に、県・市・区で何をすべきか考えて欲しい。
60歳代	マナー意識の向上推進(行政や町内会での)。
60歳代	歩行中の禁煙の徹底。出来れば駅前だけでも草花を植える。
60歳代	ポイ捨て防止の運動を考える。
60歳代	花をいっぱい運動を考えて、町内会ごとに進んで参加するよう呼びかけて欲しい。
60歳代	花等の植樹。
60歳代	根岸地区条例で規約をつくる。
60歳代	根岸駅周辺、東急ストア周辺の不法駐輪には大変迷惑している。
60歳代	地区別で掃除デー(清掃日)を決める。

60歳代	地域ごとに何でも良いから1つでも目標を持ち、みんなで実行することを推進する。
60歳代	たばこのポイ捨て禁止条例・歩行中の喫煙防止条例等、禁煙を撤去して欲しい。
60歳代	たばこ、ガムのポイ捨てがなくなるよう、みんなで協力する。
60歳代	自分一人一人の自覚のみ。
60歳代	自転車やオートバイの放置を取り締まる。樹木(花)を道路、公園に植える。
60歳代	ゴミの持ち帰り。
60歳代	ゴミのポイ捨て禁止。たばこの歩行禁煙。
60歳代	ゴミなどマナーが悪い。清掃運動の実施。自転車に乗る人の置き場のマナーがなっていない。特に東急ストアの近く。
60歳代	個人が自分だけは、という考えをなくしてルールを守ってもらいたい。
60歳代	現在、街中がたばこのポイ捨て、ガムのはきすてにより美観が損なわれています。健康維持とマナー向上を図るため、ポイ捨ての処罪を重くする。また、販売価格に清掃税を付加する等の処置が必要と考える(たばこ、ガムを歩きながら)やる人はマナーが極めて悪い。
60歳代	草花のポットを一定の場所・道路添に置く。
60歳代	機会があれば参加したい。
60歳代	カラオケ教室の機会を増やして欲しい。
60歳代	花壇。
60歳代	各家で手入れされたお花、植木を歩きながら楽しんでおりますが収集されなかったゴミの処理対策を。
60歳代	大人、とりわけ高齢者が先ず率先して手本を示すこと。学校、企業またしかり。残念ですが高齢者に結構行儀の悪いのが多い。自分も含めて。
60歳代	美しい町づくりのために規則をつくる。建築規制など。
60歳代	犬の散歩をする人には後始末をきちんとするよう、道具を持ってほしい。その道具を見えるようにして歩いて欲しい。
60歳代	犬の散歩の注意。空き缶のポイ捨て。
70歳以上	犬の糞を飼い主を責任を持って片付ける。つばは吐かない。くわえたばこはしない。
70歳以上	マナーマを守らない人が多い。ゴミ捨て、たばこの吸い殻捨て、犬の糞の始末なし。
70歳以上	一人一人の意識を高めることが大切なのでルールを守る呼びかけを常にする。
70歳以上	花を育てる。
70歳以上	花いっぱい運動をする。
70歳以上	根岸駅近くとあって、たばこ、ゴミ、缶などのポイ捨て禁止のポスター看板の取り付け。
70歳以上	チリ、ゴミを片付ける場所がない。箱などを設置する。
70歳以上	地域での約束事、花いっぱい運動のようになると良い町になる。
70歳以上	植樹運動。
70歳以上	花いっぱい運動、約束事づくりに賛成。
70歳以上	さわやか運動の回数をもっと増やす。
70歳以上	子供会、老人参加の行事をつくる。
70歳以上	街路樹にしても手のかからない常緑樹で満足する段階は過ぎたと思います。
70歳以上	駅前地区から357号線沿いの植え込みの見直し。もっと楽しみのある植え込み花壇等

	に整備できませんか。
--	------------

根岸地区にあったらいいなと思う取組

20歳代	大人も子どもも男女で楽しめる大運動会を年に4回くらいして欲しい。
30歳代	歩行者天国のミニ版のような催し。老人の日や子どもの日などに駅前の小さな広場の様なスペースで地域の活動団体、クラブの発表やたきだしがあると交流できる機会になれる。
30歳代	広い芝に犬を話して遊べる場所をもっと増やして欲しい。
30歳代	根岸駅前をもっと活性化して欲しい。ショッピングができる駅ビルができれば、食品や手みやげや衣服など同じ場所で買い物できて便利だと思う。
30歳代	スポーツ大会。お祭り。町内対抗運動会。
30歳代	子育てして思ったこと。公園にトイレがなくて困っています。公園にトイレをつくって欲しい。近くにトイレが無くては、災害時は公園に避難するのに困ると思う。女の子は困っている。不動下公園、西町公園、坂下公園に多機能トイレを1つつくって欲しい。何回も区役所や土木事務所、環境局に電話をしてもメールをしても相手にされず、そのまま時間が過ぎている。子どもの居場所(公園)を考えて欲しい。
30歳代	高齢者の一人住まいや高齢の方が高齢者の介護、介護する方の体や心のケア。
40歳代	根岸には学童が無いので磯子や本牧の学童を利用する人もいるが、根岸のはまっ子に学童の機能があると、バスに乗っていく必要もない。はまっ子に大学生のお兄さんが来て遊んでくれる地域もあるそうだが、根岸のはまっ子はおばあさんの先生だけで、今ひとつ明るく楽しい雰囲気ではない。悪い方ではないが、学校とともに地域でももう少し真剣に子どもの放課後について考えて欲しい。高齢者の方面も大切でしょうが、育児の方面もしっかり考えて欲しい。この地域は働く母親が少なく、あまり周囲から理解が得られないで困っている人や、子どもが遊ぶ場に困っている人がいるのではないか。他地域の保育所に通っていると、この地域の情報を知ることができない。
40歳代	無駄な道路工事が多すぎる。道路工事が何のために行われるのか、わからない。道路工事のあとは歩道がぼこぼこになり、ひどい状況。税記の無駄使い。
40歳代	まちをあげての祭り。
40歳代	根岸地区に限らないが、以前、粗大ゴミを東町から出そうとして粗大ゴミのチケットを買おうとした時、東京の会社に勤めていたので休んで入手したことがあった。仕事を休まずに入手できる方法はないか。例、粗大ゴミ引受先からチケットを郵送してもらう。戸籍抄本などを受け取れる出張所に自動販売機を設置するなど。
40歳代	根岸駅前の看護学校跡地には高齢者だけでなく地域の大人から赤ちゃんまで利用できるものを建てて欲しい。容易にマンションだけとか、高齢者施設というのは駅前にありがちだが、高齢者にとっては何もメリットがない。ぜひマンション等で、1階にスポーツジムや保育(小学生も居られる)やファミレス、公園(東町子ども広場がなくなるので)を入れたものと考えて欲しい。
40歳代	根岸駅前の空ビルテナントなどでもよいので学童のような子供の放課後預かりの場をつくって欲しい。

40歳代	根岸駅周辺に公共の場(地区センターなど)があると便利でよい。赤ちゃんや幼児の遊べる場(公共)が根岸駅周辺にも欲しい。
40歳代	外から来た私たちでも気軽に参加できる行事が、わかりやすくあったらいいと思う。
40歳代	自由参加でフリーマーケット。毎日、即リサイクルできる場所があるといい。物々交換でも良い。物を無駄にしない活動。そういう場所があると良い。
40歳代	自分がやったことは、自分に返ってくることや、人の心を傷つけることはやってはいけない、ということがわかるような声かけ、日常的に口にする。
40歳代	買い物サービスの制度。
50歳代	役員さんが一生懸命なのはわかるのですが役員さん同志のつながりができて、その中に入っていき雰囲気が‘ちょっと’と思うところもあるのですが。
50歳代	歩道などを歩いていると、マナーの悪い自転車に乗っている人がいる。自転車のマナー教育をして欲しい。また根岸駅前の放置自転車を何とかして欲しい。朝だけでなく夕方も取り締まりをして欲しい。
50歳代	根岸駅周辺の禁煙の実施。
50歳代	地区民と県・市・区役所と警察と消防との一体組織が不可欠。特に警察と地区民との一体的な町づくりの活動体。県議・市議・区議・区役所と地区民の意見交換の場(月1回)。
50歳代	地区活動について全く知らず申し訳なく思っています。常勤なので定年を前にして地域活動に少しでもお役に立ちたいのですが、今はまだ活動に参加できません。退職後に勉強し参加させていただきます。
50歳代	地域の人たちが無理なく緩やかに交流、意見交換、情報交換などができる場の設定。
50歳代	地域住民の年齢構成(家族構成)を考慮し、不足している生活情報を提供する運動。
50歳代	赤十字病院が移転してその後、町医者も少ない。内科病院を誘致できないものか?老人福祉施設も少ないと思う。グループホーム等も誘致して欲しいと思います。
50歳代	政治カラーの無い、地域住民が主体となったいろいろな取り組み。
50歳代	職場が他の区、地域にあり地元にいる時間が少ないため、今回のアンケートにある4項目はあまり意識したことがなかった。定年をむかえる頃までにはいろいろ考えて過ごしたい。
50歳代	実践して欲しい。
50歳代	在留外国人を日本の社会にとけこませるような取り組みが必要。逆に彼らを排除しないような教育を積極的に展開して欲しい。
50歳代	子どもたちの安全が今一番気になる。人目のない場所がないよう、地域の人がかいつも気にかけていることが大切だと思う。
50歳代	高齢者にとって生活が重要。ここから考えて、病院や銀行が歩いて行けるところに少ない。日赤病院もマンション建築になったが、区役所の出張所等(根岸駅の近くにできた)が便利が少ない。看護学校もなくなった跡に何が建築されるか不明だが、高齢者に対する配慮を考えた方が良くと思う。若者は移動は簡単だが高齢者はきついと思う。高齢者が住みやすい、老人パワーを結集するような視点で考えてみたらどうか。
50歳代	現在行われている活動をもっと周知させ、参加しやすい環境を整えるのが望ましい。
50歳代	各公園にトイレを設置して欲しい。

50歳代	今まで仕事中心で生活してきましたがまもなく定年。地域社会とは関わりなく過ごしてきました。もっと働き盛りの人にも興味を持てるような企画を発信してもらいたいです。
60歳代	やがて我も来る道なので高齢者を大切に。これからの子ども達を守る。自分自身もしっかりする。
60歳代	マンションなど次々に若い世代の人が増えている。昔からの人たちが閉鎖的な面がありなかなか後からきた人を受け入れないというところがあり、苦勞した。
60歳代	根岸に来てから自転車乗ることが多くなった。今まで歩いていたので気にならなかった歩道と車道との段差。自転車でも気になるので、車いすの人はどれだけ大変かと思う。
60歳代	根岸と言えば白石や東電等の工場です。同上の工場見学、また、海岸に公園が欲しい。海が近いが海が見られない。
60歳代	根岸地区は前向きの人が少ない。暗い人間が多い。活性化しない。若い人と高齢者とのコミュニケーションができていない。特に地域活性化、文化、スポーツ等、だれでも参加する組織が必要後だと思う。
60歳代	根岸地区には新日本石油工場が併設されており、同工場からの排(廃)ガスの空気汚染も大なるものがあります。これを考えると同工場側は地域サービスを積極的に行う必要があると考えます。例えば、同工場に沿った道路(歩道)の清掃です。通常の家屋の前は家主が歩道も清掃するのに、同工場前の歩道から汚れているのに放置しているのがっかりです。ウォーキングには最適のコースですが歩道の汚れがいつも気になっています。1日1回は清掃しろと言いたいです。
60歳代	根岸地区でどんな活動どのように行われているのかわからない。何を見ればわかるのか。各地区共通のHPのようなものがあればわかりやすい。
60歳代	根岸散策2時間コースみたいなパンフレット、マップをつくり他地区、自治区のPRにつとめ、活性化を図る。
60歳代	展示講習会など。
60歳代	地域の活動告知を密にして欲しい。情報が少ない。今回のアンケートの内容についてほとんど知る機会がない。
60歳代	誰もが気軽に行ける公園を整備する。特に根岸森林公園がせつかくあるのだから、さっと行ける連絡路があると良いと思う。
60歳代	趣味を生かしたサークル活動の場。スケッチ、写真、茶道、華道、コーラス等。
60歳代	自由参加でよいので気軽に参加できる行事を伝言掲示して欲しい。
60歳代	菜園の貸し出しがあると良い。高齢者のリハビリ施設があると良い。
60歳代	これから高齢者が多くなるため、一人暮らしでも自立して暮らせるよう、行政に考えて欲しい。
60歳代	ゴミ箱が少ないため、道路に者を捨てる。家の前が汚れるから、家の前のものは拾って片付ける。家がないところの者はいつまでもそのまま歩いていて、気になるので拾ってもそれを納めるところがないから、見て見ぬふり。週に1回大勢で元気に「かたづけ隊」で片付けたい。
60歳代	この地区ではいろんなことに取り組んでいる。
60歳代	現状でよいと考えます。
60歳代	近所で簡単な体操やヨガ、太極拳、ストレッチなどができる場所が欲しい。地区センタ

	一、ケアプラザは遠すぎる。
60歳代	基本は顔見知りになること。それには子どもが成人しても繋がりが少ないことが多い。例えば、愛犬がいれば何か集まる行事を行い、子どもがいなくても犬を通して知り合う事が必要。犬でなくてもダンスなどあるといいと思う。
60歳代	金沢区にあるような施設(子どもから年寄りまで使える)があるといいね！
60歳代	今まで仕事におわれて福祉、保健に関して情報等もなく、知らなかった。今回のアンケートがあったことで多少いろいろな地域活動の場があることがわかった。できることから取り組みができたらと思った。
60歳代	以前庭でたき火をしていたら通報されて消防署が来て、危険だと消された。私は火の扱いをたき火で覚えた。今の子どもは危険なことを取り上げられ何もできなくなっている。焼き芋もできなくなった。冬の楽しみの一つだった。
70歳以上	連絡のネットづくりが大事だと思います。
70歳以上	役所関係者が区内の視察を頻繁に行い、町別の台帳に内容を記載したものを備え付ける(区役所内に)。
70歳以上	みどりを増やす運動。
70歳以上	マンションにも老人会があっても良いのではと思います。
70歳以上	マンション住まいの者にはあまり地域のことに接点無しです。広報を見るだけ。
70歳以上	街づくりは、住民の心掛けが多いに反映されると思いますので横のつながりを深めることがよい結果を生む第一歩なのではないでしょうか。
70歳以上	根岸駅隣接の歩道上への自転車、オートバイの駐輪、駐車(違法)がすごく多く、歩道が狭くなり危険だ。常時違法駐輪・駐車取り締まりを実施して欲しい。
70歳以上	同地区の団体組織はどんな方が委員なのかほとんど知らない。各委員は該当する住民にもっとPRすべきである。
70歳以上	問20の項目すべて実現するように。
70歳以上	問20の4項目について結構だと思うが容易に進まないのが実態。町内会・自治会等の好意を基本に自然発生的な進展が不可欠。世相は閉塞感に充ちている。80歳を超えると将来への展望は期待できない。しかし小中学校の子どもに負の遺産を残すわけにはいかない。経済的理由で塾に行けない子どもの学力維持に大人達は意を注ぐべき(放課後の学校利用、教員OBの指導)。彼らが成人したあとまで残る施策を期待する。
70歳以上	将来仕事を離れた時、高齢者のための集いの場所があれば参加したい。
70歳以上	上記2. 3. 4. を実行する際にはお手伝いします。
70歳以上	高齢になると高い所が大変になり、室内の電灯の取り替えが一番怖い。こんな場合、有料で近くに助けてくれる場があったらと思う。
70歳以上	季節によってバス旅行など。芋掘り、イチゴ狩り。遠方でなく三浦半島日帰りなど。潮干狩り。
70歳以上	いろいろな取り組みがあると思う。過剰になってプライバシーを侵害しないよう何事も程々を忘れないで欲しい。自立に重点を置いて欲しい。
70歳以上	磯子区内3000人アンケートに選ばれたことに責任を感じる。



## 根岸地区の福祉と保健に関する意識調査 調査票及び単純集計

根岸地区の皆様には、平素から区政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

磯子区では誰もが幸せに暮らせるまちづくりをめざして、磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチ ON 磯子）を策定し、今年度は第一期計画の3年目に当たります。

今後も根岸のまちを誰もが幸せに、安心して暮らせるまちにしていくために、地域の課題や皆さまの考え方、これまでの地域福祉保健計画の取組に対する認知度やこれからのまちづくりへの期待などを把握するために、根岸地区在住の皆様アンケート調査を行うこととなり、20歳以上の区民の方々の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただきました。皆様から得られました声を十分活かして、第二期地域福祉保健計画における根岸地区の計画を策定してまいりたいと思います。なお、ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理をいたしますので、決してあなた様のお考えが公表されたり、回答内容が外部に漏れることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、どうか本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

磯子区長 守屋 直

## 【ご記入に際して】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒にて **12月5日(水)まで**にご投函下さい(切手は不要です)。なお、本調査の内容や記入の仕方などで、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先：磯子区役所 磯子福祉保健センター 福祉保健課事業企画係  
電話：045-750-2442 担当：伊東、中村

N：回答者数、NA：無回答

問1：あなたの性別をお答えください。(○は1つ) N=1029

1. 男性 (62.6%)	2. 女性 (36.5%)	NA (0.9%)
---------------	---------------	-----------

問2：あなたの年代をお答えください。(○は1つ) N=1029

1. 20歳代 (4.8%)	2. 30歳代 (11.7%)	
3. 40歳代 (13.7%)	4. 50歳代 (16.4%)	
5. 60歳代 (24.1%)	6. 70歳以上 (29.3%)	NA (0.6%)

問3：あなたが現在一緒に住まいの家族の構成をお答えください。(○は1つ) N=1029

1. 一人暮らし(26.3%)	2. 夫婦二人(26.9%)
3. 配偶者と子どもの二世帯(いわゆる核家族) (37.5%)	4. 親と子どもと祖父母の三世代 (5.8%)
5. その他(具体的に ) (2.3%)	NA(1.1%)

問4：あなたの現在の就業状況をお答えください。(○は1つ) N=1029

1. 勤めている(47.8%) ↓ 具体的にお答えください(○はいくつでも) N=492	
1. 常勤(69.5%) 2. パート(9.8%) 3. アルバイト(5.3%) 4. 派遣社員(3.9%)	
5. 契約社員(5.5%) 6. 嘱託(3.9%) 7. その他(1.2%) NA(1.0%)	
2. 自営業者・自営業の手伝い(7.4%)	
3. 主婦専業(7.8%)	
4. 学生(0.0%)	
5. 無職(32.9%)	
6. その他(具体的に ) (2.6%)	NA(1.5%)

問5：あなたがお住まいの町名。(○は1つ) N=1029

1. 上町(9.7%) 2. 馬場町(11.8%) 3. 坂下町(9.8%) 4. 下町(11.1%)
5. 原町(12.2%) 6. 西町(23.6%) 7. 東町(20.8%) NA(1.0%)

問6：根岸地区の中で、最近気になること、心配なことはありますか。①から⑩についてそれぞれ(大変気になる・やや気になる・あまり気にならない・全く気にならない)のいずれかでお答えください。(○はそれぞれ1つずつ) N=1029

	大変気になる	やや気になる	あまり気にならない	全く気にならない	NA
①子どもたちの誘拐や不審者	28.4%	29.3%	25.8%	6.0%	6.0%
②青少年の非行や不登校	21.5%	33.5%	27.4%	6.0%	11.6%
③子育て世代の育児不安	16.4%	35.2%	27.2%	7.5%	13.7%
④若者の雇用不安	31.1%	33.9%	19.0%	4.7%	11.3%
⑤団塊世代の地域での活動の場	10.1%	33.9%	35.5%	7.6%	12.9%
⑥増加する高齢者世帯と地域との関わり	28.4%	39.9%	19.0%	3.9%	8.8%
⑦災害時の避難体制	44.5%	34.3%	10.5%	2.5%	8.2%
⑧空き巣や盗難、振り込め詐欺	43.9%	35.7%	9.3%	3.1%	8.0%
⑨マナーの悪い人の増加	45.6%	33.0%	11.5%	2.3%	7.6%
⑩環境問題	33.4%	40.4%	14.4%	2.7%	9.1%

上記以外に、地域で気になることがあれば、下の欄にお書き下さい。

--

問7：あなたご自身のことで、困っていること（手助けがほしいこと）はありますか。（〇はいくつでも） N=1029

1. 話し相手がない(5.6%)	
2. 福祉や子育てサービスの情報がない(8.6%)	
3. 近所の人とのつながりができない(11.4%)	
4. 声かけや安否の確認をしてほしい(6.3%)	
5. ゴミ出しの手伝いをしてほしい(2.1%)	
6. 買い物の手伝いをしてほしい(1.5%)	
7. 子どもを預かったり、送り迎えをしてほしい(3.1%)	
8. 子育ての相談にのってほしい(1.4%)	
9. 電球の交換など簡単な家事をしてほしい(3.3%)	
10. 掃除、洗濯、食事作りなどの家事を手伝ってほしい(2.7%)	
11. 病院や散歩などの付き添いをしてほしい(2.1%)	
12. 家族の身の回りの世話に手助けがほしい(1.8%)	
13. その他（具体的に	) (5.5%) <span style="float: right;">NA (66.7%)</span>

問8：あなたは、困ったこと（手助けしてほしいこと）があったとき、頼りにしている人（相談できる人）がいますか。（〇はいくつでも） N=1029

1. 家族・親戚(83.5%)	2. 隣近所の方(21.8%)
3. 友人、知人、職場の同僚(46.5%)	4. 民生委員児童委員(3.3%)
5. 自治会町内会の方(7.7%)	6. 病院の方(10.0%)
7. 薬局の方(2.8%)	8. 学校の先生(1.6%)
9. 利用している施設（介護施設や幼稚園・保育園など）の職員(4.0%)	
10. 利用しているサービス（介護サービスや子育てサービスなど）担当者（ヘルパーなど）	(6.4%)
11. 区役所職員(5.2%)	
12. その他（具体的に	) (3.2%) <span style="float: right;">NA (4.7%)</span>

問9：あなたは、地域に困っている人がいた時、「これなら協力できる」ということはありますか。あなたができそうなことは「これならできる」の欄に○をつけて下さい(○はいくつでも)。その中で既に行っていることがある場合は右側の「既に行っている」の欄に○をつけて下さい。(○はいくつでも) N=1029

		「これならできる」 (○はいくつでも)	「既に行っている」 (○はいくつでも)
1	話し相手、相談相手	37.5%	6.8%
2	声かけや安否の確認	46.8%	5.3%
3	ゴミ出しの手伝い	28.1%	3.3%
4	買い物の手伝い	18.1%	1.4%
5	子どもを預かったり、送り迎えをする	6.7%	1.6%
6	子どもたちにスポーツや遊びを教える	12.7%	1.9%
7	部屋の掃除や片付け	9.7%	0.6%
8	草むしりや庭の清掃	20.2%	1.7%
9	食事づくりなどの手伝い	6.7%	1.0%
10	電球などの交換	27.8%	0.9%
11	病院や散歩などの付き添い	11.7%	0.6%
12	その他（具体的に ) 3.7%		

問10：あなたは、以下のような地域活動に参加してみたいと思いますか。参加してみたい活動は「参加してみたい」の欄に○をつけて下さい(○はいくつでも)。その中で既に参加している活動がある場合は右側の「既に活動している」の欄に○をつけて下さい。(○はいくつでも) N=1029

		参加してみたい (○はいくつでも)	既に参加している (○はいくつでも)
1	避難訓練、夜の見回りなど防災活動	12.7%	5.8%
2	地域のパトロールなど防犯活動	14.3%	6.0%
3	清掃活動など地域をきれいにする活動	20.8%	4.9%
4	会報の発行など地域情報の発信	6.8%	1.3%
5	地域の行事の企画や運営	8.5%	3.8%
6	地域の行事の裏方やお手伝い	16.9%	6.6%
7	自分の趣味や特技を活かした活動	22.4%	3.3%
8	高齢者の訪問見守り活動やボランティア活動	9.9%	2.1%
9	体操など健康づくりのための活動	20.5%	3.6%
10	その他（具体的に ) 3.9%		

問 1 1 : 既に地域活動に参加されている方にお聞きします。あなたはどのようなきっかけで地域活動に参加されるようになりましたか (〇はいくつでも)。

N=151

- |                                      |                     |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 地域の施設の行事に参加した (29.1%)             |                     |
| 2. 地域の施設の講座や講習会に参加した (21.9%)         |                     |
| 3. 自治会町内会の行事に参加した (58.9%)            |                     |
| 4. チラシやポスター、お知らせを見た (19.2%)          |                     |
| 5. 広報よこはまを見た (21.9%)                 |                     |
| 6. 知り合いや近所の人、家族に誘われた (27.2%)         |                     |
| 7. NPOやボランティア団体から誘われた (7.9%)         |                     |
| 8. 子育ての仲間やサークル活動、趣味の仲間などのつながり (8.6%) |                     |
| 9. その他 (具体的に                         | ) (14.6%) NA(10.6%) |

問 1 2 : すべての方にお聞きします。あなたは、今後、地域活動に参加するためには、また既に行っている方は今後も続けていくためには、どのような条件が整っている必要があると思いますか。(〇はいくつでも) N=1029

N=1029

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 手続きなどが簡単でわかりやすい (気軽さ) (54.6%)                            |                    |
| 2. 交通費などの実費が支払われる (25.1%)                                   |                    |
| 3. 多少の報酬(交通費以外)が支払われる (16.0%)                               |                    |
| 4. 自分の趣味や特技にあっている (34.0%)                                   |                    |
| 5. 自分の生活リズム (時間帯や活動場所) にあっている (55.0%)                       |                    |
| 6. 仲間がいる (27.9%)  |                    |
| 7. 地域の中で身近な情報が入手できる (24.6%)                                 |                    |
| 8. 知り合いや近所の人、家族からのお誘いや声かけがある (21.6%)                        |                    |
| 9. 地域の施設や自治会町内会で行事や講習会が開催される (15.6%)                        |                    |
| 10. 活動内容についての詳しい情報や活動している人の話を聞くことができる (15.5%)               |                    |
| 11. 広報よこはま磯子区版で紹介される (17.1%)                                |                    |
| 12. 試しに参加できる機会がある (30.5%)                                   |                    |
| 13. 活動時の保険などの補償がしっかりしている (14.4%)                            |                    |
| 14. 家族の理解が得られる (15.3%)                                      |                    |
| 15. 活動をしやすくするようなサービスがある (子どもを預かる、介護や見守りが必要な者をみてるなど) (12.6%) |                    |
| 16. 地域の中で相談できる場がある (14.1%)                                  |                    |
| 17. その他 (具体的に   | ) (1.4%) NA(15.4%) |

問13：いつまでも健康でいきいき暮らしていくための健康づくりの取組で、参加してみたいと思う事業はありますか。(〇はいくつでも) N=1029

1. 体操教室(29.9%)	2. 体力測定(33.3%)
3. 骨密度測定(骨粗しょう症予防)(22.9%)	4. 生活習慣病についての講演会(24.7%)
5. うつ病についての講演会(10.5%)	6. 脳卒中についての講演会(14.8%)
7. がんについての講演会(15.3%)	8. インフルエンザについての講座(11.3%)
9. 禁煙教室(4.9%)	10. 認知症についての講演会(22.4%)
11. 食の安全についての講座(25.4%)	
12. その他(具体的に ) (3.0%)	NA(25.5%)

問14：現在のあなたの喫煙状況についてお聞きします。(〇は1つ) N=1029

1. 吸っている(23.4%)	2. 以前吸っていた(今は吸っていない)(25.8%)
3. 吸わない(46.3%)	NA(4.6%)

問15：受動喫煙防止対策について、以下の①～⑦の施設について、それぞれ(すぐに全面禁煙にすべき・猶予期間を設定して全面禁煙にすべき・吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき・特に対策の必要はない)のいずれかでお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) N=1029

	すぐに全面禁煙にすべき	猶予期間を設定して全面禁煙にすべき	吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき	特に対策の必要はない	NA
①官公庁(区役所・市役所等)	42.3%	7.6%	39.9%	2.1%	8.1%
②病院	60.3%	6.1%	25.9%	1.5%	6.1%
③交通機関(駅・バスターミナル等)	43.0%	9.5%	37.6%	2.3%	7.6%
④ファミリーレストラン・喫茶店等の飲食店	21.3%	8.7%	57.1%	4.5%	8.4%
⑤アルコールを主に提供する飲食店(居酒屋等)	12.1%	7.6%	51.3%	19.1%	9.8%
⑥デパート・スーパー等	38.0%	10.9%	41.3%	2.4%	7.4%
⑦遊技場・娯楽施設(マーチャン店・パチンコ店等)	14.5%	7.7%	46.5%	21.2%	10.2%

問16：根岸地区で自慢できることは何ですか。(〇はいくつでも)

N=1029

- |   |          |           |
|---|----------|-----------|
| 1. 人情が厚い(14.2%)                           |          |           |
| 2. 自治会町内会活動が活発(21.3%)                     |          |           |
| 3. 子どもたちがきちんと挨拶できる(8.6%)                  |          |           |
| 4. 地域のいろいろな人といっしょに集まることのできる場や機会が多い(10.2%) |          |           |
| 5. 隣り近所でお互いに声を掛け合っている(25.5%)              |          |           |
| 6. みんな根岸地区に愛着を持っている(29.3%)                |          |           |
| 7. まちがきれい(20.8%)                          |          |           |
| 8. 歴史や文化に富んでいる(18.0%)                     |          |           |
| 9. その他(具体的に                               | ) (4.7%) | NA(29.1%) |

問17：あなたをご存知の団体や名称に〇をつけて下さい。(〇はいくつでも)

N=1029

- |                             |                                |           |
|-----------------------------|--------------------------------|-----------|
| 1. 根岸地区社会福祉協議会(地区社協)(26.7%) | 2. 民生委員児童委員(32.8%)             |           |
| 3. 保健活動推進員(13.5%)           | 4. 老人クラブ・友愛活動推進員(30.4%)        |           |
| 5. 青少年指導員(27.1%)            | 6. 体育指導委員(22.9%)               |           |
| 7. 子ども会(52.7%)              | 8. 食生活等改善推進員(ヘルスメイト)<br>(5.7%) |           |
| 9. 消防団(64.7%)               |                                |           |
| 10. その他(具体的に                | ) (1.3%)                       | NA(22.4%) |

問18：あなたは地域の情報をどのような手段で入手していますか。(〇はいくつでも) N=1029

- |   |                           |          |
|---|---------------------------|----------|
| 1. 広報よこはま(69.6%)                            | 2. 区のホームページやインターネット(8.6%) |          |
| 3. 自治会町内会の回覧板(53.4%)                        | 4. 自治会町内会の掲示板(45.3%)      |          |
| 5. 区社会福祉協議会発行の「福祉いそご」(26.9%)                |                           |          |
| 6. 公共施設(介護施設・保育施設など)の窓口やお知らせ、掲示板(8.8%)      |                           |          |
| 7. 学校からのお知らせ(8.8%)                          | 8. ミニコミ誌(3.4%)            |          |
| 9. 口コミ(家族、地域の人、友人、職場の同僚、民生委員、ヘルパーなど)(25.6%) |                           |          |
| 10. その他(具体的に                                | ) (1.7%)                  | NA(7.0%) |

### **磯子区地域福祉保健計画(愛称:スイッチON磯子)について、うかがいます。**

問19：あなたは、以下のことばをご存知ですか。〇はいくつでも(名前だけは聞いたことがあるというものでかまいません)。

N=1029

- |                    |                    |           |
|--------------------|--------------------|-----------|
| 1. 地域福祉保健計画(15.4%) | 2. スイッチON磯子(15.3%) |           |
| 3. ハッピー根岸(5.9%)    | 4. しあわせバンク(5.7%)   | NA(73.0%) |

※上記のことばの詳しい内容は、アンケートの最後に記載しています。

問20：根岸地区の地域福祉保健計画の大きな柱は次の4項目です。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| <b>1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう</b>  |
| <b>2. いつまでも健康でいきいき暮らそう</b>          |
| <b>3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくらう</b>       |
| <b>4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくらう</b> |

それぞれの項目を達成するために、あなた、またはあなたの地域が、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。ご意見、ご提案、こんなことならできそう、ということがあれば、それぞれの下欄にお書きください。

### 1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう

例) 子ども達との交流の場づくり、子育て中の親御さんや子ども達の相談にのる、など

### 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

例) 歩きやすい散歩コースのマップをつくる、ラジオ体操の会をつくる、など

### 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

例) 声かけや挨拶を心がける、気軽に集まれるお茶飲み会を開く、など

### 4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくろう

例) 地域での約束事をつくる、花いっぱい運動をする、など

問21：最後に、これから根岸地区で、こんな取組があったらいいなと思うことがありましたら、自由にお書き下さい。

以上です。ご協力ありがとうございました。

#### ことばの説明

～誰もが幸せに暮らせるまちをめざして～

**スイッチON磯子**

磯子区地域福祉保健計画



#### 3 ハッピー根岸

磯子区の中の根岸地区の地域福祉保健計画の愛称です。地域福祉保健計画は、横浜市版＞磯子区版＞磯子区の中の各地区版というように、大きな地域から身近な地域まで定められています。

#### 4 しあわせバンク

地域の人材、活動グループ、活動内容などの情報を蓄積し、地域活動に関わっている人や関心のある人が誰でも簡単に情報を得て、活用することができるようにする仕組みのことで、他地区に先がけて、根岸地区でこれから取り組もうとしています。